



愛のふれあい交流事業

地域交流の集い活動事例集



社会福祉法人

江別市社会福祉協議会





江別市社会福祉協議会では、江別市が昭和60年度から実施したひとり暮らし高齢者世帯の安否確認を目的とする「愛のふれあい事業」を引き継いで平成4年度から開始しました。

更に、平成16年度に事業内容の見直しを行い、これまでの内容を踏襲した「愛のふれあい活動」と閉じこもりを防止し心身のリフレッシュを目的に実施する「地域交流の集い活動」から成る「愛のふれあい交流事業」をスタートさせ、自治会を中心とした身近な地域の福祉活動の推進を図るため、長年にわたり支援をさせていただいております。

しかし、本市においても人口減少、少子高齢化の進行や景気低迷の影響などにより、市民生活に様々な課題が生じています。特に、地域福祉を支える活動の担い手不足や地域のつながりの希薄化なども指摘され、これまで以上に「地域の福祉力」を高めていくことが求められています。

このようなことから、この「地域交流の集い活動事例集」は、それぞれの自治会が趣向を凝らして実施している「集い」の内容を紹介し、活動を企画する際の内容の充実を図り、自治会同士がつながりを持ち、全市的に地域交流の輪が広がっていくことを願い、本年度作成させていただきました。

平成21年度から23年度に「集い」を実施した86自治会に事例紹介を依頼し、ご回答があった55自治会を掲載しております。

終わりにになりましたが、この事例集を作成するにあたり、ご協力をいただきました自治会の皆様をはじめ関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成24年2月

社会福祉法人
江別市社会福祉協議会
会長 湯浅 國勝



◆はじめに	1
◆愛のふれあい交流事業とは	3
◆平成23年度の実施状況	4
◆活動事例報告自治会一覧	6
◆活動事例	
・江別地区	7
・野幌地区	47
・大麻・文京台地区	81
◆愛のふれあい交流事業実施要綱	110

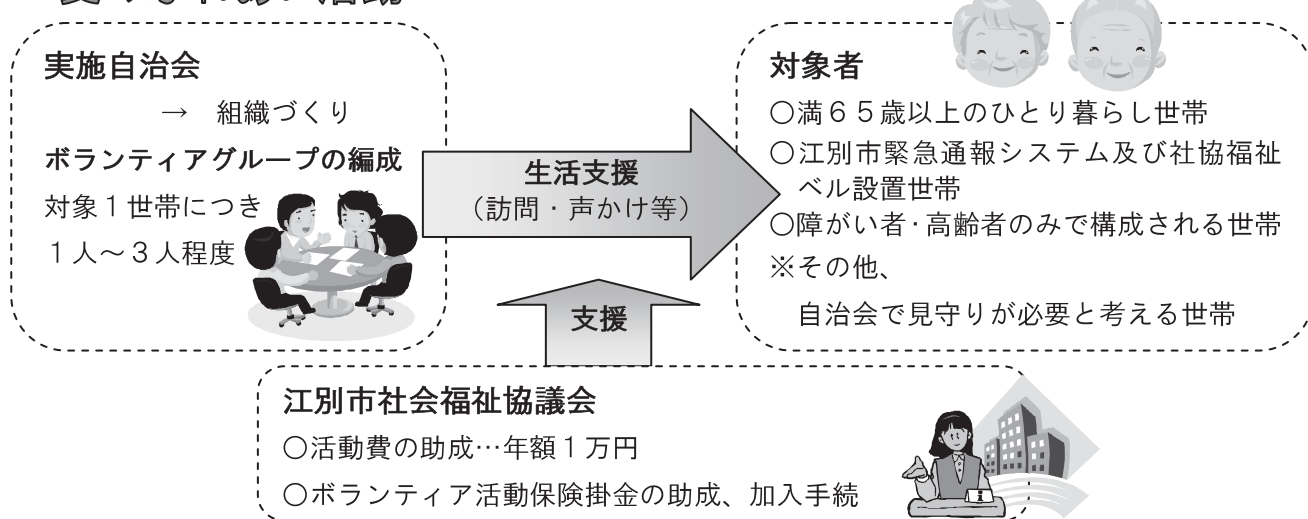
愛のふれあい交流事業とは

江別市社会福祉協議会では、1人暮らしや寝たきり、閉じこもりがちな高齢者・障がい者世帯等が、孤立することなく、健康で安心して暮らせる地域づくりを目的に愛のふれあい交流事業を行っています。

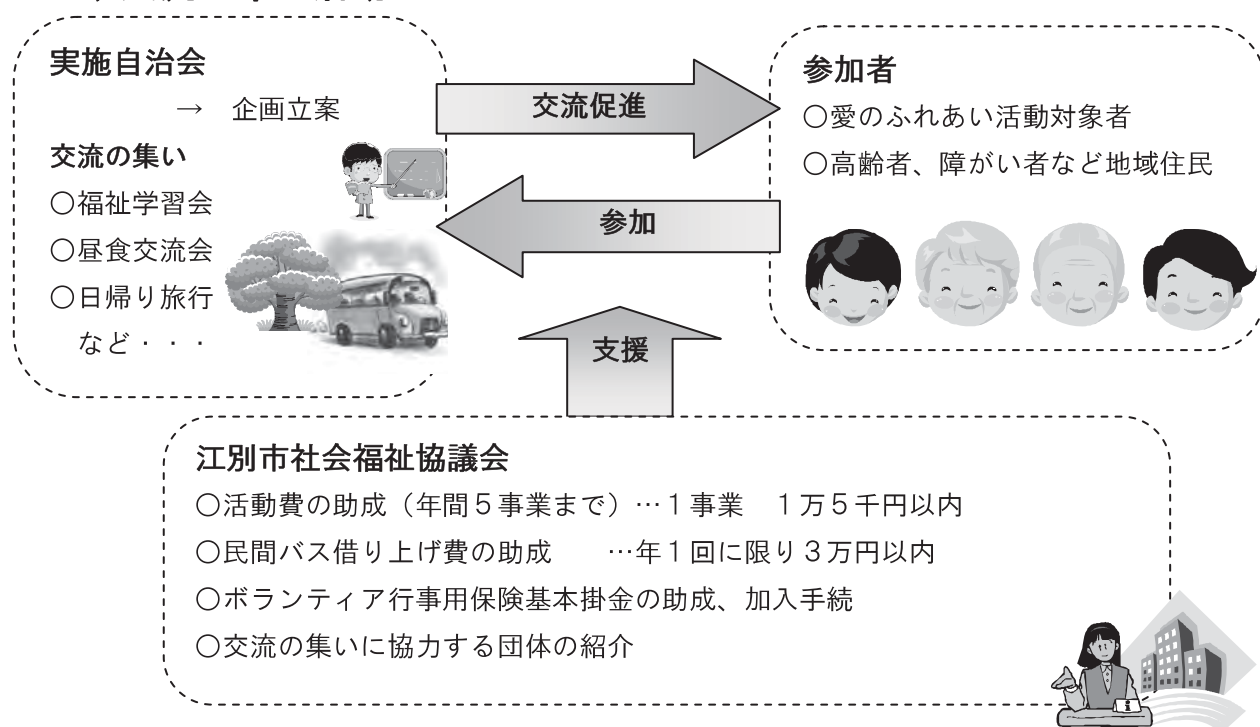
この事業は、安否確認を目的とする【愛のふれあい活動】と、閉じこもりを防止し心身のリフレッシュを目的とした【地域交流の集い活動】の2つから構成されています（図1）。

図1 愛のふれあい活動及び地域交流の集い活動

愛のふれあい活動



地域交流の集い活動



平成23年度の実施状況 ～81自治会が取り組み～

平成24年1月27日現在、【愛のふれあい活動】及び【地域交流の集い活動】とも81の自治会がそれぞれ取り組んでいます。本市の全自治会数の半数に留まっているのが現状です。

地区別で見ますと、【愛のふれあい活動】実施は、江別地区が24、野幌地区が28、大麻・文京台地区が30の自治会、【地域交流の集い活動】実施は、江別地区が25、野幌地区が23、大麻・文京台地区が33の自治会となっています（図2）（図3）。

【地域交流の集い活動】では、267事業が実施されました。

事業を内容ごとに分類すると、昼食会や食事会等の「会食」の要素を含む事業が242事業、続いて、クイズや映画鑑賞、演奏会等の「ゲーム・レクリエーション・娯楽」の要素を含む事業が126事業取り組まれ、活動の中心を占めています（表1）。

図2 【愛のふれあい活動】地区別実施自治会数および割合

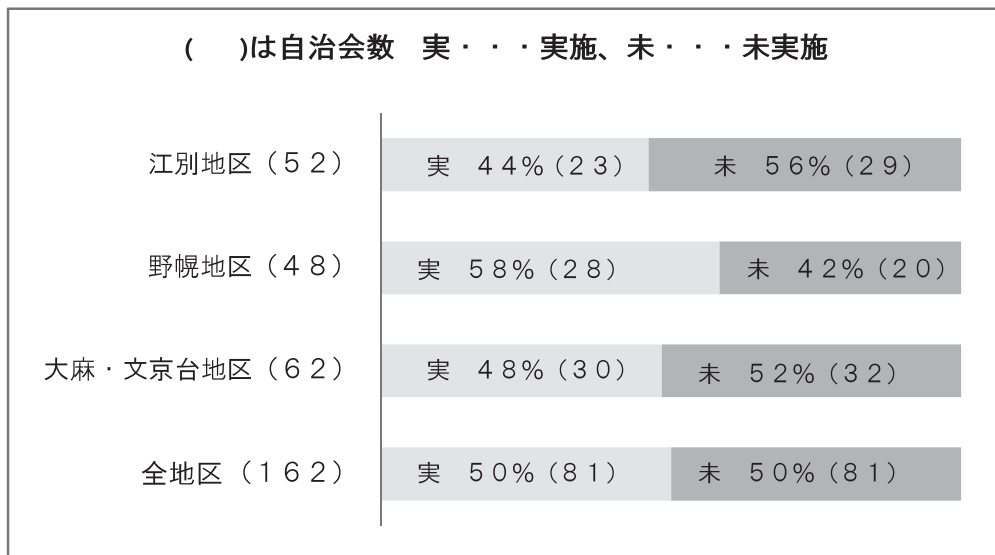


図3 【地域交流の集い活動】地区別実施自治会数および割合

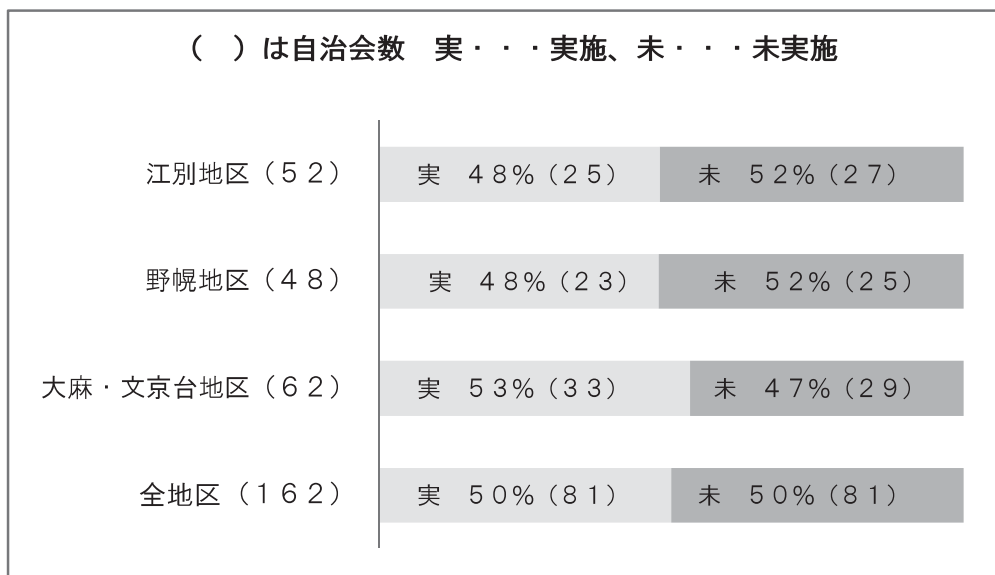


表1 事業内容、事業数及び事業総数に占める割合

事業内容	事業数	事業総数に占める割合
会食	242	90.6%
健康	87	32.6%
ゲーム・レクリエーション・娯楽	126	47.2%
温泉旅行	36	13.5%
福祉・生活・環境	21	7.9%
防犯・防災・安全	24	9.0%
野外遠足・スポーツ	18	6.7%
世代間交流	43	16.1%
旅行・見学	18	6.7%

※内容が多岐にわたる事業は、それぞれの区分でカウントしています。

図1、2、3及び表1は、江別市社会福祉協議会作成



— 活動事例報告自治会一覧 —

【掲載順序は江別市自治会連絡協議会が設定した自治会コード順となっています。】

◆江別地区◆

緑町中央自治会・・・・・・・・・・	7	東光東自治会・・・・・・・・・・	28
緑町第二自治会・・・・・・・・・・	10	朝日町自治会・・・・・・・・・・	30
弥生町団地自治会・・・・・・・・・・	12	あけぼの町中央自治会・・・・・・・・	32
高砂町自治会・・・・・・・・・・	14	豊幌町内自治会・・・・・・・・・・	34
見晴台自治会・・・・・・・・・・	16	萌えぎ野自治会・・・・・・・・・・	36
上江別第一自治会・・・・・・・・・・	19	アカシヤの街自治会・・・・・・・・	38
上江別中原自治会・・・・・・・・・・	22	元江別本町自治会・・・・・・・・	40
早苗自治会・・・・・・・・・・	23	牧場町自治会・・・・・・・・・・	42
上江別第二自治会・・・・・・・・・・	26	萌えぎ野西自治会・・・・・・・・	45
東光自治会・・・・・・・・・・	27		

◆野幌地区◆

幸町自治会・・・・・・・・・・	47	野幌若葉自治会・・・・・・・・・・	64
錦町自治会・・・・・・・・・・	48	野幌東町自治会・・・・・・・・・・	67
野幌町自治会・・・・・・・・・・	51	東野幌町自治会・・・・・・・・・・	68
野幌松並町自治会・・・・・・・・・・	53	しらかば自治会・・・・・・・・・・	71
野幌代々木町西自治会・・・・・・・・	54	ニコルハイツ野幌自治会・・・・	73
野幌代々木町花園自治会・・・・	55	のっぽろシティハウス自治会・・	75
錦町新生自治会・・・・・・・・・・	56	末広えんじゅ自治会・・・・・・・・	76
中央町自治会・・・・・・・・・・	59	野幌住吉町南自治会・・・・・・・・	79
野幌寿町自治会・・・・・・・・・・	61	グレートヒル野幌Ⅱ自治会・・・・	80
東野幌本町第一自治会・・・・・・	62		

◆大麻・文京台地区◆

大麻宮町自治会・・・・・・・・・・	81	大麻沢町16丁目自治会・・・・	98
大麻中町商店街自治会・・・・・・	83	大麻西町自治会・・・・・・・・・・	99
大麻南自治会・・・・・・・・・・	85	大麻泉町自治会・・・・・・・・・・	101
大麻南樹町RC自治会・・・・・・・・	87	大麻新町自治会・・・・・・・・・・	103
大麻南樹町B団地自治会・・・・・・	88	大麻グリーンハイツ自治会・・・・	104
大麻園町第一自治会・・・・・・・・	90	文京台第一自治会・・・・・・・・	105
大麻園町第二自治会・・・・・・・・	92	大麻宮町公団自治会・・・・・・・・	107
大麻東町第三自治会・・・・・・・・	93		
大麻高町第一自治会・・・・・・・・	96		
大麻高町第二自治会・・・・・・・・	97		

自治会の紹介

地域の独居高齢者、また、要援護者に一番身近な自治会において、声かけ、助け合い活動を実践し、交流を大切にして、誰もが健康で安心して生活出来る住みよい街づくりを目標にしております。

緑町は、市内で早くに町内会から自治会組織になった地域であるが、現在は世帯数245、高齢者世帯が急が増えております（区割りは7区、42班制）。

活動事業名 **独居高齢者を招待して「昼食会」**

- ◆時期 10月上旬
- ◆対象者 独居高齢者・愛ふれ活動者 35名
- ◆担当 福祉部（愛郷ボランティアの会）
- ◆総事業費 35,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 10,000円
参加者 10,000円
- ◆目的
30年以上続いている活動です。高齢になると、特に男性のひとり暮らしの人は外出回数も少なく、また、偏食がちになることを案じて、会員手造りの料理をすることにしました。
- ◆内容
現在のように外食する店も少なく、コンビニも少なく、従って栄養とカロリー等心配になり、手造り料理を楽しんでもらうことになり始めました。
現在は、会員と共に昼食をし、おしゃべり、ゲーム、また踊ったりと楽しく秋の一日を過ごしていただき、安否の確認をしています。足腰の弱ってきている人には、食べ物を届けたりする時もあります。車の送迎は気をつけております。
- ◆成果
対象者同士が連絡を取り合ってお茶飲みしたり、お風呂に行ったりしていると聞く。また、外出が少なかったが誘われてカラオケに行ったりしている、少しオシャレになった、との報告もありました（出かけることにより、服装に気をつけるようになったと言っています）。
- ◆課題
1人でも多く参加してくれるよう、開催時を検討したい。

活動事業名 **東日本大震災・支援チャリティー「歌と笑いの集い」**

- ◆時期 平成23年4月
- ◆対象者 高齢者・愛ふれ対象者・自治会員・他地区自治会員 50名
- ◆担当 福祉部（愛ふれ事業部）
- ◆総事業費 45,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 他地区自治会 30,000円
- ◆目的
東日本大震災の報道やテレビの映像を見て、みな深い悲しみに沈んでいましたため、何か私達に出来ることはないか、と話し合い、義援金を募る目的と地域の方々に笑って勇気をつけられたらと思い取り組み。
- ◆内容
近隣自治会3地区合同で実施（3地区自治会に合同で連絡）。演歌歌手と道化師の余興を楽しんでもらいました。集まった義援金は、共同募金委員会に寄付いたしました。

◆成果

大声で笑い、楽しみました。この元気で被災された方々にエールを送りましょう、と言葉がありました。

◆課題

急に決定した事業のため、連絡がおくれた地域があったため、今後はもっと連携を密にしたい。

活動事業名 **楽しい健康教室**

◆時期 7月下旬

◆対象者 独居高齢者・地域自治会員・近隣自治会員・保健師・講師 50名

◆担当 福祉部・地域健康指導者

◆総事業費 40,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 市健康推進事業 20,000円
自治会 5,000円

◆目的

平成23年で第11回目になります（平成13年より、毎年実施）。介護保険制度がスタートして、地域の住民から「介護用品等が知りたい」と話があり、保健師さんに相談した結果。

◆内容

第一回は、友愛ナーシングから介護用品を持ってきて展示説明を受ける（車椅子、食事用スプーン、流動食など）。

第二回からは、皆様の希望により、市内の病院より先生においでいただき、健康に対する勉強会とする。

第八回からは、市立病院の先生にお願いしております。

第一回目より、保健師さんも来て下さり、血圧、体重測定等行う。

◆成果

歯に対する知識、薬の勉強、家庭で出来る体操、血圧測定、病気の早期発見・気づき等を学び、日常生活での健康に対する心構えが少し違って来たと思われる。“もう高齢だから、どうせ年だから”の言葉が聞こえなくなりました。

◆課題

お勉強会の後、野菜たっぷりの会員手造りのカレーライスを昼食に用意。昼食を取りながら、講師の医師、保健師の方々と交流を深め、より沢山お話しを聞く時間をとっております。

今後はもっと多くの地域の方々にも、ご案内していきたい。

活動事業名 **独居高齢者を招待して「日帰り温泉旅行」**

◆時期 10月中旬～下旬

◆対象者 独居高齢者・愛ふれ活動者 30名

◆担当 福祉部（愛郷ボランティア）

◆総事業費 100,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 参加会員 20,000円
自治会 65,000円

◆目的

25年近く続いている活動。初めは、対象者・会員共に集い、これからの高齢化社会・福祉についてのお勉強会を開いていましたが、その後実施。外出の少ない高齢者に案内し、緑の多い温泉の周りを散策して、心身のリフレッシュを目的とする。

◆内容

送迎バスを利用して、近くの温泉に招待。入浴し、昼食をとり、一日をゆっくり過ごしていただき、少しのアルコールが入った人等は特に日常の悩み等気さくに話してくれます。また、帰宅してからも、近所の方々と親しく話し合うようになった人もいます。

◆成果

愛ふれ事業に対して、全く感謝の意を表さなかった人が「ありがとう」と言うようになりました。

◆課題

少し遠出をした時、体調を悪くされた方がいらしたので、バスに乗る時間を短くし、また、行く前に体調を確認し合いたい。実施時期をもう少し暖かい日にと考えています。

活動事業名 **対象者を招待して「新年交流会」**

◆時期 1月中旬

◆対象者 独居高齢者・福祉部・愛ふれ部員 40名

◆担当 福祉部・愛ふれ活動者

◆総事業費 45,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 部員参加費 20,000円
自治会 10,000円

◆目的

高齢者には、子供たちが遠くに住んでいてお正月を一緒に迎えられず、1人の方が多くいらしたため、新年会を開くことにしました（自治会の新年会は遠慮する人が多いため、気楽な会を実施）。

◆内容

会員手造りのお料理。お互いに健康で新年を迎えられたことを喜び合う。

短期（3日以上）に家を留守にした時等は、必ず、愛ふれ担当者、または自治会の区長さん等に連絡を取り合うことを年の初めに確認。災害時の避難場所、救急時の連絡先等を新年に話し合っています。

◆課題

新年会のため一月に実施していますが、雪の多い寒い日ですと参加が少なくなり、今後どうするのか、話し合っ
てみたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

会長

川除 照夫 様

☎382-3759



社協インフォメーション Vol.1

よくあるご質問「Q&A」

Q どういう世帯が愛のふれあい活動対象世帯となるの？

A 単位自治会区域内に居住し、次の条件のいずれかを満たす世帯が対象となります。

- ①満65歳以上のひとり暮らし世帯
- ②江別市緊急通報システム及び社協福祉ベル設置世帯
- ③障がい者・傷病者・高齢者のみで構成されている世帯
- ④単位自治会長が、愛のふれあい活動が必要と認めた世帯

④の例) 息子夫婦と同居しているが、朝早くから夜遅くまで仕事をしている為、
独居に等しい状態にある。など・・・

北のまちから
あつたかハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

緑町地域は、江別屯田の入地により早くから拓かれました。

昭和41年4月1日に、緑町の町名がついている地域が「緑町中央」「緑町第一」「緑町第二」の3つの自治会に分かれ、我が第二自治会は緑町東・西2丁目の一部、西3丁目、東3丁目の一部を範囲として発足しました。

私どもの自治会は、殆どが戸建て住宅であることから、高齢化の進んだ地域になっています。このため、年毎に会員が減少し、現在は160戸となりました。今後とも、くしの歯が抜けていくように会員の減少が続くことでしょう。このため自治会の予算も少ないので、身の丈に合った事業を開催していますが、小さな自治会故に皆が顔見知りなので、和気あいあいと楽しい雰囲気の中でやっています。

活動事業名 **みんなで元気に**

- ◆時期 平成21年9月30日
- ◆対象者 高齢者と高齢者に接する機会の多い女性 17名
- ◆担当 婦人部
- ◆総事業費 24,500円 【内訳】社協助成金 15,000円 参加者負担金 3,000円
自治会 6,500円

◆目的

緑町地域は高齢化率が高いことから、高齢の方が元気で暮らすことが望まれる。そこで、①栄養士による健康的な食生活についての講話、②インストラクターによる家庭で出来るヨガの実習、③参加者皆で弁当を楽しく食べて、食と運動の調和が元気の素であることを学ぶ機会とする。

◆内容

「食生活の落とし穴に注意しよう」の講話を、市保健センター栄養士を講師に招いて行った。続いて「家庭で出来るヨガ」をヨガインストラクターによって行い、軽く汗をかいてもらった。

その後、皆で特注の弁当を楽しく会話しながら食べた。

◆成果

当初の見込み(30人)を大幅に下回った(17人)。特に、男性の参加が極めて少なかった。高齢の男性をいかに参加させるかという点について考えが至らなかった。

◆課題

単年度事業の位置づけ。

活動事業名 **愛のふれあい歌と笑いの集い～東日本大震災被災者支援チャリティ～**

- ◆時期 平成23年4月3日
- ◆対象者 自治会会員とその家族 8名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 15,000円 【内訳】社協助成金 15,000円

◆目的

緑町三自治会の合同事業(初めて合同で実施したもの)。

緑町地区の老若男女、年齢を超えてのコミュニケーションづくりの場とするため、歌と笑いの集いを開催。

◆内容

江別市在住のプロ歌手と喜劇役者による舞台

◆成果

3月11日に発生した東日本大震災による被害に対し、急ぎょチャリティーを加えて義援金を募った。参加者は全体で64名、当自治会関係では、8名で少数にとどまった。義援金は17,000となり、社会福祉協議会に託した。

◆課題

単年度事業の位置づけ。

緑町第二自治会 愛のふれあい歌と笑いの集い



自治会の紹介

4階建－1棟－24戸を一区として7棟と、5階建と6階建のつながった55戸を併せ、223戸からなる団地です。昭和29年頃の江別の大火により、被災者を入れるために、ここ弥生町に2階建のアパートを建設したのち、昭和47年頃から改良がはじまり、毎年1棟ずつ建て今日に至ります。

地域内には保育園、すくすくセンター、また警察署もあり、環境に恵まれた地域です。

活動事業名 **お食事会**

◆時期 6月頃

◆対象者 高齢者 53名

◆担当 愛のふれあい

◆総事業費 80,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 65,000円

◆目的

年々、団地内での高齢化により、独居世帯が増えてきました。外出をする機会が少なく、人との交流の場が少なく、独りで家にこもる方が増えてきました。そこで、声を掛け、安全の確認を取りながら、親交を増やしていく中での事業として食事会を設けて、活力ある生活を支援していく。

◆内容

工夫：ボランティアさんの育成を考えながら、話し合いの機会を設け、より多くのボランティアさんの育成を重点に。

苦勞：独居さん、高齢者の方がなかなか外出しない、話を聞いてくれない等があり、毎日の声かけを中心に自分たちを知ってもらう事からはじめました。

成功：今では、全223戸誰がどこの棟にいるか、ボランティアさんがわかる所までできました。色々な会合等で積極的に発言してくれる人も増えてきました（ボランティア・独居さんの方が）。

◆成果

参加をする時は、全員がお客さん（ボランティアも独居さんも）。終了時には、皆、家族的な雰囲気になり、和やかな会合になります。

◆課題

1人でも多くの方に参加して頂きたい。また、参加しやすくなる方法を現在模索中です。

活動事業名 **日帰り旅行**

◆時期 8月頃

◆対象者 独居者・ボランティア 33名

◆担当 愛のふれあい

◆総事業費 80,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 35,000円

◆目的

独居さん、高齢者の方は外出の機会が少ないので、1日を楽しく暮らして頂きたい。

◆内容

温泉地で自由中心の中にも決まりを決め、団体行動、自由行動等。また、普段悩んでいる事などは、個人的に話を聞いてあげる様に心掛けています。

◆成果

緊張していた人も、バスに乗り目的地に着く頃には、皆さん笑顔でいっぱいです。毎年ながら、皆さんの笑顔が一番です。来年も行きたい等、心待ちにしている方がいますので、やめられません。

◆課題

現在の費用では近隣にしか行けず、もう少し財源があればいつも思っています。

社協インフォメーション Vol.2

よくあるご質問「Q&A」

Q どういう事業が「地域交流の集い活動」の助成金の対象とならないの？

A 愛のふれあい活動対象世帯（高齢者世帯・障がい者世帯など）のために開催されていないものや、活動目的にあわないもの等は助成金の対象とはなりません。詳細は社協まで。

例)

- ボランティア会議 … 対象者が参加していない。対象者の交流を目的としていない。
- 対象者宅への訪問事業 … 閉じこもりを防止した交流事業ではない。
(こちらは訪問・声かけを目的とする「愛のふれあい活動」の部分になります)
- 2～3人での交流会 … 対象者が5名以上の事業が助成金の対象になります。

北のまちから
あつたがハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

高砂町自治会は、国道12号線を中心に、鉄道と学園通り、兵村5丁目通りと6丁目通りに囲まれた、ほぼ江別市の中心部に位置しております。

古くは、江別市内を流れていたモショッケ川右岸に、縄文期の住居跡約200戸を有した高砂遺跡が発見されるなど、古来より多くの方が住まれていた土地でもあります。

昭和30年代までは、モショッケ川（現在は地下河川化）周辺に水田や畑もあり、のどかな街並みが続いておりましたが、昭和40年代の市役所移転や周辺の区画整理の実施、昭和61年の高砂駅開業後は急速に住宅やアパートが急増し、現在の街並みが形成されました。

平成23年1月時点で756世帯1620名が居住しております。自治会の加入世帯数は約500世帯で、自治会役員の高齢化と加入率の低下に苦慮している所でもあり、自治会の行事は、高齢者と子供たちの交流を進めて活性化を図るかの視点で進めている所でもあります。

活動事業名 **ふれあい昼食交流会**

◆時期 平成23年7月24日

◆対象者 愛ふれ対象者・ボランティア・自治会役員・講師 30名

◆担当 総務部長・民生委員

◆総事業費 40,702円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 25,702円

◆目的

愛のふれあい交流事業の発足時から、高砂町自治会では取り組んでいる。助け合い活動として、独居高齢者とボランティアとの交流を目的とする。

◆内容

一番の関心事である介護予防を取り上げる。

1. 江別第一地域包括支援センター職員による講話「口腔ケアについて」
2. 昼食
3. 余興とゲーム（スコップ三味線、宝引）
4. お土産（対象者全員）

◆成果

介護予防の講話は毎回好評。余興では、マジックショーの他、スコップ三味線も加わる。ゲームでは、宝引ゲームが定着し、盛り上がる。閉じこもりがちな独居高齢者に外出の機会が作られる。

◆課題

- 介護予防の講話は今後も継続したい。
- 対象者の増加を図りたい。
- 高齢者と子供たちとの世代間交流も考えたい。

活動事業名 **日帰り温泉・交流会**

◆時期 平成23年10月2日

◆対象者 愛ふれ対象者・ボランティア・自治会役員 20名

◆担当 総務部長・民生委員

◆総事業費 53,462円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 21,000円
自治会 17,462円

◆目的

2つ目の事業として温泉での交流会を企画。今までは高砂自治会館内で行ってきたが、変化をつけるために外に出る。

◆内容

日帰り温泉・交流会として「湯の花江別殿」で入浴と昼食会を行う。

◆成果

- 参加者は入浴と昼食会を満喫する。
- 閉じこもりがちな独居高齢者に外出の機会が作れた。
- 参加した対象者とボランティア（自治会役員も含む）との親睦が図られた。

◆課題

参加者（対象者）の増加を図りたい。

知りたい！！

三世代交流の実施例を知りたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

民生委員児童委員

三浦 賢 様

☎382-5933



社協インフォメーション Vol.3

よくあるご質問「Q&A」

Q 地域交流の集いには愛のふれあい活動対象者やボランティア以外の方は参加できないの？

A 愛のふれあい活動対象者以外の方も参加できます。

例えば、「健康なので愛ふれ活動対象者には含まれないが、交流会等には参加したい」という高齢者の方にもどんどん参加してもらいましょう。

また、地域の子ども達を誘った場合は、世代間交流も図れます。

北のまちから
あったかハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

当自治会は昭和62年に設立され、満24年を迎えました。見晴台全域を対象に、1520世帯がその構成会員です。

当自治会住民の単純な平均年齢は44.7歳ですが、20～25歳と55～60歳に年齢構成のピークがあります。また、65歳以上の住民は全体の15.6%であり、江別市全体の20.1%に比べ低く、市内でも若い方が多い地域といえるのではないのでしょうか。

当自治会は、会員相互の親和協力によって、住みよい地域づくり・住民の福祉を推進することを目的に設立されました。この目的達成のため、福祉活動、交流親睦事業、環境・衛生事業、児童青少年健全育成事業、防犯・防災・防火活動など種々の活動を行っています。特に当自治会が重点を置いているのは福祉活動であり、託老事業（むつみ会）、地域交流事業（ふれあいサロン）及び災害時要援護者避難支援事業はその中の重要な事業です。

活動事業名 **愛のふれあい交流事業**

◆時期	平成22年6月28日		
◆対象者	愛ふれ対象者・協力者	28名	
◆担当	社会福祉部		
◆総事業費	55,000円	【内訳】社協助成金 15,000円	バス助成金 30,000円
		自治会	10,000円

◆目的

普段、外に出る事のない、或いはあきらめている人達も、支える協力者がいれば安全に遠出も出来る。また、裸の交流で人と人との絆が増し、そして、明日への元気につながる事を実感しております。

◆内容

「日帰り温泉」

【工夫した点】バスの中でクイズ・ゲーム・歌と頭のリフレッシュ体操をしながら五感の刺激！また、日常的動作の落着いている人の浴場での安全面に留意した（介護福祉士、看護師、ヘルパー2級の専門職が引率）。

【成功した点】お互いに背中を流しあったり、援護者同士が手を添えて入浴したりと、自然と交流が生まれていた。

（自宅をお互いに訪問）

◆成果

援護者同士でお互いに訪問し合っている。今まで知らない者同士が、この事業を通じてお友達になり、安否確認につながっている（日常的に気を遣い「カーテンが夜になっても閉まらない」「開かない」等の時、情報の提供がある）。

◆課題

高齢者、若年層の引きこもりも増えてきているのも事実であり、家族同居の場合が一番難しいケースでもあるような気がします。

近所から、毎日子供に虐待されているのでは、との一報が入っても、家族対応で本人には会えず、また、プライバシーの問題も絡み、専門職につなげるも進展せず…

その様なお年寄りがどンドン外に出て来られるような居場所が、各自治会もひとつあると素晴らしいと思います。福祉サービスにつながらない「はざま」に居る人達の居場所が、もっともっと願っております。

活動事業名	地域交流事業		
◆時期	平成23年5月29日		
◆対象者	要援護者・障がい者・親子・地域住民どなたでも 124名		
◆担当	社会福祉部		
◆総事業費	30,012円	【内訳】社協助成金 15,000円	自治会 2,612円
		参加者 12,400円	
◆目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢になり、日常的に外に出ることがおっくうになり孤立する人達 2. 世代を越えた人と人とのつながりを求める事の重要さ！ 3. 地域住民のさりげない人の支え合いの意識向上に繋がりたい！ 4. 高齢になり、役割がなくなった方に再度協力を求めた事での本人の達成感！ 以上のことから、事業を行った。 		
◆内容	<p>「ふれあいサロン（ほっとするコーナー・子供コーナー）」「子供向けの映画上映会」 地域の人のボランティアを募り、食事作り、案内係、映画係と自分の出来る活動で参加してもらった。</p> <p>【工夫した点】150食の食材の安全面と受付でチケットを販売した。テーブルにナンバーを打ち、それぞれのウェイトレスの役割を決めた事で、高齢者の方も間違うことなくスムーズに行うことが出来た。</p> <p>【成功した点】飲み物の無料コーナーを設けたので、ゆっくりくつろぐ事が出来た。</p>		
◆成果	<p>○準備、その他大変でした。食材を扱う事で届も必要との事。知らない部分で学べる事が出来た。</p> <p>○愛ふれ活動者同士の結びつきが出来ている。今まで知らない者同士がお互いに行き来するようになり、健康状態、不穏な状況がある場合、直ぐに情報提供が行われるようになった。</p> <p>○ボランティア活動を通じ、自分も楽しめたという思いを感じて、次の役員が引き受けてくれること。</p>		
◆課題	<p>高齢化が進み、ますます地域の絆が求められています。心身の衰えで何をするにも億劫になり、どんどん体力・気力とも失せていくお年寄り達の、活性化を促す地域コミュニティの重要性を皆で認識し、支えていける地域作りを目指していけたらと思っております。</p>		

活動事業名	地域交流事業		
◆時期	平成23年7月24日		
◆対象者	愛ふれ対象者・赤ちゃんから地域住民どなたでも 105名		
◆担当	社会福祉部		
◆総事業費	27,255円	【内訳】社協助成金 15,000円	自治会 1,755円
		参加者 10,500円	
◆目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢になり、日常的に外に出ることがおっくうになり孤立する人達 2. 世代を越えた人と人とのつながりを求める事の重要さ！ 3. 地域住民のさりげない人の支え合いの意識向上に繋がりたい！ 4. 高齢になり、役割がなくなった方に再度協力を求めた事での本人の達成感！ 以上の事から、事業を行った。 		
◆内容	<p>「ふれあいサロン（食事の提供・ほっとするコーナー・スイカ割り）」</p> <p>【工夫した点】要援護者の方にもボランティアの声を掛けた。2回目なので、自治会便りでお手伝いを募ったので、閉じこもりがちな方も参加して頂くことが出来た。</p> <p>【苦労した点】夏場なので衛生面に気をつけた。</p>		

【成功した点】外ではイベントとしてスイカ割りをする。中に入らない多数の通り掛りの親子連れも参加した。
また、福島県からの避難者家族にも声を掛け、楽しんで貰えた。

◆成果

要援護者の方が「自分にもまだまだ役に立つ事、出来る事がある」と、とても喜んでおり、おぼんを離さなかった。
引きこもりの50代の女性にさり気なくお手伝いを依頼すると「自治会便りを見て、わたしも少し出てみようかな」と思っていたとのこと。終わり頃には笑顔が出ており、地域の行事の楽しさを味わったとの事。

◆課題

やはり、体力の低下は介護につながる事がある。少しでも元気な生活を営んで行くには、地域での支え、福祉サービスを上手に組み合わせて行くしかないのか。経済面でギリギリの生活をしている人達に地域で何が出来るのか。
地域食堂→安価な食事提供、ボランティアの手作りの居場所作りでどれだけ助かる人がいるか！

◎問い合わせ先 担当者◎
社会福祉部長
杉本 優子 様
☎384-8223

見晴台自治会 第1回ふれあいサロンのお知らせ

見晴台自治会 第2回ふれあいサロンのお知らせ



見晴台自治会 ふれあいサロンの様子



自治会の紹介

上江別地域は農地として開拓され、上江別自治会の名称で昭和40年に発足し、昭和50年以降住宅地として発展する中で上江別第一、第二、早苗、中原と4分割されました。

上江別第一自治会は、上江別南町を中心にゆめみ野南町と上江別の一部が、旧市街地および新興住宅地が混在して発展した住宅が多く、今年4月1日現在の会員世帯は634戸となっております。

主な建物、施設は上江別小学校と上江別南町公園、道路は上江別1号通、13号通および、きらら街道、南大通です。

世帯構成については、高齢者が3割を超え70歳以上235名、うち男性91名、女性144名です。男女比率は、男性39%、女性61%の割合です。

旧市街地と新興住宅地との年代構成の違いによる自治会活動への協力、支援が不足気味。

役員構成は、会長・副会長・会計部・婦人部・育成部・福祉部・環境部・リサイクル部・婦人防火部・交通安全部・監査・特別役員で総数21名内訳、男性9名、女性12名です。

会員の親和協力のもと、住みよい地域をつくり、併せて福祉の推進を図る事を目的に結成しました。

活動事業名 **愛のふれあい交流の集い**

◆時期 平成22年7月26日

◆対象者 高齢者 14名

◆担当 福祉部

◆総事業費 25,490円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 10,490円

◆目的

○社会福祉協議会の概要で地域交流の集い活動を知り取り組む。

○愛のふれあい対象世帯や高齢者・障がい者等のために助け合い活動の一環として、閉じこもりを防止し、心身のリフレッシュを目的に実施。愛のふれあい交流事業を行うことの「3つの効果」を期待して。

◆内容

【保健師さんによる講話と血圧測定】

講話の内容：がん予防のお話し

その他：頭の体操クイズとビンゴゲームおよび昼食会

講話の後は頭の体操クイズとビンゴゲームを楽しみ、最後に昼食を取りながら談話をして交流を深めるよう努力しています。内容は、毎回中身を変更し、高齢者が身近に感じる健康問題としています。毎年度で3回の集いを開催し、対象者30人が平均1回は参加できるよう働きかけているが、思うようにいかない場合が多い。

◆成果

最初の頃は何となく遠慮気味で参加していたが、皆さん顔なじみとなりお互いに積極的に話し合いしている姿がある。参加者の顔がいきいきと輝いて楽しそうになってきた。

◆課題

対象者30人のうち、男性4人と圧倒的に女性の方が多く男性の参加者が少なく男性の気弱さが目立つ。また、高齢化と共に、持病のある方が多く年々参加率の低下が気になる。

講話の内容も検討の余地があると考えざるを得ない。また、ボランティアの方も高齢化が進む現状である。

活動事業名 **愛のふれあい交流の集い**

◆時期 平成22年9月13日

◆対象者 高齢者 17名

◆担当 福祉部

◆総事業費 26,614円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 11,614円

◆目的

○社会福祉協議会の概要で地域交流の集い活動を知り取り組む。

○愛のふれあい対象世帯や高齢者・障がい者等のために助け合い活動の一環として、閉じこもりを防止し、心身のリフレッシュを目的に実施。愛のふれあい交流事業を行うことの「3つの効果」を期待して。

◆内容

江別市交通安全係による交通ルールの寸劇鑑賞。鑑賞後は、頭の体操クイズやビンゴゲームを楽しみ、最後に昼食を取りながら談話をして交流を深めるよう努力しています。

内容は、高齢者が身近に感じる交通安全に関する知識やルールについての講話や、軽体操等を体験して頂く場合があります。年々高齢化が進み、参加者が減ってきて特定の人達が毎回参加するケースが増えている。

◆成果

交通安全についての知識やルールは身に付いているように感じる。慣れた道路での事故が多いとの話でお互い気をつけるよう話し合ったりしております。

◆課題

高齢化と共に持病のある方が多く年々参加率の低下が気になる。またボランティアの方も高齢化が進む現状である。

活動事業名 **愛のふれあい交流の集い**

◆時期 平成22年10月27日

◆対象者 高齢者 11名

◆担当 福祉部

◆総事業費 47,360円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 32,360円

◆目的

○社会福祉協議会の概要で地域交流の集い活動を知り取り組む。

○愛のふれあい対象世帯や高齢者・障がい者等のために助け合い活動の一環として、閉じこもりを防止し、心身のリフレッシュを目的に実施。愛のふれあい交流事業を行うことの「3つの効果」を期待して。

◆内容

【映画観賞】ワーナーマイカルにて 【題名】桜田門外の変 【時間】2時間

映画観賞後、上江別自治会館にて昼食会を行い、食事をとりながら映画をみた感想や今後の映画の内容について話し合う。対象参加者が、当日体調不良を訴え欠席となり、急きょボランティアの方々に参加頂いた。映画観賞は、好評の反面、2時間近く椅子に座り続ける不自由さが不満である。

◆成果

平成19年度から映画観賞をはじめ、参加者には大変好評を得ている部分が多い。

○映画を見る機会や買い物もできる

○小型バスでの送迎

○自治会館での昼食会が楽しい

○仲間との話し合いが楽しい

◆課題

前売り券の発売時期が早く、予定日当日の体調不良による欠席が多い。従って、ボランティアの方や役員が急きょ参加となる。また、参加者が楽しみにしている割に参加率が低い。高齢者向け映画内容および時間・時期等、今後検討の余地あり。

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉部

今野 百合子 様

☎383-0866

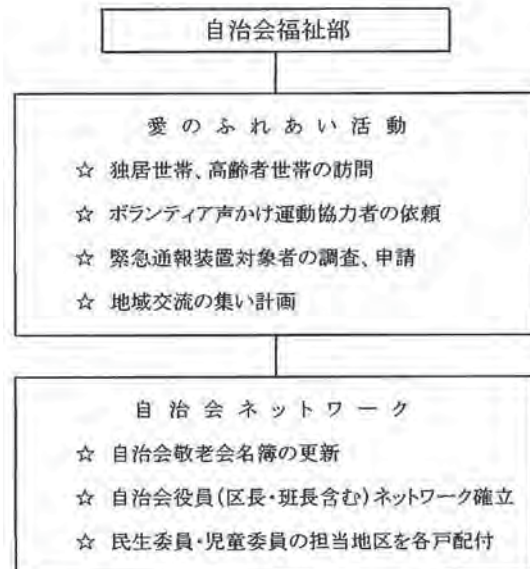


上江別第一自治会の取り組み

自治会福祉部として、以前から愛のふれあい活動を実施していたので事業の対象者については把握しておりました。事業として、交流の場を持ちたいと考え、福祉部が中心となり、他部の役員および会員のボランティアの協力を得てゲーム、おしゃべり、食事を楽しむ交流会、時には高齢者のためになるお話し等と考えながら、年3回の予定で計画を立てて始めました。

今後の課題

高齢者世帯から独居になるケースが増えてきているので、その状況になった場合でも家に引きこもらず交流の場に参加してくれるよう、心掛けて声かけをしていきたい。



活動実績

十六年度	7月8日(自治会館)参加 16名 ☆ 保健士(保健センター)による血圧測定、健康に関するお話し 転倒防止体操 ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 13,992円	9月1日(自治会館)参加 20名 ☆ 折り紙指導員によるティッシュ入れ、物入れ作り ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 16,594円	10月27日自治会館参加 21名 ☆ 市のスポーツクラブ指導員による高齢者向けの体操 ☆ 昼食会 支出合計 16,730円
	7月13日自治会館参加 23名 ☆ 保健士と栄養士による血圧測定、栄養に関するお話し ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 17,145円	8月26日自治会館参加 30名 ☆ 市の生活環境部職員によるビデオを見ながら交通安全等のお話し ☆ ジャンケンゲーム ☆ 昼食会 支出合計 19,909円	10月21日自治会館参加 30名 ☆ 江別警察署生活安全課の職員による交通安全、詐欺等に関するお話し ☆ ゲーム ☆ 昼食会 支出合計 17,290円
	7月6日(自治会館)参加 23名 ☆ 市介護保険課課長さんに介護保険の説明を受ける ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 20,440円	8月31日自治会館参加 25名 ☆ 市民生活課交通安全係の職員による交通安全に関するお話し ☆ クイズ ☆ 昼食会 支出合計 22,282円	10月12日自治会館参加 27名 ☆ 保健士(保健センター)による認知症予防のお話し ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 22,520円
	6月25日自治会館参加 24名 ☆ 保健士(保健センター)による転倒予防のお話しと予防運動の実践 ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 19,950円	8月6日(自治会館)参加 24名 ☆ 大正琴サークル『ハーモニー蘭』による琴の演奏を聴く ☆ ビンゴゲーム ☆ 昼食会 支出合計 20,340円	10月3日(ボスフル映画館)参加 34名 ☆ 初めての映画観賞 ☆ 昼食会(老人憩の家) *ボランティアの参加者は各自300円負担 支出合計 53,304円

※ 事業助成金をオーバー分は自治会負担

自治会の紹介

当自治会は、4丁目陸橋から高砂駅前のマンション戸建て住宅の9区84班1026世帯と大きな自治会です。
65歳以上の独居高齢者68名、70歳以上の高齢者370名と高齢化が進んでいます。
8月には自治会主催の運動会、9月高齢者の集い（敬老会）、10月新陸旅行（バス）等、活発に活動しています。

活動事業名 **愛のふれあい地域交流の集い**

- ◆時期 平成23年7月9日
- ◆対象者 独居高齢者 29名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 24,771円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 9,771円
- ◆目的
独居高齢者の閉じこもり防止
- ◆内容
1. 血圧測定 2. 自己紹介 3. 閉じこもり防止について講演 4. 食事、雑談
- ◆成果
参加者数が当初予定よりも多かった。
- ◆課題
本年は気温が高く、昼食を用意したが全員で食べるには会場が手狭なため、考えなければいけない。

◎問い合わせ先 担当者◎
社会福祉部長
佐藤 忠 様
☎383-6225



社協インフォメーション Vol.4

よくあるご質問「Q&A」

- Q 緊急通報システムを設置したいのですが？
- Q 自治会内の緊急通報システム設置者を教えてください。
- A 緊急通報システムは江別市介護保険課高齢福祉係で設置しています。
お問い合わせは、TEL 381-1067 まで

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター



自治会の紹介

早苗自治会は、1534戸と大世帯。愛ふれ担当としては、自治会福祉部長1名、総務副部長1名、そして1区～6区まで各区に福祉部長1名の計8名の役員で構成されている。副総務部長以外は毎年役員が変わるため、引き継ぎはきちんと行なわれ、役員の中で、自治会部長総括で会計・書記と役割を決めている。会議も行事毎にスムーズに行なわれているが、役員はまわり当番のため、地域交流活動の理解を得るのに時間（説明）を必要。

上江別小学校、第一中学校と子供の数も多いが、高齢者世帯も79世帯、65歳以上の独居46人、70歳以上383人と高齢者も多い。子供さんとふれあう機会を作り心癒される、住みやすい自治会を目指し、世代仲良く協力し自治会運営に参加。

また、対象者が行事の回覧が来たら、お友達に声を掛けたり、近所で参加していない人に声をかけ、少しでも多くの対象者が参加出来るようにして、元気に過ごしていけるようにしていきたい。

活動事業名 いきいきサロン

- ◆時期 平成22年6月20日
- ◆対象者 65歳以上高齢者 65名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 53,410円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 38,410円
- ◆目的
 - 昨年ギターの弾き語りを行った方が、自分の両親が介護を必要とされており、また、本人も介護施設で働いている方で、高齢者の気持ちを歌にして感動・・・今年もお願いしました。
 - 江別第二地域包括支援センターを皆様に知ってもらいたいと計画しました。
- ◆内容
 - 保健師による健康相談、血圧測定
 - ※畳の部屋で座って測ってもらう。順番を待っている間、落ち着いてもらう。
 - ギター弾き語り講師による演奏とお話し
 - 江別第二地域包括支援センターによる事業内容 救急袋の希望者多数
 - 昼食 役員手作りのカレーライス（肉はひき肉を使用）
- ◆成果
 - 参加者に、年5回のいきいきサロンの5回目の時にアンケートをとりました。
 - 「良かったと思うことは何ですか？」
 - ①外に出る機会が増えた ②生活に楽しみが増えた ③友人や知人が増えた ④健康に気を使うようになった
- ◆課題
 - 参加された行事については、大体の方が大変満足と記入されているが、毎年、前年度喜んでいただいた行事を計画。旅行も1回取り入れたい。また、音楽も楽しんでもらいたい。
 - 映画も餅つきもと相談している内、前年度と同じ計画になっているが、内容に少し変化をつけて行きたい。

活動事業名 いきいきサロン

- ◆時期 平成22年10月31日
- ◆対象者 65歳以上高齢者 78名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 79,817円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 64,817円

◆目的

- 日常で生バンドを聞くことがなくなった事から、役員の中で知り合いがいるボランティアグループに依頼し大好評。毎年、昔懐かしい曲を歌って演奏して、参加者に若い時を思い出して笑顔を出してもらおう。
- 自分でも出来る健康を維持する体操を知ってもらおう。

◆内容

- 保健師による血圧測定、健康相談（年2回計画）
- 健康づくり推進委員による椅子に座ったまま出来る体操
- 生バンドによる演奏会、バンドに合わせて踊る（昔懐かしい曲を多く演奏してもらう、バンドに合わせて踊る）
- 弁当（業者に依頼）とキノコ汁（役員手作り）

◆成果

音楽を聞く事による気持ちの明るさが表現されていました。また、体操も「座っていても出来るんだ」と帰宅後自分で行ない、少しでも体力維持が出来れば成果あり。

活動事業名 **いきいきサロン**

◆時期 平成23年1月27日

◆対象者 65歳以上高齢者・親子と小学生 70名

◆担当 福祉部

◆総事業費 107,170円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 92,170円

◆目的

小学生と高齢者のふれあいの機会としました（餅つきの方法や丸める方法等、教えてもらう）。

◆内容

小学生と高齢者との交流。

餅つきでは、うす2ヶ、きね（大人用、子供用）を準備。小学1年～3年の参加者は親同伴。

回覧により希望者を募集し、人数を把握。実際には、両親や幼児もたくさん参加のため、ケガなど注意が必要なため、育成部役員にも協力して頂きました。餅を美味しく食べられて危険のない内容を作りました。

◆成果

去年は椅子・テーブル席でしたが、今年は座って食べれるコーナーを作り、小さい子供さんも喜んで親子一緒に楽しい時間を作れました。


◆課題

うす、きね、蒸し器等リースにしたため、役員の負担が減り大変良かった。だんだんつく人（あいの手の人）が高齢化しているため、ケガ等に注意。



早苗自治会 いきいきサロン（体操）

◎問い合わせ先 担当者◎
副総務部長
藤川 康子 様
☎383-1050





早苗自治会 いきいきサロン(昼食作り)



早苗自治会 いきいきサロン(昼食)



早苗自治会 いきいきサロン(バンド演奏)

自治会の紹介

当自治会の区域はJR函館本線を挟んで江別駅南東に位置し、低階層家屋が建ち並び、閑静な住宅地域である。

自治会は、自治会づくり創成期の昭和41年結成で、構成世帯数は470程度、年々減少傾向にある。

高齢人口（65歳以上）は30%に近く、単独世帯も増えている。役員年齢も60歳、70歳代が殆どで、以前から若返りが望まれているが、若手に引き受けてもらえないのが現状である。

自治会としては、これからも住民相互の親和・協力により、住みよい街づくりを目標に事業展開をしていきたいと考えている。

活動事業名 **軽スポーツと昼食交流会**

◆時期 平成23年2月19日

◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 17名

◆担当 福祉部

◆総事業費 20,326円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 5,326円

◆目的

これまでの事業は、体をあまり動かさない事業が多かったので、運動を通じてお互いにふれあいを深めるため。

◆内容

市教育委員会の指導員2名による、ハッピーボーリングとユニカールを行った。引っ込み思案の方へ声をかけて出席者全員参加し一体感があつた。無理をしないように注意した。

活動事業名 **お口の健康講話と軽運動及び昼食交流会**

◆時期 平成23年7月4日

◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 20名

◆担当 福祉部

◆総事業費 19,314円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 4,314円

◆目的

当自治会区域内にある、江別第二地域包括支援センター職員からの提案により実施。

◆内容

江別第二地域包括支援センター職員による、お口を健康に保つための講話及び椅子に掛けての実技指導。昼食交流会には、センター職員も加わってもらったので、対話しながらお口の健康の大切さの認識が深まったと思う。

2事業共通の課題

○当自治会では、地域交流の集い活動を年3回行なっているが、参加者はいつも同じ顔ぶれで人数も少なく、今後世代を超えて幅広く参加できるようなどの工夫。

○小さな子供とのふれあい事業への取り組み。

知りたい！！

多くの参加者がある自治会のこの種の事業の開催内容等の事例を知りたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉部

小林 暁 様

☎383-6891



自治会の紹介

江別市の東、千歳川に沿って広がるこの地域に、540世帯が住んでいます。

自治会の役員構成は会長、副会長2名、会計の3役と、専門部（総務部、青少年育成部、環境衛生部、防犯交通部、福祉部、女性部）、地域は11区と49班で構成されています。

少子高齢化により、会員の高齢化が進み、本年度の敬老会の対象者75歳以上の方は261名と年々増加しています。

自治会の重点目標は、①健康で明るい街づくりの推進、②快適で住みよい環境整備、③交通安全対策と防犯活動の推進、④福祉活動の推進と青少年の育成活動の推進です。

活動事業名 **①ボランティアさんとの昼食会** **②高齢者向きストレッチ体操と昼食交流会**
③自治会役員、ボランティアとの懇談会 **④お雛祭り**

◆時期	①7月頃 ②10月頃 ③12月頃 ④3月頃
◆対象者	高齢者・役員・ボランティア 25名
◆担当	東光自治会
◆総事業費	85,000円 【内訳】社協助成金 60,000円（15,000円×4事業） 自治会 25,000円

◆目的

1人暮らしの高齢者が対象で、地域の民生委員の紹介により、生活の不安や日常の相談、安否の確認など、地域住民と自治会が中心となり①～④の活動事業を推進する。

◆内容

- 日常の生活の中での近況報告を聞く
- 現在、困っている事、心配している事を聞く
- 簡単な運動で足腰を鍛える運動を主に楽しく実施する
- 昼食の中で情報交換をしたり、食後に簡単なゲームをして、普段の気持ちをリフレッシュするようにする

◆成果

普段あまり外に出る事がないため、活動事業に対し大いに楽しみにしています。また、ボランティアの皆様との交流の中で、情報交換を色々としているようで、地域の中で安心して生活をしているようです。

◆課題

ボランティアの皆様には、日頃より安否確認をマメにしてもらいたい。また、日頃より出来るだけ対象者に声かけをしてもらいたい。対象者の皆様には、留守にする場合、火元・戸締りを十分気をつけるようお願いする。

自治会の紹介

- 当自治会は、江別市で海拔が一番低い水害危険地帯。
- 昭和30年代からの居住者が多く、高齢化が進捗している。
- 災害には敏感で、自主防災組織を結成し、6年連続自主防災訓練実施。
- 高齢者や独居老人の集合する機会が少なかった。
- 隣近所みんなで高齢者を見守ろう。

活動事業名 **高齢者日帰り温泉旅行**

- ◆時期 平成20年6月9日
- ◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 24名
- ◆担当 福祉厚生部
- ◆総事業費 32,920円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 17,920円
- ◆目的
 1. 閉じこもり老人を違う環境に引き出す
 2. 会食・飲酒・入浴等で皆と歓談できる
 3. 近所づきあいの基になれば
 4. 継続して開催することを周知
- ◆内容

【入浴・会食・懇談】

企画力が足りなく、慣れていない。周知や募集に苦労した。また、身体の障がい気に気付けた。
- ◆成果

参加者全員打ち解けた雰囲気であった。次回の開催を心待ちにしているよう。
- ◆課題
 - 参加者の増加
 - 足の確保
 - 講義・講話の取り入れ
 - バス借り上げ助成金の有効な利用法
 - リーダーと参加者との関係性の強化

活動事業名 **健康教室（歯とお口の健康）**

- ◆時期 平成20年7月14日
- ◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 36名
- ◆担当 福祉厚生部
- ◆総事業費 33,407円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 18,407円
- ◆目的
 1. 閉じこもり老人を違う環境に引き出す
 2. 歯とお口の健康教室開催（保健センター）
 3. 近所づきあいの基になれば

◆内容

【健康教室と会食・歓談・カラオケ】

企画力がついてきたが、慣れていなく、周知や募集に苦労した。

◆成果

参加者全員打ち解けた雰囲気であった。健康教室に興味があり、真剣に参加している。次回の開催を心待ちにしているよう。

◆課題

- 参加者の増加
- 足の確保
- 講義・講話の取り入れ
- バス借り上げ助成金の有効な利用法
- リーダーと参加者との関係性の強化

活動事業名 **敬老の日の集い**

◆時期 平成20年9月14日

◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 34名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 48,754円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 33,754円

◆目的

1. 閉じこもり老人を違う環境に引き出す
2. 敬老の日のイベント
3. 米寿の方へ寿詞贈呈
4. 近所づきあいの基になれば

◆内容

【敬老の日のイベント・会食・カラオケ】

企画力がついてきたが、慣れていなく、周知や募集に苦労した。また、入場数は限界。

◆成果

参加者全員打ち解けた雰囲気であった。寿詞贈呈は初めて。次回の開催を心待ちにしているよう。

◆課題

- 参加者の増加、会場が限界
- 足の確保
- バス借り上げ助成金の有効な利用法
- リーダーと参加者との関係性強化

お知らせ・ご案内

- ・江別第二地域包括支援センターの協力を得、各種講義をお願いしている。
- ・保健センターが気安く行動してくれた。

悩み

- ・参加者の増員が困難。

自治会の紹介

朝日町自治会は、高齢化率24.1%に達し、毎年1.3~1.5%程度増加の傾向があり、子供たちの少ない地域になりました。また、役員構成も高齢化になり、地域活動の積極性が少なくなった様に思われる。

平成23年度の大きな事業として自治会館の新築を行い、その会館を利用して、高齢者の話し合いの場、また、小学校低学年を対象とした工作教室、学童保育（案）等に利活用を図っていきたいと思っています。なお、会館の新築により、たくさんの方の利用と地域の発展、明るい地域を目指していきたい。

活動事業名 **工場見学研修事業**

- ◆時期 平成22年10月1日
- ◆対象者 独居老人 12名
- ◆担当 女性部
- ◆総事業費 139,800円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 40,800円 参加者 54,000円

◆目的

独居老人の増加に伴い、話し合う場と健康管理の増進を図るため

◆内容

- 仁木町でのブドウ狩り ○余市町での工場見学 ○仲間との懇談交流
- 連絡バス内での窓から見た景色の案内（バスガイドが不在だったため苦労した）

◆成果

その後の愛のふれあい事業に参加者が増えた。

◆課題

事前調査が必要。

活動事業名 **健康相談と食べもの実習**

- ◆時期 平成22年10月16日
- ◆対象者 独居老人 9名
- ◆担当 女性部・福祉部
- ◆総事業費 37,500円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 22,500円

◆目的

独居老人の増加に伴い、話し合う場と健康管理の増進を図るため

◆内容

- 血圧測定 ○運動指導（保健センターより） ○薬の飲み方、飲み忘れた場合の対応（江別薬剤師会より）

◆成果

毎年実施の方向で検討したい。

◆課題

病気と薬について拡大的。しかし、医者ではないのでnoコメントとなった。

活動事業名 **見学旅行**

- ◆時期 平成23年7月8日
- ◆対象者 独居高齢者 52名
- ◆担当 女性部、福祉部
- ◆総事業費 173,000円 【内訳】 社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 50,000円

◆目的

昨年に続き見学旅行を実施した。旅行プランが良いせいか参加者が増加した。

◆内容

- 富良野チーズ工場見学 ○花畑公園を見学
- バスからの風景建物等名称内容等、役員も勉強中

◆課題

旅行ルートの事前調査及び案内者のミーティングが必要。

◎問い合わせ先 担当者◎
会長
村上 節 様
☎384-1148



社協インフォメーション Vol.5

「地域交流の集い活動」への協力団体の紹介①

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

【保健師による健康診断】

血圧測定とともに健康上の相談にも個別に応じます。
みなさんで集まる良い機会に、健康上の相談が出来る場を設けてみてはいかがでしょうか。
担当：保健師 内容：血圧測定、健康上の個別相談

- ◆各団体・年2回を限度に派遣します。
- ◆実施予定日の1ヶ月前までにご連絡下さい。

※保健師や栄養士による健康づくりや病気の予防に関する講話（概ね20～30分の予定）をご希望の場合は、直接保健センターへお問い合わせ下さい。

～お申込み・お問い合わせ先～

江別市保健センター 健康づくり・健康指導担当
江別市若草町6-1 ☎385-5252



北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

自治会の紹介

私達の自治会は100戸近くの小さな自治会組織ではありますが、永く居住している人が多く、気心の知れた方が多いのでまとまりはあります。

最近、若い世代の加入と二世帯同居が増え、子供さんや孫さんとの交流も行なっております。自治会の高齢化の中で嬉しいことでもあります。お1人暮らしの高齢者の方も10名ほどおり、楽しく交流をしています。

モットーは「明るく楽しく心豊かに」で、向う3軒両隣の絆を強めていきます。

活動事業名 **地域交流とレクリエーション会**

◆時期 9月頃

◆対象者 1人暮らし高齢者・地域の高齢者・ボランティア 35名

◆担当 環境福祉部

◆総事業費 33,500円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 15,000円
参加者 3,500円

◆目的

当初お1人暮らしが12名おり、その方々へのサポート隊（ボランティア協力員）との交流を行い、地域の高齢者（寿楽会）との交流をも深めてきました。現在は30～35名の参加があります。

◆内容

食事会やレクリエーション（カラオケ・ゲーム）の他、オレオレ詐欺・災害時の避難・私の健康法等の研修や発表会を行い、話せる機会を多く設けています。

ボランティア協力員のご協力で、食事は手造りが多くとっても好評です。

交流会に出られても楽しく過ごせるよう、皆さんは気配りを大切にしています。

◆成果

はじめて良かったという意見が多く、次回への工夫等の反省も忘れていませんね。

カラオケも無理に勧めず、歌いたくなるような雰囲気づくりをされています。

◆課題

4年程実施している内容なので、メリハリをつけ、興味を覚える様な楽しいゲームも取り入れてみたいです。

活動事業名 **ひな祭り地域交流会**

◆時期 3月頃

◆対象者 1人暮らし高齢者・地域の高齢者・ボランティア 35名

◆担当 環境福祉部

◆総事業費 33,500円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 15,000円
参加者 3,500円

◆目的

女性の対象者が比較多かったので、3月のひな祭りに手造りのちらし寿司と桜餅を食べ、ビンゴゲーム等を楽しんでいます。

◆内容

手造りのちらし寿司を食事のメインにしています。お菓子は「ひな祭り」にちなんで「桜餅」を出します。

◆成果

冬の閉じこもりがちな時期なので、外に出て遊ぼうという気持ちを抱かせるのにとっても効果的でした。

◆課題

今後は、男性も5月にという意見もありますが、内容を楽しく気軽に集えるレクリエーション会にしたいと思っています。

実施したい！

野幌若葉自治会で行なっている、手打ちそばの交流会を勉強し、実施したいと思っています。

◎問い合わせ先 担当者◎

副会長（担当責任者）

加藤 愛子 様

☎383-3176



社協インフォメーション Vol.6

「地域交流の集い活動」への協力団体の紹介②

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

【住宅防火に関する講座】

住宅火災による死者数は全国的に増加傾向にあり、高齢者の方が半数を占めています。防災に関する講座について、消防職員が自治会等の各行事や会議等の時にお伺いして火災にならないための注意事項等をお話しします。この機会に是非、防火の話を聞いてみてはいかがでしょうか。

～お申込み・お問い合わせ先～

消防署予防課	江別市野幌代々木町80-8	☎382-5430
消防署江別出張所	江別市3条1丁目	☎382-2075
消防署野幌出張所	江別市野幌代々木町80-8	☎382-3444
消防署大麻出張所	江別市大麻元町192	☎386-8333

※お近くの消防署・各出張所にご連絡下さい。

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター



自治会の紹介

石狩川、夕張川、幌向川を懐にいただき、農業と市街地から構成されているが、農業も幾多の冷・水害を克服し、安定した営農が確立されつつある。また、市街地も850戸を越え、町内自治会の加入率が99%と安定した運営を行っており、微増ではあるが、毎年新築も数件あります。

世代も、高齢者が増えつつあるが、まだ活気のある街と考えております。

通勤者が多く、役員の成り手がなく、長年同じ役員構成となっておりますが、何とか青壮年層に変換したいものと考えております。

「明るく豊かで住みよいまち」を目指し努力しているところです。

活動事業名 **高齢者・障がい者等との交流会**

◆時期 平成21年度より「敬老の日（9月の第3月曜日）」

◆対象者 高齢者・障がい者・ボランティア 70名

◆担当 総務部

◆総事業費 200,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 185,000円

◆目的

町内自治会では多様な事業を行なっているが、若者が中心で、高齢者・障がい者の参加が難しく、交流の場としては是非必要と思われたため。

◆内容

実施事業については、当初、江別第二地域包括支援センターの職員の派遣を依頼したが、一般的に行政に関する事が主で、交流会の場としてはどうか？

2年目は読書会（芥川の「杜子春」を朗読）。

本年度は、紙芝居「かぐや姫（折り紙で作った作品）」と整体師による健康講話等、易しく楽しく。参加の皆さんが喜んでおりました。

◆成果

普段、顔を合わす機会がない人達が、交流によって話し合う場ができ、また、本年度は関係が深い民生児童委員の方々にも参加してもらい、職務の遂行上、益があったものと思われまます。

◆課題

各区長を通じて、75歳以上の高齢者を調査してもらった結果、110名であったが、潜在している高齢者はまだ居住している様に思われる。その調査と参加率アップに配慮をしたい。

要望・意見

「愛ふれ」など、数名で1万円の助成であるが、地域の交流会は自治会費の持ち出しが多額であり、年々高齢者が増え、それにつれて費用も多くなるので、参加人員等により、活動費助成金の増額をお願いしたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

副会長

熊谷 竹五郎 様

☎381-3530



豊幌町内自治会
高齢者・障がい者等との交流会



社会インフォメーション Vol.7

「地域交流の集い活動」への協力団体の紹介③

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

【軽スポーツ出前指導】

体育指導員が指導に来てくれます。
皆さんで軽スポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。

対 象：江別市民10名以上の団体・グループ
出前日時：ご希望の日をお申し出下さい（お応えできないこともあります。）
なお、1回2時間程度でご指定下さい。
出 前 先：ご指定の市内各所

- ◆実施予定日の1カ月前までにお申込み下さい。
- ◆用具は江別市民体育館にあります。運搬にご協力下さい。

～お申込み・お問い合わせ先～
教育委員会スポーツ振興係
江別市高砂町24-6 ☎381-1061

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター



自治会の紹介

4年前からの難題懸案事項であった自治会3分轄も、平成23年3月末で出来まして、新しい萌えぎ野自治会も発足しました。今年度からのスタートです。地域交流親睦活動が大変大事な課題になっていますが、談話雑談する集会場も現在はなく、今年度もまた苦慮する年になるようです。1日も早く集会場を何とかするのが、最大の目標であります。

【役員構成】

○会長1名 ○副会長3名（1名ずつ《交通防犯部・厚生部担当》《総務担当》《育成部・女性部担当》）
 ○厚生部長・副部長 各1名 ○交通防犯部長・副部長 各1名 ○育成部長・副部長 各1名
 ○女性部長・副部長 各1名 ○会計2名 ○書記2名 ○監査2名 ○区長・副区長 各3名
 ○班長17名 ○顧問1名

活動事業名 **①日帰り温泉と食事会 ②江別太公園とくわのみ公園花壇植栽と食事会
 ③夏祭り ④健康と食事の調理実習 ⑤江高連演芸の集いに参加**

◆時期 ①平成22年 5月27日 ②平成22年 5月29日 ③平成22年 8月 7日
 ④平成22年 9月10日 ⑤平成22年10月14日

◆対象者 高齢者・障がい者 16～25名

◆総事業費 105,000円 【内訳】社協助成金 75,000円（15,000円×5事業）
 バス助成金 30,000円

◆目的

○地域交流・健康増進

◆内容

○温泉、昼食会等を通じての地域交流、世代間のふれあい ○健康のための調理実習

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **萌えぎ野夏祭り ー萌えぎ野自治会・萌えぎ野西自治会ー**

◆時期 平成23年8月6日

◆対象者 地域全世帯対象（高齢者・大人・小人） 610名

◆担当 総務部

◆総事業費 840,078円【内訳】萌えぎ野自治会 381,722円
 萌えぎ野西自治会 458,356円

◆目的

地域交流と親和協力し、住民福祉の向上発展を目的とする。

◆内容

- 吹奏楽演奏（江陽中学校吹奏楽部）
- バンド演奏（高校生中心の新グループ）
- 太鼓演奏（小中学生）
- 子供盆踊り
- 古いも若きもお楽しみ盆踊り
- カラオケ大会第一部（小・中・高、若者皆さん、高齢者）

7. ゲーム大会 (早飲み競争 幼児、小・中・高、大人)
8. カラオケ大会第二部 (大人・高齢者)
9. 花火大会
10. 模擬店4店舗出店

◆成果

2年前までは「盆踊りの太鼓がうるさい」「自家用車の違法駐車がある」と苦情が意外と多く聞かれましたが、有料で地域住民以外の警備員をお願いし、会場の廻り周囲を見回り強化し、交通防犯に努めた結果、近年では周囲住民からの理解を得られるようになった事。

◆課題

- 地域住民が今まで以上に楽しめる企画を検討すること。
- 行事に必要な備品器具の自前がない事で経費が多くかかる事。
- 役員行事の手伝いの人選が厳しい (手伝いの人がない事)

活動事業名 **敬老会「慰安食事会」**

- ◆時期 平成23年9月16日
- ◆対象者 高齢者 70名
- ◆総事業費 67,000円 【内訳】自治会 67,000円

◆目的

- 高齢者同士の交流が少ないので、交流促進のため
- 災害事故発生の場合、情報収集の手助けになるよう
- 地域住民との交流

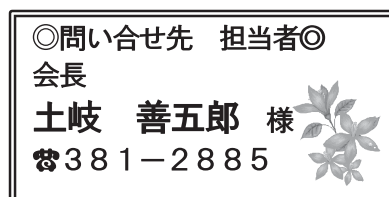
◆内容

「食事会」「カラオケ会」「演芸会」欠席者には記念品を配布

◆課題

70名の高齢者が在住していますが、例年同じ人しか出席していない。まるで、一部の高齢者仲間のための敬老会となっている。一部の高齢者仲間以外の高齢者も参加できるよう、対策が急務である。

また、年々高齢者が増加しているため、自治会負担が増加の一方である。対策を考える時期にきている。



自治会の紹介

四季の道と元町4丁目、2番通りと3番通りに囲まれた住宅団地で、平成16年6月に自治会が発足した。ほたる公園や街路樹、隣接する四季の道の景観が美しい住宅地である。

自治会員総出による、春と秋の一斉清掃、子どもたちの多い自治会ならではの「夏の焼肉パーティー」、「子ども花火大会」や「クリスマスパーティー」なども定着してきた。

高齢者の割合は低いが、熟年同士の交流・コミュニティを図るため、年に数回「愛のふれあい交流事業」等を兼ねて《地域交流の集い活動》を実施している。

活動事業名 アカシアクラブ観桜会

- ◆時期 平成21年5月9日
- ◆対象者 高齢者 11名
- ◆担当 副会長
- ◆総事業費 21,248円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 748円
参加者 5,500円

◆目的

- 介護予防のため
- 高齢者の輪を広げる
- 桜の花を見ながらお弁当を楽しむ
- 春にふさわしい「四季の歌」を皆で歌う

◆内容

平成21年5月9日(土)11:00~13:00「観桜会」を実施した。参加者は男性6名、女性5名の11名。はじめに、江別第一地域包括支援センターの業務内容や、介護予防について担当保健師から話を聞いた。昼は、近くの食堂から「手作り弁当」を取り寄せ、歓談しながらいただいた。会で歌集を用意して配布した。今回は「さくら」「春がきた」「青い山脈」など懐かしい歌数曲を、大きな声を出して歌った。

観桜会は和やかな雰囲気の中、楽しく終了した。

◆成果

- 参加者の普段の生活や、人柄がわかった。
- このような交流の場を、皆が求めていることがわかった。

◆課題

- お世話をする人が限られてきており、買い物など準備に負担がかかっている。
- アカシアクラブ会員家族の協力も必要である。

活動事業名 アカシアクラブ観楓会

- ◆時期 平成21年11月7日
- ◆対象者 高齢者 12名
- ◆担当 副会長
- ◆総事業費 21,174円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 174円
参加者 6,000円

◆目的

- 介護予防のため
- 高齢者の輪を広げる
- 紅葉を見ながらお弁当を楽しむ
- 健康づくりの話を聞いてから軽い体操をする

◆内容

平成21年11月7日(土) 11:00~13:00「観楓会」を実施した。参加者は男性7名、女性5名の12名。はじめに、江別第一地域包括支援センター職員から、介護予防や健康づくりの話を聞いた。その後、軽いストレッチ体操と、体力テストを行った。昼は、近くのコンビニエンスストアから「おにぎり弁当」を取り寄せ、歓談しながらいただいた。観楓会は和やかな雰囲気の中で楽しく終了した。

◆成果

- 新しく参加した人もいた。
- このような交流の場を、皆が求めていることがわかった。

◆課題

- お世話をする人が限られてきており、買い物など準備に負担がかかっている。
- 開催日は土曜日等が望ましいと思っているが、アカシアクラブ会員家族の協力が必要である。

活動事業名	アカシアクラブ新年お楽しみ会		
◆時期	平成22年1月16日		
◆対象者	高齢者	13名	
◆担当	副会長		
◆総事業費	28,831円	【内訳】社協助成金	15,000円
		参加者	6,500円
		自治会	7,331円

◆目的

- 昔懐かしいお正月ゲーム(カルタ・トランプ・花札)を楽しむ
- 高齢者の輪を広げる
- 雪景色を見ながら「おせち弁当」を楽しむ
- 宝引(ほっぴき)をして楽しむ

◆内容

江盛かるたクラブ(北海道下の句かるた江別支部)から3名の指導者を招き、北海道下の句かるたの由来を学ぶとともに、参加者が2組に分かれて競技を行った。初めはなかなか、感が取り戻せなかったが、後半は熱戦を繰り広げた。かるたクラブ指導員のお一人が、得意のトランプ手品を披露して下さり、大変楽しいひと時を過ごさせてもらった。ほっぴきの景品をそれぞれお土産にして帰った。

◆成果

- 自治会ニュースや案内チラシの配布で、いつもより参加者は多かった。
- このような交流の場を、皆が求めていることがわかった。

◆課題

- お世話をする人が限られてきており、買い物など準備に負担がかかっている。
- 体が不自由な方もいるので、クラブ会員家族の協力も必要である。

知りたい！！

- ・歌唱指導、伴奏(ギター、アコーディオン)などのボランティア活動をされている方を教えて下さい。
- ・近くの景勝地温泉で、送迎バスサービスを教えてください(参加者10名程度、昼食出来るところ)。
- また、車椅子利用者も同乗出来る送迎バスサービスをしているところを教えてください(片道1時間程度)。

自治会の紹介

元江別本町自治会は、旧元江別自治会から分割設立後、約6年を経過。

367世帯の会員で運営。地区を4区制に分け、役員11名・4区長・21班体制で活動している。

3番通り側は、古くから居住している高齢者が多く、4番通り側は、若い人の世帯が多いという地区構成になっている。自治会としては「向こう3軒両隣」の助け合い精神を基に、地域コミュニティ・福祉コミュニティの充実と発展に努めている。

活動事業名 **研修旅行**

◆時期 平成23年8月23日

◆対象者 高齢者会員・一般会員 65名

◆担当 福祉部・女性部

◆総事業費 276,914円 【内訳】 社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 101,914円 参加者 130,000円

◆目的

◎地域の高齢者、自治会会員、役員との繋がり強化を図る。

◎地域の中での、人との繋がり希薄の解消を図る。

◆内容

高齢により体力が低下した方の参加を増し、健康な人に介助をお願いし、外出の機会を多く持ってもらおう。

高齢者や会員の方々が互いに名前、顔を知り、日頃より声かけ等で健康確認等をして、安心して住める地域づくり。

◆成果

自治会の会員による研修旅行のため、体力のない人、障がいのある人に合わせた、行動時間の確保や介助が出来た。

◆課題

男性の参加者が少ないため、声かけをしながら、他の交流事業にも参加して頂き、PRに努めていきたい。

活動事業名 **愛ふれ茶話会**

◆時期 平成23年9月6日

◆対象者 高齢者 19名

◆担当 福祉部

◆総事業費 19,250円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 4,250円

◆目的

◎高齢者の孤立を防ぐ。

◎参加者の傾聴を図る。

◆内容

昼食、飲み物、菓子、果物類、雑誌、ゲーム玩具等を用意し、後は参加者が自由に好きなように過ごしてもらい、福祉部役員は参加者の皆さんの傾聴に努めた。

◆成果

実施により、本人や知人の健康状態等の情報が集まった。

◆課題

傾聴の雰囲気場の確保。

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉部長

大橋 義雄 様

☎383-0159



研修旅行の案内

(男性・女性合同) 元江別本町自治会
女性部・福祉部

暑さ厳しい折、会員の皆様いかがおすごでしょうか。
海や山が恋しくなる季節、北国の短い夏を海岸線をながめながら積丹半島に行きます。

食事、見学、お買物と会員の皆さんと楽しく交流しながらすごしたいと思います。

皆さんお誘いの上、ぜひご参加ください。

平成23年8月23日 火曜日 (日帰り)
集合時間 午前7時45分 (時間厳守)
集合場所 元江別本町33-1 (空地)
参加費用 2,000円
申込締切 8月 10日

行程 (雨天決行)

元江別本町7:45 集合→8:00出発→(江別西IC-金山PA-小樽IC)
【昼食は11:15~】
積丹島武蔵海岸(昼食・見学)→神威岬(見学)→まりん館(見学)
11:00着-12:15発 12:30着-13:00発 14:00着-15:00発
余市道の駅(各自自由)→(小樽IC-江別西IC)→元江別本町33-1
【林崎商店・ニッカウイスキー・本庄記念館など】
16:00着-17:00発 18:30着

参加申込欄 (区 班)

氏名	電話	氏名	電話

※各班長さんは集計次第、申込書と参加費を区長さんへお届け下さい。
※各区長さんは集計次第、女性部大島までお願いします。

平成23年8月18日

元江別本町自治会・福祉部より「愛ふれ交流会」

茶話会のご案内

散歩やお買物の途中などに気軽に参加していただき
楽しいひと時を過ごしていただく憩いの場です。

オセロ、トランプ、花札、将棋などお遊び道具や、
軽食や飲みものも用意しておりますので、ご都合の
良い時間にぜひご参加下さい。

日時 9月 6日(火) 11:00~13:30まで

場所 セイコーマートながかみ店裏 公文塾(くもん)内
5丁目・4番通り角



写真は
22年9月実施の茶話会



元江別本町自治会 愛ふれ茶話会



自治会の紹介

牧場町は、比較的高齢化率が高い地域です。町内には、自然環境豊かな矢澤さんの庭園があり、季節の変わりを感じさせる貴重な樹林に囲まれて、「金三堂」という施設があります。

少子高齢化の進展著しい中、牧場町自治会発足当時からこの建物をお借りして、「サロン“まきば”」を開催し、一人暮らしの方や、高齢者の方などと、ふれあい交流を実施してきました。

特徴としては、毎回皆さんの好意により、多くの食材をいただき、ボランティアの皆さんによる手作りの料理をいただきながらの楽しいおしゃべりと、脳トレ健康体操など、毎回テーマをもって開催してきたこと。そして、何よりもボランティアの皆さんによるご支援が大きな原動力となっており、自治会としても女性部・青少年育成部などとも一体となって行動することによって、夏冬の2回、子供からお年寄りまでの「3世代ふれあい交流」など、活動範囲をひろげる事が出来ました。

東日本大震災を契機に、災害時のみならず、日頃から地域での支え合いはますます必要であります。

私ども自治会では、こういった集い・語らいを通して絆を再生し、これからも地域の支え合い、助け合いの輪がひろがっていけば大変うれしい事だと思っています。

災害時の要援護者支援制度にも取り組んでいます。安心して年をとっていただく事が出来る地域社会をめざして、少しでもお手伝いが出来れば、との思いから、今後も自治会活動を続けていきたいと思っています。

活動事業名 **サロン “まきば”**

◆時期	5月～10月	月一度開店	
◆対象者	愛ふれ対象者・高齢者・ボランティア・役員	31名	
◆担当	福祉部		
◆総事業費	22,225円	【内訳】社協助成金 15,000円 参加料 4,200円	自治会 3,025円

◆目的

- 愛ふれ対象者の外出を促す。
- 愛ふれ対象者の方もボランティアとして活動の喜びを味わってもらおう。
- 自分で作って皆で話しながら“食”と“おしゃべり”を楽しんでもらおう。
- ご近所との絆が深くなるよう、誘いあって参加してもらおう。
- 知人を地域に増やしてもらおう。
- 自治会のサポーターになってもらおう。
- 毎回テーマをもって行ない、役立つ知識、知恵を得ていただく。

◆内容

- 体に大切な食の種類と、一日の必要量を、簡単目安ゲームを通して知ってもらいました。
- 簡単ストレッチ体操を行なっています。
- ホットプレートを囲んで「焼きそば」「お好み焼き」等、作って食べられるメニューも加えます。
- 季節を感じて味わえる品も提供する「かぼちゃ料理」「果物料理」。
- バイキング形式で提供。選んで食べられる楽しみと感じられる工夫
- 作り方を話題に出せる1品も加える「オードブル・手作り変わりサラダ」
- コーヒーはドリップし、喫茶の雰囲気と会場のセットにも工夫する。

活動事業名 サロン “まきば” 災害の助け合い

- ◆時期 平成22年10月9日
- ◆対象者 支援者（災害時）・要援助者（災害時）・高齢者・ボランティア・一般・自治会役員 56名
- ◆担当 福祉部・育成部・女性部・自治会役員
- ◆総事業費 26,733円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 11,733円

◆目的

- 災害時の助け合いに自治会が取り組むに当たり体制づくりの一回目事業。
- 支援者、要援助者、役員の顔合わせ。
- 災害時を想定した質問、疑問等の話し合い。
- 地域力、地域の絆の強化

- 避難所の場所の確認、手段の確認、炊き出しの体験

◆内容

- 和やかな交流を念頭に会の進行に努めました（じゃんけんゲーム・ジャンボさつまいも重量当て）
- 秋の味覚としての料理（鮭汁・カボチャバージョンサラダ）の提供
- 体の喜ぶ料理（あつあつ玉子焼き、野菜の胡麻和え、果物）の提供
- 食べ易さを考慮（2色おにぎり、漬物一本漬け、菓子）の提供
- 気分を落ち着かせるもの（コーヒー、お茶）の提供

料理はオール手作り、バイキング形式で食していただきました。ボランティアの方々の仲間に、独居の女性と一緒に入れる工夫を致しました。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 三世代交流 ちびっこから大人まで “まきばふれあい広場”

- ◆時期 夏期・冬期の年2回
- ◆対象者 ちびっこ・小学生・親子・高齢者・役員 66名
- ◆担当 福祉部・育成部・女性部・自治会役員
- ◆総事業費 30,922円 【内訳】 自治会 10,700円 参加者 20,222円

◆目的

- 愛ふれ対象者の引きこもり防止の一手段として、子供、親子等交流を広げる。
- ご近所の方々と一緒に出席していただき、会話を深めていただく。
- 自治会に関心を持って貰い、協力者として積極的に行事に参加する意識を高めてもらう。
- ボランティアとして、より多く参加していただき、社会に貢献する喜びを味わってもらう。

◆内容

- 自宅（1人暮らし、小家族の方）では調理しにくい料理（豚汁・フルーツポンチ・クレープ・たこ焼き）を提供
- 全て手作りで調理し話題性の富む料理（煮玉子、まぜまぜごはん）を提供
- 遊びを味わえるじゃんけんゲーム、座って玉入れ等危険性のない行動の伴う遊びを心掛ける。
- 参加者が受け身で終えることのないよう、手伝っていただきました。
- 役員が極力点在し、声掛けに努めました。

全事業共通として**◆成果**

これまでは、環境整備を中心とするハード面での活動が多かったようですが、牧場町自治会発足と同時に「愛のふれあい事業」などによる隣近所との連携や、地域での支え合いを重視したソフト面での活動により、いろいろな自治会活

動に参加して下さる方が多くなりました。

特に、一人暮らしの方や高齢者の方々が出席して下さるようになった事は、一歩前進だと思っています。そして、出席者同士お互いに顔なじみになれたこと、また、役員なども親しくなって、いろいろな相談事も話す事ができ、さらには自治会の活動内容を知ってもらうことにより、安心感をもっていただけるようになってきたと思っています。

◆課題

これらの活動は、自治会役員のみならず、ボランティアの皆さんのご支援が必要不可欠であります。これからますます高齢化が進む中で、ボランティア要員を今後どう確保していくかが大きな課題です。

「自治会だより」にも掲載しておりますが、今後はサポーター制度を充実し、より支援体制を強化していく必要があると思っています。しかし、この問題は自治会だけの問題ではなく、国・市・社協等、社会全体で考えていく必要があると思っています。

牧場町自治会 サロン“まきば”の様子



牧場町自治会 自治会だより

牧場町自治会だより '11, 9月号

**おかげさまで
「愛のふれあい事業」5周年を迎えました**

この事業は、65才以上の一人暮らしの方や、障害をお持ちの方、高齢者の方々に対し、身近な地域住民による「助け合い」と「ふれあい交流」活動の一環として、実施しているものです。夏祭の期間、毎月一回先等さんの庭園内にある会三堂をお借りし、サロン「まきば」として、ふれあい活動を実施しています。

**安え合う地域社会づくり
サポーター制度の必要性について語る**

さる7月16日、今年度三回目の「愛のふれあい事業」が「健康と体操」をテーマに開催されました。これまで、この事業の中心的役割を果たしてきた民生委員で福祉部副部長の山田匡子さん(写真)は、これからの高齢化社会にむかって、隣近所での助け合いや、地域での支え合いはますます必要となる。そのためサポーター制度を確立し、支える側の体制を強化して、こういった事業を推進していく必要があると主張しました。

ここまで続けてこられたのは、ボランティアの皆さんのおかげですと話す山田さん

サポーターを募集しています。ご協力をいただける方は、お電話をお願いします。連絡先 山田 匡子 384-0013

健康体操で身体をほぐす参加者の皆さん

牧場町自治会 交流会お知らせ

平成23年度第1回

牧場町自治会「愛のふれあい事業地域交流会」のお知らせ

牧場町自治会福祉部

愛のふれあい交流事業は、江別市社会福祉協議会が高齢者世帯に対し、身近な地域住民による助け合いの心を基調として活動に対して支援を受けて行う事業です。
皆様いかがお過ごしでしょうか？ 暖かい春の日射の下さやかな昼食とお茶を楽しみましょう！！今年度最初の行事です。
皆様の参加、お待ちしております。

ふれあい喫茶「まきば」オープンしませう

行事名
お花・お遊びそして昼食会のおさそいでーす
(お楽しみハイキング)

1. 日時 5月 14日(第2土曜日)午前11時から午後1時
2. 場所 会三堂(牧場町38番地 矢沢さんの庭園内です)
3. こびりこ(小昼食) 手作りハイキングでーす!
4. お代 200円

お断り！ 当日お手伝い下さる方を募集しております。ようしくお申し込みます。

連絡先 山田 (384-0013) 小田(383-6112)

行事の第1回開催状況でーす

◎問い合わせ先 担当者◎
福祉部副部長
山田 匡子 様
☎384-0013

自治会の紹介

当会は、平成23年度、3月に萌えぎ野自治会より西の地域が分離分割して、4月1日に萌えぎ野西自治会として成立、発足する。世帯数371。自治会役員、会長1名、副会長3名、総務1名、会計2名、監査2名、書記3名、区長6名、班長22名。

会の目的「健全な組織・運営のため、関連機関及び団体と密接な連携を図る」

- ・厚生部【住民福祉の向上、各種福祉事業・協力、高齢者の会協力、民生委員との協力活動】
- ・交通防犯部【交通安全の協力を図る、防犯灯の維持・管理、防犯パトロールの推進】
- ・育成部【家庭と地域の連携で青少年の健全育成、夏休みのラジオ体操の実施】
- ・女性部【活発な女性活動を推進し、明るい地域づくり、講習会、サークル活動】

活動事業名 **地域交流の集い（5事業）**

- ◆時期 4月～3月
- ◆対象者 高齢者 30名
- ◆担当 厚生部
- ◆総事業費 105,000円 【内訳】 社協助成金 75,000円（15,000×5事業）
バス助成金 30,000円

◆内容

- 公園の花壇植栽と昼食会・・・楽しみながら花壇作りと茶話会
- 夏祭り・・・地域交流と世代間のふれあい
- 健康と食事の調理実習・・・健康のための調理実習と昼食を取りながらの交流会
- 日帰り温泉と食事会・・・地域交流と健康増進
- 江高連演芸の集いに参加・・・地域交流

◎問い合わせ先 担当者◎

総務部長
丸山 栄志 様
☎383-8902



※担当者としては、
総務 丸山 栄志様になっていますが、
勤めの関係上不在が多い為、
会長 石井 徹 様が代行いたします。

何かありましたら、☎381-0880にご連絡下さい。

自治会の紹介

私たちの幸町自治会は、昭和38年に元野幌の一部が幸町という町名になり、その後、昭和40年に自治会が組織形成されて、今年で46年目を迎えた歴史のある自治会でありまして、また、国道12号線を中心として、市道6丁目と7丁目間にあり、江別市の中央に位置しております。

結成当時は、一般の住宅地として形成されておりましたが、昭和61年のJR高砂駅の開業に伴い、現在は、地域の世帯数は650世帯ですが、アパートが多くなり、自治会加入世帯は370世帯であり、自治会未加入の世帯が多くなり、一方、自治会加入世帯は、世代交代がないことから高齢化が進んでおります。

また、現代の世相を反映し、若い世代が転入しても自治会未加入世帯が多くなり、市内の他自治会と同様に自治会加入率も横ばい、減少の傾向にあり、高齢者・独居老人が多くなっています。

活動事業名 **愛のふれあい交流事業**

◆時期 年間3回実施

◆対象者 1人暮らし・高齢者 20名中7名

◆担当 総務部

◆総事業費 90,000円 【内訳】社協助成金 45,000円 (15,000×3事業)
自治会 45,000円

◆目的

地域に独居老人、高齢者のみの世帯が多くなり、社会福祉協議会から補助制度もあることから、実施する事になった。

◆内容

ゲーム、健康講話、昼食を中心に実施しているが、実施する事業内容がマンネリ化してきている。

◆成果

参加者が年々減少する中で、対象者が同じ状況にある人たちを誘いあって参加するなど、参加者からは大変喜ばれております。

◆課題

大変喜ばれる事業であるが、このごろは、そのようなお年寄りが認知症や病院・介護施設への通院、足腰が弱り参加出来ない状況等にある。

このことから、実施する内容の充実にも努めるとともに、今年から営業車を使用して参加者の足の確保に努めているが、年々、協力してくれるボランティアが限られており、これからの継続について、参加者、及び協力ボランティアの確保について検討する時期に来ている。



幸町自治会 愛のふれあい交流事業

◎問い合わせ先 担当者◎

総務部長

堀 久雄 様

☎384-2833



自治会の紹介

江別市の中央に位置し、個人住宅及びアパートが混在する住宅地域です。

三方が緑地公園（錦町公園）に面し、また、市総合社会福祉センター、夜間急病センターがあり、住環境として大変恵まれた地域です。

当自治会も、他の地域と同様に高齢化が進む中で、安心・安全で住んで良かったと言える地域づくりのために、会員相互の親睦交流に加え、高齢者・独り暮らし・災害時対応などに意を用いた、さまざまな自治会活動を推進していくことを目標に掲げ、特に高齢者・独り暮らしの方々の交流の輪を広げ、独りにさせない、健康状態や安否の確認など、役員ともども自治会全体で取り組むよう努力しております。

活動事業名 **ふれあい昼食交流会**

- ◆時期 平成23年8月31日
- ◆対象者 65歳以上の独り暮らし世帯・高齢者のみで構成されている世帯 28名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 15,733円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 733円
- ◆目的

友人のアドバイスがきっかけです。当自治会では、愛のふれあい活動は既設に取り組んでいたが、地域交流の集いの取り組みにあたって愛のふれあい活動の対象者を再調査するため、プライバシー等に配慮し、民生委員の協力を得て概ね把握する。準備期間1年余り係る。

実施に当たっては地域交流の集い実行委員会結成（平成20年5月24日）。実施のための研修・指導を受ける（錦町新生自治会・小林正枝様）。第一回は平成20年7月3日に実施する。

◆内容

1. 事前打ち合わせ（当日の内容・食事・ゲーム・愛唱歌・音楽に合わせた軽体操の決定）
2. 出席率アップのため、全対象者の家を訪問し案内状と集合写真を手渡し確認します。
更に開催日前日には電話で最終確認をします。
3. 席順を決める。毎回くじを引く。席はできるだけ死角の出来ない星型配置にする。
4. 全員ネームを付ける（グループを作らせない・孤立する人を出さない）。
5. 記録を残す。集合写真・ゲーム・愛唱歌・音楽にあわせた軽体操をDVDで保存。
6. 食事はボランティアの手作りを基本とする。食事の内容は担当者が説明する。
7. ゲームは4グループに分けて全員が参加する（ボーリング・フリスビー・その他）。
8. ギター伴奏による愛唱歌合唱。当日2曲（各自に歌詞カード20曲）。
9. 年一回は保健師による健康相談をする。
10. 音楽に合わせた軽体操（指導は対象者）。
11. 年1回はDVDの観賞（交流会が終わったら必ず反省会をする、次回に役立てる）。

◆成果

初めの年は全員が固く、ぎくしゃくしていたが、1年が過ぎ2年が過ぎる頃から対象者とボランティア・実行委員との間でコミュニケーションが徐々に取れるようになり、最近では孤立する人がいなくなり、雰囲気明るくなりました。

◆課題

- 1 . 実行体制の維持（自治会役員と実行委員の改革・後継者の育成）
- 2 . 食事のメニュー（美味しく・安く・簡単・短時間で出来るレシピを増やしたい）
- 3 . 現在は年5回開催ですが、最低でも2カ月に1回は開催したい。
- 4 . ゲームの種類を増やしたい（あまり経費を掛けないで）
- 5 . 炊飯器をもう1台増やしたい。

◎問い合わせ先 担当者◎
社会福祉部
深川 一舟 様
☎384-4815



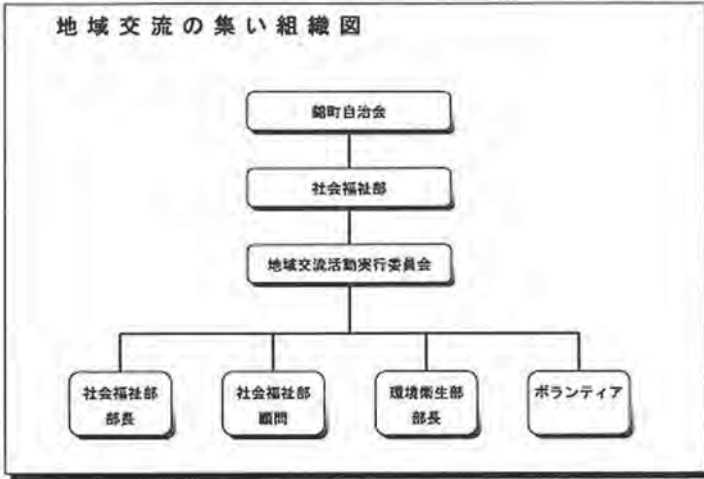
錦町自治会 ふれあい昼食会（ボーリング）

錦町自治会 ふれあい昼食会（軽体操）

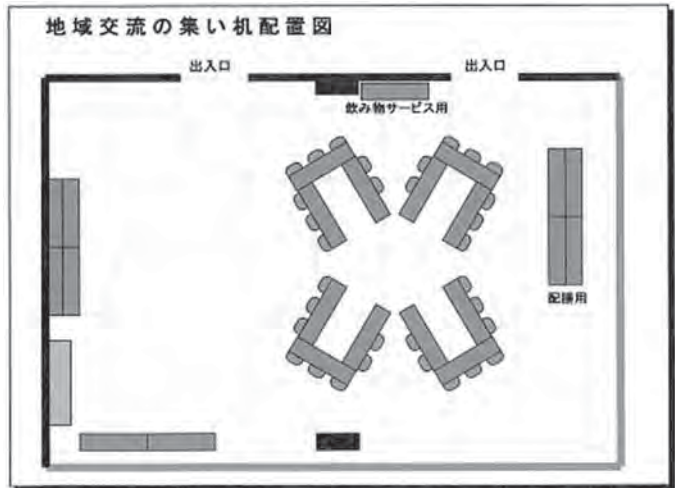


錦町自治会 ふれあい昼食会 集合写真

第16回地域交流の集い 2011.8.31



錦町自治会 地域交流の集い 組織図



錦町自治会 地域交流の集い 机配置図

錦町自治会 ふれあい昼食会 案内文

錦町自治会 ふれあい昼食会 材料調達実績

平成 23 年 8 月 5 日

愛のふれあい関係者各位

錦町自治会
社会福祉部

第 16 回《地域交流の集い》のお誘い

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、《地域交流の集い》第 16 回（23 年度 3 回目）が下記の日程で行う事になりました。

（食事をしながら一日楽しく親睦をはかろう）と企画をしました。何かとお忙しい時期と存じますが、多数の方がご出席くださるようご案内申し上げます。

記

日時 8 月 31 日（水）10：00～13：00
 場所 福祉センター（2 階・研修室）
 内容 (1) レクリエーション・ポーリング・フリスビー・その他
 (2) 調理実習・冷やしめん（昼食）
 (3) 愛唱歌合唱
 (4) その他

※ 歌詞カードをお忘れないようにお願いいたします。
 ※ 昼食の準備が有りますので、出欠の有無を 8 月 24 日まで下記へお知らせ下さい。

◎ 連絡先 深川 一 舟（☎ 384-4815）
 阿部 紀元二（☎ 383-3272）
 石本 雅夫（☎ 383-1330）

以上

H23年8月31日

冷やしめん材料調達実績

実施日・時 8月31日（水）10:00～
 会場 福祉センター
 参加予定人数 28名

材料名	内容	H22年度実績		H23年度実績		調理方法	1皿分		30人分		単価	価格	購入先
		1人前分 必要量	30人分 必要量	1皿分 必要量	30人分 必要量		1皿分 必要量	30人分 必要量					
そば(乾燥)	信州そば 400g (100g) (50皿分)	40g	3	—	—	ゆでる	5～6皿 (100g)	3袋	178	534	—	—	ヤマキ
うどん(乾燥)	讃岐うどん 500g (100g×5袋)	40g	4	792	—	ゆでる	40g (100g)	4袋	198	792	—	—	ヤマキ
きゅうり	7本入り	3/1本	15本	490	—	せん切り 【斜めカット】	3/1本 5本×2	10本	198	200	—	—	—
餅	1個	1個	60	465	—	スクランブル ニップ	1個	30	145	435	—	—	—
カットわかめ	100g	6.7g	1袋	100	—	水もどし	1袋	19	—	—	—	—	—
ロールハム	1個 計155g	小2枚 小3本入り	—	926	—	せん切り	小2枚 15g	280×2 160×1	—	1,030	—	—	ロッソ
長ネギ	小3本入り	10/1本	6本	170	—	せん切り	10/1本	6本	70	156	—	—	—
天かす	徳用揚げ玉 120g 【中身は天かす】	10g	14袋	1,372	—	—	15g	7袋	108	756	—	—	ヤマキ
種つゆ 【濃いがつゆ】	1.8ℓ ミツカン	—	1本	478	—	煮込1.8ℓ	—	1本	309	509	—	—	イサヤ
きざみのり	12g	2g	4袋	392	—	—	32g	2袋	95	380	—	—	—
水 2ℓ	—	—	3本	255	—	煮炊用	—	4本	89	276	—	—	—
わさび(練り)	—	—	1	135	—	—	—	1	—	0	—	—	—
生姜(キザみ乾燥)	—	—	1	196	—	—	—	2袋	35	190	—	—	—
一味唐辛子	—	—	1	—	—	—	—	1	—	0	—	—	—
しそ	—	—	30葉	99	—	—	—	60葉	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	5,771	—	—	—	—	—	5,544	—	—	—

※ 生食材使用のため調理される方はゴム手（ビニール製）の使用をお願いいたします。

※ 当日用意するもの

① 唐辛子（練り） ② スプーン（天かすく用） ③ お玉（小） ④ ゴム手 持ち帰り容器 レジ袋
 ⑤ 巾着（大） ⑥ 水切りざる（大） ⑦ めん盛り器 ⑧ 食料各種盛り皿 ⑨ めんつゆ容器 ⑩ かす受ボウル ⑪
 計量はかり ⑫ 計量カップ タイマー ⑬ ペットボトル（種つゆ保管用 4ℓ×2本） ⑭ じょうご アルミホイル
 【種つゆ煮炊】 原液 1 : 水 6
 【種つゆ】 原液 600cc プラス 水3000cc 計 3600cc【3.6ℓ】 × 2本
 ※ 評価 大変好評であった。麺の配分も良軒
 ※ 反省点 しそ 60枚は不足 → 100枚 ・天かす7袋は多い → 5袋

自治会の紹介

- 野幌町自治会は、結成以来活動の歴史が長く、商店街、高層マンション（3棟）一般住宅、病院等が混在する街の中心的地域です。
- 268世帯9区14班で、会長、副会長2名、総務、会計、監事の他、各区長がそれぞれ青少年育成・街頭防犯・生活環境・交通安全部長を兼務し、婦人部長等、計22名の役員がいます。
- 会長を中心に、明るく楽しく住みよい地域づくり、いつでも何でも話し合える、元気な自治会を目指して活動をしています。

活動事業名 **第1回愛のふれあい交流のつどい**

- ◆時期 平成23年5月30日
- ◆対象者 高齢者・ボランティア・役員 21名
- ◆担当 婦人部
- ◆総事業費 23,640円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 8,640円
- ◆目的
 - 近年、地球温暖化の影響と思われる自然災害が増えたこと。
 - 高齢となっても、まず、自分の命は自分で守る基本を持つこと。
 - 地域の避難場所を覚えておく（自分はどこに逃げるのか）。
 - 日頃から、近隣の人と交流をすることで協力しあう。
- ◆内容
 - 過去2～3回、行政から説明と実技の指導を受けて学んできた事を基に、自分達が暮らす地域を確認する事とした。
 - 地域の安全マップ、減災のてびき、市のハザードマップ、他の資料を使い、内容を読み合わせ、地図上で場所にマーカーで印をつけて調べた。地図上での記号等と、避難ルートや避難場所、所要時間等、自分の体力に合わせて体験する事とした。※第2回ふれあいの集い（6/6）で地図をもとに収容避難所等まで歩く事とした。
- ◆成果
 - 自分の避難場所までのルートを、各自確認することが出来た。
 - 実際に体験（歩いてみて）した事で、自分の体力を知る事が出来た（季節や悪天・晴天によって体力の消耗が違った）。
 - 災害が起きた時、自分がどの様に行動するか意識を持った。
 - 日頃、どこに何を備えたら安心かを考える（日頃の備えが大切と気づく）。
 - 実際に歩いて、足と目で確認出来た事が、気持ちの安定感につながった。
- ◆課題
 - 当自治会では年間5回の愛ふれ交流の集いを実施していますが、年々高齢者が増えて行く中で、多くの人の参加を望んで、少し学びを取り入れ、楽しく交流が出来る企画を考えていきたい。
 - 会場までの往復に安全にケガのない様、ボランティアが手助けをして、なるべく季節感の味わえる外での集いもしていきたい。
 - 参加者が希望する内容を、なるべく受け入れて取り組みたい。

保存版

防災あんしんマップ

地震 風水害 火災

江別市消防本部

緊急時の連絡先		防災情報連絡先	
消防 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432
消防庁 119	江別市消防本部 ☎382-4141	江別市消防本部 ☎382-5432	江別市消防本部 ☎382-5432

のっぽろ住区 わが家の防災メモ

一時避難所	
収容避難所	
家族の集合場所	
家族の連絡先	
氏名	連絡先

みんなで減災

あなたにもできる減災!

「減災」とは、災害による被害をできるだけ小さくするとりくみです
地震、津波、風水害など、自然災害は突然やってきます
あなた自身、ご家族、地域の皆さんで、しっかり備えましょう!

1. 地震への備え 1~5
2. 津波への備え 6
3. 風水害への備え 7~9
4. 火山災害への備え 10
5. 災害への備え 11
6. 自宅での備え 12~14
7. 地域での備え 15~16
8. おさらいグッズ 17~18

目次

内閣府(防災担当)

野幌町自治会 資料【防災あんしんマップ】の内容(一部)

地震対策

わが家の安全対策

近年には、地震の安全地帯はない!、自分でできる地震対策の重要ポイントは、揺れている間に「動かない」「つかをしない」ようにすることです。

阪神・淡路大震災から学ぶべき教訓!

1. 家の中に逃げ場となる安全なスペースを確保しておきましょう。
2. 家具などはしっかりと固定し、転倒や落下を防ぎましょう。
3. 地域の人々と積極的に交流し、地域ぐるみの防災活動を重視しよう。
4. わが家の耐震性を調べ、危険な箇所は修理しておきましょう。
5. いざという時に備えて、家庭や職場にも非常持出品を常備しておきましょう。

地震発生! そのときどうする

家族防災会議を問う

地震発生時のポイント

避難場所の確保

非常持出品

風水害対策

情報収集と避難の心得

台風や大雨などは、その活動時期や規模などを予想することができますので、ふだんから気象情報に注意し、十分な対策を立てておきましょう。

わが家の内外の対策

1. 外出はできるだけひかえる。外出時は早めに帰宅を。
2. 浸水などの恐れがあるところでは、家財道具を高い場所へ移す。
3. 病人や乳幼児、障害者などを安全な場所(部屋)へ。
4. 情報を軽く考えないで、早め、早めの準備と対応を。
5. 近所と協力して雨水の排水をよくしておく。

正しい避難の心算

正しい避難の心算

正しい避難の心算

正しい避難の心算

非常持出品

準備のポイント: 1人に1個の非常持出品を用意する。非常持出品は、何処かか分散して保管する。半年に1回程度、定期的に中身をチェックし、期限切れの物は入れ替える。

家族構成を考えた上、必要な品がそろっているかをチェックしましょう。

1. 非常食や水(1人1日3リットル)は最低3日分が目安。
2. 重さは男性で15kg、女性で10kg程度が限度。
3. 軽量でコンパクトなものを選ぶことが大切。

非常持出品チェックリスト

飲料水	懐中電筒	防災マップ
非常食	貴重品	医薬品
懐中電筒	筆記用具	ビニール袋
携帯電話	現金・印税	非常持出品
予備の電池	ラップ	
ヘルメット	ウェットティッシュ	
防災ずきん	ライター	
軍手	ガスコンロ	
紙幣	ガスボンベ	
食料	ロープ	
貴重品	アルミホイール	

自治会の紹介

事業所会員を含め、総数346戸と大所帯のため、4区に分けて活動を行なっている。
住民の高齢化が進み、役員の人選にも苦勞が多くなってきている。

活動事業名 **愛のふれあい地域交流**

◆時期 平成23年9月11日

◆対象者 高齢者 25名

◆担当 副会長

◆総事業費 35,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 20,000円

◆目的

高齢者及び独居世帯が多くなり、日常的な地域の交流の必要性が増してきている。

◆内容

支援対象世帯及び支援ボランティア、自治会役員、民生委員を含め、地域包括支援センターの協力を求め、健康維持のための学習を行なった。また、レクを通して、人的交流を深めた。

◆成果

参加出来た人達の交流、親しみ等は増してきているが、参加出来ない人、及び関わりのない住民の関心も高めていきたい。

◆課題

地域に会場がなく、会場の確保に苦勞している。又、地域住民全員が理解を深め、協力出来る体制づくりを進めたい。



野幌松並町自治会 愛のふれあい地域交流

◎問い合わせ先 担当者◎

副会長

松浦 武光 様

☎382-8396



自治会の紹介

高齢化が進み、協力体制が十分ではないのが現状です。

今後も、住民同士の更なる交流を図り、この点について解決していくことが、大きな課題と言えます。

活動事業名 **愛のふれあい交流会**

◆時期 平成23年9月8日

◆対象者 独居老人・高齢者

◆担当 福祉部

◆総事業費 52,350円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 37,350円

◆目的

高齢になり、独居であれば尚更、人との交流、外出等、楽しむ機会も少なくなる一方なので、地域の人々との交流も深める機会にもなり、見守の一助にもなると考えて企画をしています。

◆内容

いつも近くの団地会館でお弁当を用意し、ビンゴ等のゲームを行なっておりましたが、今回は予算の事もあり、又、対象者、ボランティア共に高齢化して、遠出は今回が最後と思い、婦人部と合同で温泉に行きました。

お風呂場で転ばぬ様、ボランティアの人達も気配り目配りに努め、道の駅等での買い物やカラオケで3時間余りの時間を楽しんでもらい、成功だったと思います。

◆成果

遠出できなかった対象者には、好評でした。

◆課題

市の予算を増やしてほしい。町内会費も上げられないので…。

◎問い合わせ先 担当者◎

社会福祉部長

土館 嘉志子 様

☎385-1652



社協インフォメーション Vol.8

「地域交流の集い活動」への協力団体の紹介④

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

【交通安全・防犯に関する講話】

最近、交通事故にあう高齢者の方が増えています。

また、「安全に暮らす」ために必要な知識を身につけておくのも大切なことです。

交通安全や犯罪に巻き込まれないためのポイントを学ぶ機会を設けてみてはいかがでしょうか。

◆実施予定日については、事前にご相談下さい。

～お申込み・お問い合わせ先～

江別警察署 江別市弥生町23 ☎382-0110

交通安全に関する講話 … 交通課

防犯に関する講話 … 生活安全課

北のまちから
あつたがハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

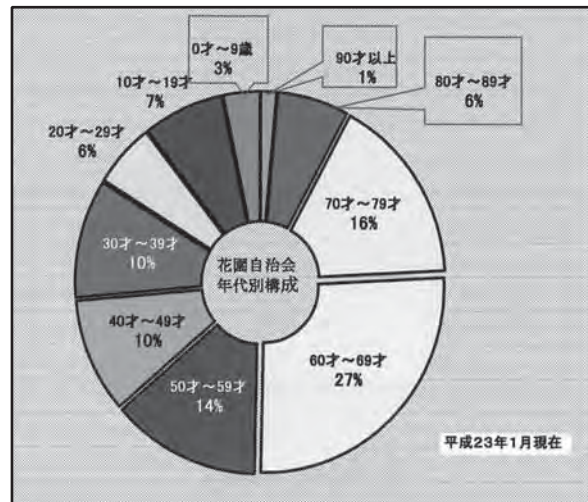
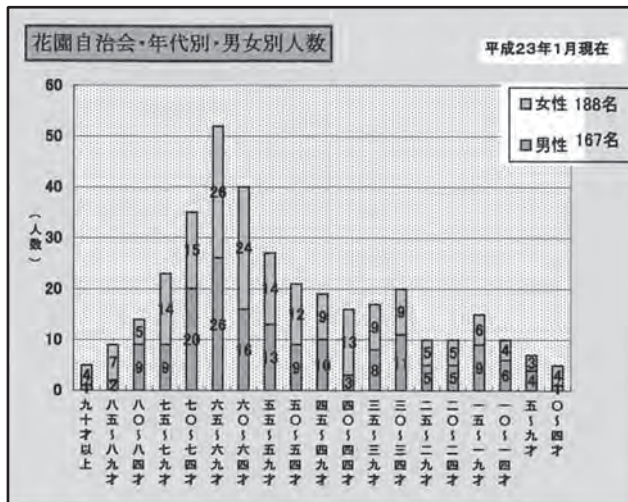
ほっとちゃん



自治会の紹介

特色：130世帯のミニ自治会であり、会員間の交流も活発である。地域内にグループホームがあり、自治会活動にも加わり交流を行なっている。しかし、他と同じように高齢者、1人住まい（15世帯）が多くなっている。自治会役員のなりてが少なく、苦労している。

世代構成・男女比



活動事業名 **愛のふれあい交流**

- ◆時期 平成20年10月
- ◆対象者 1人住まいの方及び婦人部 40名
- ◆担当 自治会及び婦人部
- ◆総事業費 45,000円
- 【内訳】社協助成金 15,000円
自治会 30,000円

◆目的

1人住まいの人対象の「愛のふれあい事業」への積極参加を促す為、婦人部と合同で多人数による交流会とした。

◆内容

江別警察署にお願いして「振り込め詐欺」の話を聞く会とした。

◆成果

参加者から「大変良かった、参考になった。」との回答があった。

◎問い合わせ先 担当者◎

会長
村瀬 脩 様
☎383-1227



愛のふれあい交流の集い

代々木町花園自治会

日時：平成20年10月31日(金) <野幌公会堂>
11時00分～13時30分

1. 講話 11時00分～12時00分
テーマ：【振り込め詐欺に遭わない為に】
講師：江別警察署 生活安全第一係長 加藤 隆志 警部補 殿

2. 昼食会と懇談会 12時00分～13時30分

【出席者】 (敬称略)

愛のふれあい関係		婦人部・自治会	
1	南 千栄子	21	恩田 一延
2	稲船 節子	22	恩田 孝子
3	明法寺 一男	23	大西 則孝
4	河合 正子	24	沢川 邦子
5	篠原 啓善	25	佐藤 千枝子
6	渡辺 貢	26	下村 博子
7	亀田 房子	27	石割 久恵
8	舟木 敏夫	28	柳澤 イツ子
9	淺川 郁子	29	仲谷 イネ子
10	佐々木喜美代	30	千葉 正子
11	新保 輝子	31	長岡 節子
12	工藤 慶作	32	後藤 マサエ
13	穂田 正子	33	山本 シグ子
14	鈴木 孝文	34	佐藤 加代子
自治会関係		35	瀧澤 弘子
15	吉井 勝昭 (福祉厚生部長)	36	遠藤 アヤ子
16	石塚 とも子 (婦人部長)	37	佐藤 幸江
17	遠藤 義恵 (民生委員)	38	大石 フクエ
18	村瀬 脩 (会長)	39	小野寺 恒子
19	柳澤 憲司 (副会長・総括)	40	加藤 玲子
20	佐々木 務 (副会長・総務)		

自治会の紹介

当自治会は、281世帯、818名が居住。高齢化率30パーセントと高齢者地域で、役員の担い手になる若者が少なく、班長の人に引き受けて頂く事も、時にはある。しかし、近所の協力性は、他の地域には負けないと自負している。声かけはもちろん、足腰など体の不自由な方の手伝い（ゴミ出し等）、そして、何かがあると近所の人々が駆けつけてくれる。これらは、自分たちも何か困った事が起きた時には、近所の世話になるからという思いからなのだと考えられる。

また、新年会・春の親睦会には90人～100人の参加があり、会場は笑い声でいっぱいになる。この様に大きな行事から小さな行事まで、参加できる人は惜しまないで出席してくれる。これには、役員一同が団結をし、「一人でも多くの会員が顔見知りになり、お互いに助け合える自治会にしたい」と願っての事。この先も、協力し助け合いが続いていける自治会を役員、会員が目指している。

活動事業名 **地域交流の集い**

◆時期	平成14年5月20日
◆対象者	高齢者・ボランティア・役員・道保健師・保健センター保健師 28名
◆担当	福祉部
◆総事業費	16,720円 【内訳】社協助成金 16,080円（ステップアップ事業） 自治会 640円

◆目的

当自治会の福祉部が、平成12年4月「福祉がより充実したものへ」と言う事で発足、「愛のふれあい事業」を担当する事になる。平成13年度に、「愛のふれあいステップアップ事業」に取り組む。これは、閉じこもりを無くし、健康で長生きをスローガンに高齢者支援活動。これが「地域交流の集い」の基礎となっている。発足時は色々な問題もあったが、役員会で相談をしながら少しずつ前が見えてくる。発足から2年たった平成14年からはじめ、今日に（平成23年）至る。

◆内容

高齢者の人に喜ばれ、定着した支援が長続きすること。これには、高齢者だけではなくボランティア・役員も一緒に楽しめる、そして錦町新生の特徴である事。たとえば、「人間誰でも食べる事が一番楽しみ、それもお客さんとしての参加ではなく、出席者全員で調理をして、食べながら親睦を図るという事」をメインにする。

また、事業内容は、保健師による血圧測定・ゲーム・レクリエーション・調理・食事・軽い体操・健康相談・本日の反省他。

◆成果

始まる前は、「どんな事をするのか」対象者の人たちには緊張が感じられた。始まると、参加者の楽しい笑い声が聞こえ、終わった時「次は何時なのか」と聞かれ、この事業が成功に終わった事を実感した。次への励みにもなった。

◆課題

対象者・役員・ボランティアの区別をしないで、参加者全員が同じ目線で上下関係を作らない。また、小さなグループを作らないように全員で楽しむ事。一回終わる度、その日その場所で参加者から意見を聞くようにする。また、今後対象者の年齢に合わせた講演会、ゲーム、レクリエーションを考える。

このような事に気をつけ、事業に取り組みたい。

活動事業名 地域交流の集い（南幌温泉）

- ◆時期 平成17年11月9日
- ◆対象者 高齢者・ボランティア・役員・道保健師・保健センター保健師 21名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 80,913円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 34,808円 参加者 1,105円

◆目的

前年度から対象者より強い希望が出されていたので。高齢者を連れての温泉とあって不安もあり、予算的な不安もあった。しかし、独居、高齢世帯で度々の温泉は叶わない、癒しになり親睦が一層深まるのではと考え実施。バスが来る30分前からほとんどの人が集合場所に集まっていたのにはビックリ！たった15分のバスの中はまるで温泉気分。

◆内容

対象者の健康チェック・入浴・食事・名前ビンゴ・豆送り・ジャンケン勝ち抜きゲーム・カレーライスゲーム等。童心に帰り真剣。盛り上がり、好評だった。

◆成果

希望していただけあって、とても楽しみにしていたことが出発前にわかった。帰りのバスの中でも疲れた様子も見せず、反対に高齢者からパワーをもらう。「次年度も」という要望に答えたい。実施して良かった。

◆課題

対象者の体調をしっかりと見る。入浴中は、役員やボランティアが必ず見守る。何かあった時には役員に、役員は温泉の人に。その他、必要とあれば消防等に連絡を迅速に取る。また、ゲーム等新しいものを取り入れたい。

活動事業名 地域交流の集い（第一回）

- ◆時期 平成23年5月24日
- ◆対象者 高齢者・ボランティア・役員 25名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 18,495円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 2,245円
参加者 1,250円

◆目的

年々高齢化が進み、外出も大変になってきている。対象者の三分の二は平成14年度からの常連さん。そこで、今年度から、参加するのに困難（歩行）な方にタクシーを乗り合わせて、出席してもらう事にした。少しでも仲間と話をし、リフレッシュをしてもらう為。

◆内容

今年度の事業の説明・研修「災害時に備えて」（市危機対策課）・調理・昼食・軽い体操

◆成果

3月11日の大震災で、対象者の方々が独りで暮らす事への不安を訴えており、この企画に至った。市の係の方から江別の実態を聞き、「安心した」と聞き、良い成果が得られたと思う。

また、タクシーの送迎はとても喜ばれ、今後も続けていこうと思っている。

◆課題

対象者の高齢化によって、調理出来る人が少なくなってきている。調理中の空いている時間を、詩の朗読や体験談等を話して、退屈しないで楽しんでもらえる様に努めていきたい。



錦町新生自治会 地域交流の集いの様子

錦町新生自治会 地域交流の集い
(災害に備えて)



◎問い合わせ先 担当者◎
福祉部長
小林 正枝 様
☎382-1308



自治会の紹介

【自治会の目標・スローガン】

自治会の皆さんが親和協力して、健康で明るく住みよい町づくりをするため、会員相互の親睦、福祉の増進、青少年の健全な育成指導等を行なうことを目的とし、目標達成のため、必要な事業を行ないます。

その一環として「愛のふれあい交流事業」を活用し、福祉の増進活動をしています。

「愛のふれあい活動」は、ボランティアさん（近所の方）、民生委員さん、自治会役員に協力をお願いして、1世帯3名程度で見守りや声かけを活動しています。

「地域交流の集い活動」は、満65歳以上のひとり暮らしの方、80歳以上の高齢者の方を対象として活動をしています。また、65歳以上のひとり暮らしの方の出欠については、出来るだけ本人に会って返事をもらうようにしています（独居の方への見守りや声かけ活動を兼ねています）。

活動事業名 **中央町自治会&愛のふれあい 合同交流会**

- ◆時期 平成23年6月19日
- ◆対象者 愛ふれ対象者・大人・子供・幼児 66名
- ◆担当 福祉部・総務部
- ◆総事業費 86,288円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 52,588円
参加者 18,700円

◆目的

中央町自治会交流会は、自治会内の子供から大人まで多くの皆さんが参加する春の行事です。この交流会で、自治会内の子供から大人まで幅広い世代の人達との交流を深めてもらうため。

◆内容

かなりや公園で開催しています。昼食交流会は、1グループ8人前後でジングスカンを囲んでの昼食会です。

また、皆さんが参加出来るゲーム（○×ゲーム・ビンゴゲームなど）を通して交流を深めていただいています。

ジングスカン（肉）が苦手な人も参加してもらえよう、魚介類・焼き野菜（多めに）も準備するようにしました。

活動事業名 **愛のふれあい交流の集い**

- ◆時期 平成23年7月26日
- ◆対象者 愛ふれ対象者・学習会一般参加 26名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 16,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 1,000円

◆目的

年5事業を実施していますが、その内の1事業は、昼食交流会後に、事業対象者の皆さんが希望する学習会を開催する事としています。

◆内容

参加者全員での昼食交流会をします。その後、学習会（1時間～1時間30分程度）です。

学習会の内容は、前年の最後の交流の集いで、皆さんと話し合いをして決めます。自治会の皆さんにも、学習会への参加を呼び掛けています。学習会の内容によって、お願いする講師の方の準備に苦勞します。

【ここ3年の学習会】

- 平成21年 悪徳商法について 講師依頼 江別消費者協会
- 平成22年 災害への備えと対策 講師依頼 江別市総務部
- 平成23年 ふるさとの歴史 講師依頼 江別市郷土資料館

2事業の共通の成果・課題

◆成果

中央町自治会では、平成16年から事業を実施しています。実施前はお互い顔も知らず、ましてやどこに住んでいるのかもわからない人達（ボランティアさんも含めて）でしたが、事業を実施してからは、お互いに行き来するようになり、仲良くなり、楽しい生活をするようになったと思います。

最初は、意見を言うこともなく、質問もする事もなく黙って聞いていただけでしたが、最近は興味のある学習会が続き、積極的な意見・質問も多く出されるようになり、楽しく学べる活動となってきました。

◆課題

- 一人でも多くの人に参加してもらえよう、他のサークル活動等と日時が重ならないような調整と工夫。
- 対象となる人の男女比は、男性11名・女性28名と女性が多く、実際の参加者も女性が多いので、もう少し男性も参加してもらえよう改善と工夫。

◎問い合わせ先 担当者◎
福祉部長
本多 和文 様
☎382-4058



中央町自治会 愛のふれあい交流の集い 案内文

愛のふれあい交流の集い

第2回「愛のふれあい交流の集い」を下記のとおり行いますので御参加 下さいます様お願い致します。


開催日 6月 19日 (日曜日)

開催時間 11時 30分 から

今回は、中央町自治会 & 愛のふれあい 合同交流会です。

開催場所 かなりや公園

注.敷物・取皿・割り箸を持ってきて下さい。
福祉部：・・・ TEL ・・・・・・
：・・・ TEL ・・・・・・



自治会の紹介

- ・当地区は、湯川公園に隣接した非常に環境に恵まれた閑静な住宅地であります。
 - ・戸建住宅が大半を占め、終の住み家として移住してきた人々が多く、住民同士の協力関係が良好であります。
 - ・役員は、班長は毎年交代制で、比較的若い人が多く、幹部役員は年配者が務め、自治会活動も活発であります。
 - ・地域の安全は、地域に住む人たちの知恵と努力で守らなければならない。
- 自治会として、安心して住める地域社会づくりに積極的に、一層邁進しよう。

活動事業名 **秋の集い**

◆時期 平成23年9月

◆対象者 高齢者 12名

◆担当 社会福祉担当

◆総事業費 14,640円 【内訳】社協助成金 14,640円

◆目的

- 対象者同士が顔見知りになり、交流してもらいたい。
- ボランティア会員も担当以外の対象者と交流したい。
- 外出して、人と会い、会話したり体を動かしたりして楽しく一時を過ごしてもらいたい。

◆内容

- 出前講座（地域包括支援センター、消費者協会等）で講義をしてもらい、生活に関する情報や知識を得る。
- 簡単なゲームや手指の体操で、頭や体を動かす。
- お昼ご飯やコーヒータイムを設け、おしゃべりを楽しむ。

◆成果

- 交流を通じて親睦が深まり、外出先での挨拶や会話をするようになった。
- 集いの会話の中に、近所で気になる人や心配な人達の情報が出てきた。

◆課題

- 参加者が固定化しつつあるので、皆が参加できるような内容を考えたい。
- 対象者が年々高齢化し、外出しづらくなってきている。

知りたい！！

ふれあい訪問の内容（グループ編成の仕方、訪問回数等）が知りたい。

◎問い合わせ先 担当者◎
愛のふれあいボランティア会
 事務局次長
梶本 高子 様
 ☎383-9522



野幌寿町自治会 秋の集い 案内文

野幌寿町自治会愛のふれあいボランティア会


「秋の集い」のご案内

盛夏の候、皆様いかがお過ごしですか。
 昨年に引き続き、今年も「秋の集い」を計画しました。
 今回は、「健康で暮らすために・・・食べることを大切にしましょう」をテーマに講義を聞きます。簡単な手指の運動もします。
 みんなで集まっておしゃべりもして、心も体もほぐして楽しい時を過ごしませんか。

日時：平成22年9月4日（土）午前10時から12時半
 場所：野幌公会堂

内容：① 講義
 野幌第一地域包括支援センターの出前講座です。講師の方による講話です。
 ② 手指の体操
 指の体操と簡単レク
 ③ コーヒータイム
 おいしいコーヒーを飲みながらおしゃべり
 ③ お昼
 お弁当を用意します。

* 当日、車で送迎します。15分くらい前に迎えに行きます。
 * リーダーさんは、会員も含めての人数を集約して8月21日までに梶本へ連絡して下さい。



自治会の紹介

- ・当自治会は、野幌駅南口1号線、鉄東線、白樺道、500m四方（一部若葉町含む）に囲まれた地域に、400戸を超える世帯で構成された自治会ですが、近年自治会加入戸数も減少傾向にあります。
- ・自治会の世代構成は年々高齢化が進んでおり、又、構成役員についても高齢者が多く、独居老人の支援は高齢者の役割となっている。
- ・明るく、何でも話し合い、住み易く活気溢れる自治会にして行きたい。

活動事業名 **独居老人愛のふれあい活動**

◆時期 平成23年5月26日

◆対象者 独居老人・自治会役員・支援者・民生委員 26名

◆担当 社会福祉部

◆総事業費 22,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 7,000円

◆目的

愛ふれ対象世帯や地域の高齢者・障がい者が、いかに地域社会にとけ込み、明るく楽しく生活が出来るように手助けをしていきたい。

◆内容

○保健師さんを招いて「骨粗しょう症」の症状、予防について講話をいただくとともに、血圧測定を行い健康管理についてご指導をいただいた。

○懇談会の実施（支援者・役員・民生委員・対象者）

○昼食会の実施（支援者・役員・民生委員・対象者）

◆成果

○普段顔を合わせる機会の少ない独居老人の方々は、久しぶりの再会に笑顔で活発に交流を深めていた。

○独居老人から愛ふれ事業に対し、感謝の言葉が懇談会の席でもよく聞かれた。

○今後食事についても気配りをしていきたい。

○今後もこのような事業を継続して欲しい。

○独居老人は愛ふれ事業に感謝している言葉など、懇談会の席でもよく耳にする。

◆課題

○参加人員の増員を図っていきたい。

○独居老人の参加者には、負担にならないように配慮していきたい。

活動事業名 **愛ふれ屋外健康増進活動（札幌市百合が原公園）**

◆時期 平成23年9月30日

◆対象者 独居老人・自治会役員・支援者・民生委員 24名

◆担当 社会福祉部

◆総事業費 56,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 11,000円

◆目的

○家に閉じこもりの方、交通事情によりなかなか外出できない方に参加していただき、公園内での散策を楽しみ、美味しい空気を胸いっぱい吸い込んで気分転換、草木、花など観賞と健康増進を図る。

○会員相互の親睦を図る。

◆内容

- 百合が原公園の温室内散策及び観賞（盆栽・オモトの展示会・竜舌蘭の開花）
- 百合ヶ原公園内散策及び観賞（バラ・ダリア・草木・草花）リリートレインで園内周遊

◆成果

- 往復の車中、昼食時に隣同士、会員同士、支援者の方々とも和気あいあいとお話しされ、皆さん笑顔で交流が図られていた。
- 園内の散策などにより、意欲的に健康増進を図っていた。

◆課題

- バス借上げ料金が大幅に上昇し、自治会も財政難の折り、上昇分を自治会負担金でカバーすることは難しく、助成金の上乗せ検討をお願いしたい。
- 参加人員の増加等を図っていききたい。

他にもこのような会議を行っています

活動事業名 **愛ふれ支援者会議**

- ◆時期 平成23年5月26日
- ◆参加者 支援者・民生委員・役員 22名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 11,600円 【内訳】社協助成金 10,000円（愛のふれあい活動）
自治会 1,600円

◆目的

- 各グループ、対象者名の現況報告と実状把握
- 新規加入脱退者の確認

◆内容

- 各グループ毎に対象者の現況について、詳しく説明を受け実状把握に努めている。
- 各グループで最低週1回の現状把握のお願いと、横の連絡を密にし事故の防止に努めています。

◆成果

- 自治会では毎月第2火曜日を定例役員会の日と決めている。
- 民生児童委員方々も役員会に必ず出席頂き、情報交換を行なっています。
- 民生児童委員方々に全員支援者になってもらっています。

◆課題

- 今後、青少年を含め全体で愛ふれ活動を進めることなど考える時期ではないか。

自治会の紹介

市内、162自治会の中でも1100戸を超える大自治会であり、平成20年には40周年を迎えた歴史ある自治会でもある。野幌森林公園や運動公園、各種大学等の施設も多く、札幌や新千歳空港等のアクセスもよく、自然・文化的環境は極めて良い自治会である。

役員は、会長以下20名と、各区長10名の計30名で構成されており、毎月1回の役員会（理事会）を定期的に開催している。

社会的弱者（老人や子供たち等）が安全で安心して暮らせる街づくりと福祉の増進を目標とし、日々活動中である。

活動事業名 **新そばの味と香りを楽しもう。**

◆時期 平成22年10月16日（土）

◆対象者 愛ふれ対象者 他 55名

◆担当 社会福祉部

◆総事業費 26,962円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 11,962円

◆目的

新そばとそばサラダを楽しむ恒例の人気行事（10年以上）。手打ちそばの実演。

◆内容

「野幌手舞そばの会」の皆さんによる、手打ち新そば。材料代のみで、手間はボランティア。あざやかな手さばきに参加者一同感嘆し、美味しい新そば（温かいカシワそば）に舌つづみ。

◆成果

食は生の基本。対象者の方々の感謝の言葉が嬉しい。

◆課題

今後とも、続けて行きたい。

活動事業名 **江別消費者協会の講演**

◆時期 平成23年6月18日（土）

◆対象者 愛ふれ対象者 他 45名

◆担当 社会福祉部

◆総事業費 19,981円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 4,981円

◆目的

○消費者被害を無くす為

・消費者協会に寄せられた最新事例と救済の法律について。

◆内容

・事前に協会と打合わせをし、対象者が高齢者の方が多いので、ゆっくりと分かりやすくお話しされるようお願いした。

・DVDを使用し、より理解出来る様工夫した。

◆成果

・成果は不明だが、少なくとも未然に防ぐ事が出来ると期待はしている。

◆課題

・法律の改正に注意をし、改正後は時間を置かず実施したいと考えている。

活動事業名 **レクリエーションのお誘い 用具を利用しての軽い運動**

- ◆時期 平成23年7月23日(土)
- ◆対象者 愛ふれ対象者 他 41名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 15,280円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 280円

◆目的

日頃の運動不足の解消の為

◆内容

- ・ビーチボールを使用して、サッカー（イスに座り、向かい合って）
- ・ビーチボール送り（イスに座り、頭の上を両手でボールを送る）
- ・輪投げ（4チームによる得点を）

◎ケガの無い様、準備体操からはじめ、景品を出したので盛り上がった。

◆成果

汗をかき、全員で昼食をとり、晴れやかな顔で岐路についていたのが印象的であった。

◆課題

ケガに注意を払い、マンネリ化にならない様、努力したいと思っている。

要望・質問

- ・他の自治会との交流会を企画して欲しい。
- ・当自治会では年5回の交流の集いを実施している。終了後、申請書兼精算報告書を提出しているのに、なぜ今回の活動事例報告書がいるのか？

◎問い合わせ先 担当者◎

社会福祉部長

高柳 精一 様

☎383-1243



野幌若葉自治会 第三回地域交流の集い 資料

平成 22年 8月 27日
(第3回交流の集い資料)

野幌若葉自治会
社会福祉部

各位

訪問販売のトラブル防止について

(平成21年 11月 20日(金)北海道新聞朝刊に掲載、委員)

訪問販売にまつわるトラブルが増加傾向にあり、そこで、訪問販売や電話勧誘販売を規制する「特定商取引法」が改正され、平成21年12月1日改正法が施行されました。悪質な業者による一定の禁止事項が定められています。しかし、消費者側も新しいルールの内容を知り賢い対応を心がけたい。

改正のポイント

- ①原則、すべての商品、サービスを対象とし、指定を廃止。
- ②再勧誘を禁止。
- ③「日常生活に必要な量を著しく超える」商品やサービスを契約した場合一年間は、取消し可能。

具体例

1. 家に健康食品の売り込みが来た。断ったけど又来たら不安。
重要なのは、断る意思表示をする事。後日、業者がこの間の話考えてくれましたか、などと再び訪問した時点で違法となる。

2. 実家に帰省したら布団が何枚も、母は一人暮らしで明らかに不要だがクーリングオフ期間を過ぎているし...?
この場合、消費者は契約後一年間は、契約の解除を主張できる。業者側は、この一人暮らしの顧客に布団を複数購入した特別な理由を示さなければならない。
又、同日施行の改正割賦販売法で個別の商品購入について分割払い契約を結んだ場合、与信契約をクーリングオフすると販売契約も解除される。消費者はクレジット業者にクーリングオフすると通告するだけでOKとなる。

※注意点

数年おきに屋根や外壁の工事が繰り返され、不必要な工事であったとしても数年おきでは契約後一年は解除可能という新ルールの特長が活用は難しい。
過量販売の具体的な量に関する言及が無い。目安としては、日本訪問販売協会が公表した資料を基盤に参考にしてほしい。改正後でもお年寄りの被害防止は周囲の目配り配りが重要。

訪問販売協会の通常、過量には当たらないと考えられる分量の目安

品 目	原 則 と し て
健 康 食 品	1人が使用する量として、1年間に10ヶ月分
下 着	1人が使用する量として、1年間に2セット
着 物	1人が使用する量として、1セット
アクセサリー	1人が使用する量として、1個
寝 具	1人が使用する量として、1組
浄 水 器	1世帯について、1台
健 康 機 器	1世帯について、1台
化 粧 品	1人が使用する量として、1年間に10個
住 宅 リフォーム	築10年以上の住宅1戸につき、1工事

※断る言葉は日頃言い慣れてないと出ない。底に水やりをしながら独り言でもいい。断る練習をしましょう。
※江別消費者協会(江別市役所内) TEL.381-1026 相談日時 月曜日～金曜日 10時～16時。

野幌若葉自治会 活動事例報告書（ここ数年の事例）

活動事業名	参加者数	財源内容		目的・内容 他
		助成金 (社協)	自治会 負担金 概ねの額	
1.保健師さんによる健康講話	40 名前後	15,000	5,000	健康第一。治療より予防が大事と考えた企画。
2.用具を使用しての軽い運動	40 名前後	15,000	5,000	運動不足の解消。ミニボーリング他で運動を。
3.災害時の心構えと D・I・G	40 名前後	15,000	5,000	消防署の講話。 D・I・G（災害イメージゲーム）を。
4.作って食べよう	40 名前後	15,000	5,000	皆んなで料理し、食事を楽しむ行事。
5.認知症の予防について	40 名前後	15,000	5,000	認知症の正しい理解と予防法を。
6.訪問販売によるトラブル防止	40 名前後	15,000	5,000	法の改正と事例による防犯知識の習得。
7.ストレッチでリラックス	40 名前後	15,000	5,000	筋力の低下の防止。健康相談、血圧測定等。
8.歯の健康管理について	40 名前後	15,000	5,000	歯の正しい健康管理。歯磨きの方法等。

※1、5、7、8は、保健師さん等有資格者の外部講師を招へいし実施したもの。

※3は、消防署、市の危機対策室より、担当者を招へいし、実施したもの。

※2、4、6は、当自治会、社会福祉部にて企画実施したもの。

回答 ～全市的に地域交流の輪が広がっていくことを願い～

ご質問ありがとうございました。

ご指摘にありますとおり、地域交流の集い活動実施自治会様には、「集い」終了後、申請書兼精算報告書を提出していただいておりますが、決算報告を主としており、紙面のスペース上、「集い」の内容等を記入する欄が限られております。

そこで、この事例集は、「どのような内容」で「どのような効果・課題が見えたのか」という部分に焦点を当て、各自治会様が趣向を凝らして実施されている「集い」についてより詳細にお伝えし、企画の際の参考としていただくために作成しました。

また、事例紹介の依頼に際しては、お手数をお掛けいたしました。が、「内容」、「効果・課題」の他にも「自治会紹介」欄への記入や写真、「集い」の案内文・お知らせ等をお寄せいただくことにもご協力いただき、それを基に、より「集い」の内容が具体的にイメージできるような誌面づくりに努めました。

「問い合わせ先 担当者」欄も掲載させていただいておりますので、是非、自治会様同士で連絡を取り合い、交流を深めていただく一助となれば幸いです。

この事例集を通じて、これまで以上に地域のつながりが広がっていくことを願っているところです。

自治会の紹介

野幌駅の南口で1号線の左側に位置し、単独の自治会として分離して30周年になります。

自治会は、1500名程が住んでいます。個人の持ち家で一戸建て住宅が多い為、住民の出入りが少なく、高齢化が急速に進んで65歳以上が37パーセント台になっております。その為に、活動内容は高齢者中心の事業が多くなってきています。

昨年度より地域支援体制「向こう三軒両隣・助け合い」を立ち上げ、高齢者・障がい者の登録をスタート致しました。

活動事業名 **日帰り旅行**

- ◆時期 平成22年10月13日
- ◆対象者 地域住民 49名
- ◆総事業費 187,000円 【内訳】 社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 52,000円 参加者 90,000円

◆内容

温泉入浴で高齢者との交流、バス旅行の為に事故に合わないよう気をつけた。

活動事業名 **愛のふれあい対象世帯とボランティアの集い**

- ◆時期 平成23年6月
- ◆対象者 愛のふれあい対象者 30名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 24,500円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 9,500円

◆目的

ふれあい対象者とボランティアの人達の交流の場作り。引きこもりを無くす為。

◆内容

ふれあい対象者の健康管理。対象者が高齢になり、参加者が少なくなった点が苦労した。

◆課題

対象者の引きこもりを少なくする。

活動事業名 **地域住民の学習会**

- ◆時期 平成23年9月
- ◆対象者 地域住民 28名
- ◆担当 社会福祉部
- ◆総事業費 23,500円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 8,500円

◆目的

地域住民の防犯、住民の助け合いを高める為。

◆内容

【認知症サポーター養成講座】

「認知症オレンジの会」会員さんより、認知症の方とのふれあい等スライドを通して学んだ。

◆課題

地域住民の1人でも多くの方を、参加しやすくすることが課題。

自治会の紹介

- ・昭和56年5月31日設立。世帯数437戸（H23.5現在） 8区 26班
- ・役員構成 会長・副会長・事務局長・事務局長次長・会計長・7部長・会計監査
- ・昭和40年～50年に移住した戸建てが中心の住宅街で、現在では高齢化が進み、自治会活動も高齢化対策が重点になりつつある。
- ・先人の苦勞（自治会の基礎を築いた）に感謝しつつ、役員はボランティア精神で会員は積極的に活動に参加することを、活動の重点としている。
- ・自治会一丸となって「安心・安全のまちづくり」をスローガンに種々の活動を行なっている。

活動事業名 **愛のふれあい交流事業**

◆時期 5月・9月・11月

◆対象者 一人暮らしの高齢者（65歳以上）・70歳以上の高齢 35名

◆担当 福祉部

◆総事業費 126,000円 【内訳】社協助成金 45,000円（15,000×3事業）
自治会 81,000円

◆目的

社会福祉協議会より働きかけられる。目的～親睦、健康管理、研修。

◆内容

- ・保健師による健康診断、研修。 ・高齢者の健康体操の実施。 ・福祉部員の手作り会食（メニューの説明）
- ◎手作りのバランスの取れた食事が大好評である（毎回）。
- ◎保健師の丁寧な説明で、よく理解されている。
- ◎社協の助成金では足りないので、持ち出しをしている。

◆成果

- 引きこもりがちな高齢者が喜んで参加している。
- 福祉部員1人ひとりが高齢者の気持ちになって、親切に対応している。
- 保健師からの健康指導により、健康に対する関心が高まってきている。

◆課題

- 高齢化に伴い、体調急変への対応が必要と思われる（例：AED等）。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **さくら公園夏まつり**

◆時期 8月（2日間）

◆対象者 老若男女 約300名

◆担当 実行委員会（4自治会共催【東野幌町・サーム野幌駅・事業団・東野幌団地】）

◆総事業費 854,000円 【内訳】東野幌町自治会 599,000円 3自治会 55,000円
ご祝儀 200,000円

◆目的

24年前までは運動会をしていたが、高齢化によりケガ等の心配が出てきた為、みんなが参加できる祭りに転換した。

目的 ～ ○会員相互の親睦ないし、他自治会との交流。

○企画、立案、準備、実施、片付、反省により、連携意識の高揚（会議4回）。

◆内容

開会式

○出店～子ども用品など、焼き鳥、おにぎり、おでん、綿アメ、ビール、清涼飲料など

○夜～花火大会

○カラオケ大会～1日目：午後の3時間 2日目：午後の3時間

○子供神輿（午前の3時間）～4町内渡御（低学年と高学年分けて）

○幼児・小学生ゲーム

○4自治会対抗綱引大会

閉会式

◆成果

○近隣4自治会の親睦が深まった。

○行事を通して、会員の連帯意識が高まった。

○高齢者と若者の交流の絶好の機会である。

◆課題

○老若男女が気軽に参加できる手作りのお祭りを進めて行きたい。

活動事業名 **子どもと大人の集い（冬まつり）**

◆時期 2月

◆対象者 老若男女 約100名

◆担当 7部会

◆総事業費 130,000円 【内訳】自治会 130,000円

◆目的

5年前迄、冬まつり（雪像づくりを含む）を実施していたが、2月の厳寒期の外作業は高齢者にとって厳しく、健康管理上中止し、室内で老若男女が集い合い、親睦と交流を図る。

◆内容

○ゲーム（メンコ・ビー玉・けん玉・トランプ・子どもカルタ・コマ遊び・切り抜きなど）

○百人一首・囲碁・将棋・オセロなど みかん拾い（雪中）

○カマクラづくり・雪だるまつり（子供中心）

○すべり台 大小一基ずつ（2月下旬まで使用）

○昼食（カレーライス）は女性部が担当

○種目が多いので、各部屋を有効に使用する工夫

○子供に対して、大人が教える機会がある（百人一首・囲碁・将棋など）

◆成果

○屋内での行事が主体なので、高齢者の風邪ひきがなくなった。

○高齢者と子供の交流が出来て良かった。

○百人一首・メンコなど、日本の伝統文化の一部を子供達に伝えることができた。

◆課題

○各部の役割分担を明確にする。

○高齢者と子供の交流の機会をつくる様、配慮する。

◎問い合わせ先 担当者◎
社会福祉部長
黒滝 末吉 様
☎389-3625



知りたい！！

・他自治会では、どのような内容を実施しているのか、このアンケートに期待したい。

・他自治会では、冬の行事をどのように実施しているか、内容を知りたい。

東野幌町自治会 愛のふれあい交流事業



東野幌町自治会 さくら公園夏まつり

東野幌町自治会 さくら公園夏まつり



東野幌町自治会 子どもと大人の集い
(冬まつり)

自治会の紹介

- ・当自治会は平成元年設立、満22年を迎える。役員は15名。組織構成は区制（1～4区）各区每班員・予算体制をとっている。
- ・東野幌本町・野幌若葉町・緑ヶ丘の区域に、830世帯を有する。周辺には、野幌原始林・野幌総合運動公園・北海道情報大学など好環境
- ・しらかば親和会と云う高齢者の会も活発に活動されています。
- ・自治会自慢の行事は、①しらかば夏祭り（8月）②長寿を祝う会（9月）③文化祭（11月）④ふれあいレクリエーション（1月）等々会長を始めとし、会員の積極的な協力で成り立っています。

活動事業名 「愛のふれあい交流会」

◆時期 平成23年8月10日

◆対象者 愛ふれ対象者・福祉役員 30名

◆担当 福祉部

◆総事業費 30,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 15,000円

◆目的

【社協の御指導でスタート】

対象者が家庭に閉じこもりにならない様、外出させる様、心掛ける。また、対象者の健康管理にも一役かっています。

◆内容

・対象者が興味を持って参加出来る様工夫

1. 健康管理面から

市の保健師さんを招き、健康講話「忘れん脳生活」、また、血圧測定もお願いする。

2. 演芸では、大麻千鳥会の民謡を楽しんで頂きながら、昼食をとって頂く。

◆成果

本年度は新たに本町自治会が合併になりましたが、全員の参加を見る事が出来ませんでした。来年度は、全員参加される様、工夫したい。

◆課題

今年度で4回目となりますが、内容がマンネリ化しない様、来年は少し変化をつけ、皆が期待できるような交流会にしていきたい。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 当自治会4区愛ふれ食事会

◆時期 平成23年3月28日

◆対象者 愛ふれ対象者・ボランティア・役員 11名

◆担当 4区福祉部

◆総事業費 8,580円 【内訳】4区 4,000円 自治会 4,580円

◆目的

- ・対象者の閉じこもりを防止するため。
- ・会話の中から、健康状態及び日々の生活を確認。

◆内容

- ・対象者が出来るだけ参加出来るだけ様、事前打ち合わせを行う。
- ・昼食会にてランチタイムのある、そして、ヘルシーメニューを探す。
- ・アフターコーヒー又はドリンク等、会話の出来る時間とメニューを考えました（2時間位）。
- ・欠席者がいれば、おみやげとその会の報告などをしました。

◆成果

- ・この昼食会は時々あってもいいねとの声
- ・年齢が80～90代の方の出席、2度程度ですが、毎回元気に参加しており、役員も元気をもらっている。

◆課題

区だけの事業は4区だけなので、全体的な「愛ふれ交流会」だけではなく、1～3区も単独で実施していただくよう、願います。

知りたい！！

他の自治会がどのような活動を行なっているのか？
今後の活動の参考にして行きたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉部長

平賀 睦男 様

☎389-4171



社協インフォメーション Vol.9

「地域交流の集い活動」への協力団体の紹介⑤

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

【交通安全「元気で長生き」講座】

交通事故から自分自身を守り、人生の収穫期を楽しみましょう。
市では、皆さんが事故に遭わないよう、ひとりでも多くの方に元気で長生きしていただくための講座を開催しています。
30分～1時間程度のお時間をいただき、市の交通教育指導員による寸劇やビデオをお楽しみいただく中で、日頃気をつけるべき交通安全のポイントが自然に身についていきます。

～お申込み・お問い合わせ先～

江別市役所 市民生活課 交通防犯係

江別市高砂町6 ☎381-1018

北のまちから
あったがハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

位置は、野幌町8丁目通りに面した繁華街である。マンションA棟、B棟に分かれている。合計69戸。

役員は階段毎に輪番性であり、任期は2年間。

マンションの居住者氏名は公表しているが、電話番号は公表していない。

互いに協力し合う仲の良い自治会を目指したい。

活動事業名 **日帰り研修旅行（つきさむ温泉）**

◆時期 平成23年9月15日

◆対象者 高齢者 12名

◆担当 シニアクラブが中心

◆総事業費 54,852円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 17,600円
自治会 15,252円 参加者 12,000円

◆目的

次のような事から、小規模ではあるが、始めようと計画した。

- ①マンションの特殊性から、隣近所との交流が少ないのではないか。
- ②高齢者を戸外に誘い出し、心身のリフレッシュをしていただく。
- ③参加者同士の交流を図りたい。

◆内容

- ①新聞工場の見学 ②温泉に入浴 ③食事会

◆成果

- ①新聞工場を見学したことは、大変良かった。参加者全員が初めての経験なので、感動しながら見聞を広める事が出来たと思う。
- ②食事会では、工場見学や日頃の話題などでにぎやかに交流が出来た。
- ③温泉にも入浴し、心身のリフレッシュが出来たと思う。
- ④この事業を機会に、帰宅後もエレベーター等で会った時、親しく挨拶を交わす事が出来る様になった。
- ⑤助成金（社協）制度が有るので大変良かった。助成金が無ければ実施できないので、是非、制度の継続を願う。

◆課題

- ①事業に参加した方は、お元気な方である。健康上から参加したくても出来ない方がいるのではないか。幅広く多くの方に参加していただくためには、どのような事業がふさわしいか、検討して行きたい。
- ②多数の方に参加していただくためには、実施時期の検討も要する。

活動事業名 **ふれあいパークゴルフ大会（のっぽろパークゴルフ場）**

◆時期 平成23年10月7日

◆対象者 高齢者 6名

◆担当 シニアクラブが中心

◆総事業費 22,467円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 3,867円
参加者 3,600円

◆目的

次のような事から、小規模ではあるが、始めようと計画した。

- ①マンションの特殊性から、隣近所との交流が少ないのではないかな。
- ②高齢者を戸外に誘い出し、心身のリフレッシュをしていただく。
- ③パークゴルフを体験させ、興味をもっていただく。プレーを継続するようになる事によって、健康維持の一助となることを期待する。
- ④参加者同士の交流を図りたい。

◆内容

パークゴルフ大会・プレー終了後の食事会

◆成果

- ①和気あいあいと初心者も楽しくプレーする事が出来、大変良かったと思う。
- ②プレー終了後の食事会では、全員が継続したプレー実施の要望が出た。
- ③当初計画していた日が雨のため延期した事もあり、参加者が半減した事は、残念であった。
- ④この事業を機会に、帰宅後もエレベーター等で会った時、親しく挨拶を交わす事が出来る様になった。
- ⑤助成金（社協）制度が有るので大変良かった。助成金が無ければ実施できないので、是非、制度の継続を願う。

◆課題

- ①天候に左右されるので、実施日を慎重に設定する事。たびたび延期すると、参加者が激減する。
- ②来年度は、定期的で開催する事を検討したい。
- ③多数の方に参加していただくための方策として、実施内容等を検討したい。

◎問い合わせ先 担当者◎
会長
若杉 勝昭 様
☎385-5594



社協インフォメーション Vol.10

「地域交流の集い活動」へご協力いただける
 ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介①
 ※平成23年度実施マニュアルより抜粋
 ※費用等の詳細は、各連絡先にお問い合わせ下さい

【江別消費者協会】 事務局 / ☎381-1026

◆悪徳商法にあわないために、事例と対応策のお話

【江別認知症の人の家族を支える会】 事務局 / ☎387-5657

◆認知症の啓蒙と理解のために講話と回想法を行ないます。
また、介護家族の方のための相談と家族の方の集い等も行なっております。

【NPO法人 ナルク江別】 ナルク江別事務局 / ☎388-1251

- ◆北欧の福祉事情についての講演・講話
- ◆日本における時間貯蓄ボランティア活動の現況に関する説明
- ◆「特別養護老人ホームひだまり」
「介護老人保健施設はるにれ」 介助活動の体験談等

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター



自治会の紹介

【特色】

集合住宅（マンション）6棟、約460戸と多く、年齢層も中・高年齢と幅が広い。特に最近では高年齢化と1人住まい、また、老夫婦の家庭の増加が多くなっている。

【目標】

全戸加入と、役員の若返りで自治会活動の活性化。

【スローガン】

「気軽に声かけ助け合いの精神で」

会員間の親睦、交流を深めるために9つのサークル（ゴルフ・パークゴルフ・麻雀・囲碁・詩吟・リズムダンス・体操教室・そば打ちサークル、あなたの手の会<ボランティア>）を立ち上げて、努力しています。

活動事業名 **愛ふれ活動（ほのぼの会）**

◆時期	年間5回
◆対象者	愛ふれ対象者 45名
◆担当	厚生部
◆総事業費	260,000円 【内訳】社協助成金 75,000円（15,000×5事業） 自治会 185,000円

◆目的

集合住宅（マンション）は住民との付き合いが希薄で、閉鎖的になりがちであり、少しでも親睦の場を作るのが目的である。

◆内容

- | | | |
|-----------|---|---------------------------------|
| ①健康相談 | } | 外部より講師を招き講話等 |
| ②介護に関する相談 | | |
| ③防災訓練 | | |
| ④交通安全教室 | | |
| ⑤ゲーム | } | 参加者が楽しく交流、懇親出来るよう工夫をこらし、実施している。 |
| ⑥会食 | | |

また、年1回、温泉等に小旅行も実施している。

◆成果

ほのぼの会の活動が少しずつ理解され、関心を持って来ている様に思う。会を通してのサークル等への参加者も少しずつ増えて来ている。また、居住者同士の挨拶、会話等が見受けられる。

◎問い合わせ先 担当者◎

厚生部長

浅野 光義 様

☎385-4165



自治会の紹介

末広えんじゅ自治会は、平成17年4月に末吉自治会より分離し、新自治会として誕生した若い自治会です。戸数は147戸（23年4月現在）で、450人くらいの会員が居ます。この住宅地自体は売り出してから30年以上経っているので、その分高齢化していますが、若い人も入ってきています。ただ、あまり自治会活動に関心のない人も多く、いろんな交流事業を行うことで気軽に活動してもらおうと考えています。

「相互扶助の精神を発揮し、明るい・住みよい、安全と安心に満ちた地域」を目指す。

活動事業名 **ふれあい日帰り温泉 地域交流会**

◆時期 平成23年3月13日

◆対象者 愛ふれ対象者・高齢者・役員 34名

◆総事業費 50,360円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 35,360円

◆目的

高齢者及び、独居高齢者を対象に、また、その介助者も含め、温泉入浴し、別室にて食事をしながら懇談し、高齢者、独居者の抱える悩みや問題点を会話の中から探し出し、今後の自治会での福祉の在り方について、参考になる事を得て、自治会の運営に資したい。

◆内容

温泉入浴、及び食事を取りながらの談笑。

◆成果

愛ふれ対象者以外に、介助者も対象としたことと、事業が理解されつつあり、参加者が増えたことは喜ばしい。

入浴し、一同に会して食事をし、和気あいの雑談の中から自治会に対する要望等を耳にする事が出来て、有意義であった。自治会の運営に資したい。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **避難訓練**

◆時期 8月

◆対象者 自治会員全員 120名

◆担当 防災部・総務部

◆総事業費 5,000円 【内訳】自治会 5,000円

◆目的

- ・災害が発生したときに、会員がスムーズに避難することができるか、また、一人で避難できない人が居るので会員に危機意識を持ってもらうため。
- ・何かあったときに、お互いに助け合うことができるようにする。

◆内容

- ・要援護者についての取扱いをどうするか役員会で話し合ったが、自治会の会員が実体を知っていたほうが助け合える。しかし、個人情報保護法もあり、簡単に公表するわけにいかないという結論に達した。そのため、避難訓練を行って、自然に出てきてくれることを期待して避難訓練を実施した。
- ・事前に要援護者や支援者についてのアンケートを行い、1家庭が申し出てきたが、そのほかは出てこなかった。支援者は何人か申し出てくれたので良かった。
- ・前日と当日の朝、車にスピーカーをつけて、避難訓練への参加を呼びかけたり、文書を配布して参加を呼びかけた。

- ・避難訓練の内容は、自治会の東西の2地点から、車椅子と担架を使って、えんじゅ公園まで歩いていくものです。その途中で、各家庭から合流してもらうようにして避難しました。
- ・最初に集まった2地点において、集まった人たちに、担架の組み立てと車椅子の体験をしてもらいました。担架で人を運ぶことは危険を伴うというアドバイスから担架を何人かで持って歩いて、交代しながら避難場所のえんじゅ公園までいきました。
- ・この取り組みの途中に、要援護者を車椅子に乗せて家族の人が参加してくれました。これで近くの人たちが認識してくれたことと思います。
- ・避難場所で、集会を行いました。会長挨拶のあと、防災部長と総務部長からの話、次に消防署の方からの講評と進み、体験訓練としてお願いしてあった「簡易担架づくり」と「人の運び方 一人・二人の場合」などを行い、その後消火器による消火訓練を行いました。
- ・これらとは別に、ちびっ子が消防車をバックに、消防の制服を着て記念写真を撮るコーナーも計画しており10名ほどのちびっ子がミニの制服を着て写真に収まっていました。

◆成果

- ・多くの会員が参加してくれました。最初、役員に関係の人たちでも出てくれればよいなと思っていましたが、100名を超える人たちが参加してくれ、積極的に質問したり、体験をするなど、機会があると、結構参加してくれるのだと思いました。
- ・要援護者に認定されている方が参加してくれたことにより、参加した人たちは気にかけてくれるようになると思っています。(自然に会員に認識されるように企画したが、その通りになったと思う。)
- ・最後に、お茶などでのどをうるおして終わった。

◆課題

- ・今回は初めての取り組みだったので、どのくらいの人数になるか予測できなかったが、これからは別の体験訓練を入れて、いろんなことを知ってもらおうと考えている。
- ・避難しているときに、実際避難したのかまだなのか、歩いていてわからない家が多かったので、何らかの表示などを考える必要がある(助けが欲しい等の意思表示をすること)。
- ・要援護者への支援をもう少ししっかり打ち出して、隣や近所で手を貸して上げられるような取り組みにしていきたい。

活動事業名	えんじゅ公園完成記念フェスティバル&花火大会	
◆時期	7月	
◆対象者	自治会員全員	190名
◆担当	役員全員	
◆総事業費	190,000円	【内訳】自治会 190,000円
◆目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会内の交流を密にし、顔見知りになること。 ・何かあったときに、お互いに助け合うことができるようにする。 	
◆内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しみ、大人も楽しむことができる内容を取り入れ、参加者が楽しめるように計画した。 <p>1、ウォークラリー、2、ビンゴゲーム、3、ジンギスカン、4、花火大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4時に集まり、7時過ぎまで1～4を実施した。1は子どものみ、2～4は全員を対象として計画し、実施した。 ・成功した点：たくさんの人が参加してくれたことと多くの人たちが手伝ってくれたことで、自分たちも何らかの形で取り組むことができた満足感と充実感を感じられたこと。自治会内には、いろんな能力・技術を持っている人が居るということを発見できたこと。 ・苦労した点：ジンギスカンやおにぎりを提供しようとしたが、安全面での問題があり、保健所の許可が得られなかつ 	

たので、ジンギスカンはあずま屋の屋根の下で行い、おにぎりはあきらめて、バックにご飯を入れてそのまま提供することにした。とにかく、初めての取り組みなので、いろんな人にお手伝いをお願いして、主催者側にしてしまおうと声を掛けまくった。あまり断られることもなく、手伝いをしてくれた。裏方をやってくれた人達に感謝いたします。最初、50～100人くらい集まったらいいなと考えていたが、実際来たのは200人近くだった。

- ◆気をつけた点：食中毒や怪我などがあつたら困るので、細心の注意を払って行った。
- ◆初めての取り組みだったので、全ての費用を自治会でもち、お金を集めることはしなかった。花火大会は毎年行っていたので、それと併せて行った。今回の取り組みに対して、花火大会も例年より花火を多くしたのと、打ち上げ花火を充実させた。実施前に、多くの人に参加を促すよう声をかけて歩いた。

◆成果

- ◆多くの会員が参加してくれただけでなく、手助けを申し出てくれたり、目に見えないところで手伝ってくれた人も多く居た。
- ◆その後、多くの人たちと顔見知りになり、自分たちでやったという気持ちを共有しているので、声をかけやすくなったし、手伝ってもらえるようにもなった。その後の事業にも積極的に参加してくれる人が増えた。

◆課題

- ◆今回は初めての取り組みだったので、お金を集めることもなく全て自治会の予算から出したので高額の支出になった。しかし、費用対効果を考えると、良いお金の使い方だったと思う。今後実施するときは、一部負担をしてもらうことも考えていく必要もある。
- ◆自治会の予算を組みなおした。

社協インフォメーション Vol.11

「地域交流の集い活動」へご協力いただける ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介②

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

※各団体の連絡先は、社協へご連絡下さい。ホームページでも確認できます。

※費用等がかかる場合があります。

【江別レクリエーション協会】 ◆レクリエーション活動全般についての指導

【新響ハーモニー】 ◆楽器演奏による施設慰問・地域でのイベント参加等

【江別市芸能赤十字奉仕団】 ◆芸能活動全般（民謡・尺八・三味線・舞踊の披露）

北のまちから
あつたがハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

私達の自治会は、原始林よりゆるやかに広がる野幌の丘にあり、悠久のかなたより、大自然とともに、この地をこよなく愛した先史の人々から受け継いだ大地です。

平成17年4月、地域自治会の再編により、新たな自治会を設立し、住み良い生活空間と美しい街並み創り、更に、未来への期待を込め、明るく豊かな地域創りを目指しています。

また、愛のふれあい交流事業の取り組みについては、平成17年度自治会設立時から実施し、地域高齢者の方々から喜びの声が寄せられ、今後とも継続実施致したいと考えています。

*自治会員数 169戸

*65歳以上者 137名 高齢者率 31.6パーセント

*役員 会長、副会長、7部：部長7名・副部長5名、監事2名 合計15名

活動事業名 **愛のふれあい交流事業**

◆時期 平成22年度

◆対象者 高齢者・ボランティア 5事業延べ90名

◆担当 福祉部

◆総事業費 161,068円 【内訳】社協助成金 75,000円 (15,000×5事業)
自治会 20,668円 参加者 65,400円

◆目的

当地域は、都市開発されてから数年が経過している為「高齢化」や「一人住まい」の会員が年々増加傾向にあります。今、問題視されている「閉じこもり」を無くし、「明るく豊かな地域」創りを目的に、自治会設立と同時に、愛のふれあい交流事業に取り組んだものです。

◆内容

ふれあい交流会は、年間5回開催、その都度次回の交流会内容について、参加者全員で相談し決めている。

平成22年7月の交流会では、自分達が日常生活も、ままならない状況に成ったら如何すればいいのかなど、野幌包括支援センターを招き、研修会を実施。

9月には、温泉旅行とパークゴルフを行ない、健康増進を図った。一人でも多くの方々に参加して頂く方法として、ボランティアから対象者への声かけもしている。

◆成果

この事業を実施する前は、自治会に福祉部は無く、9月の敬老の日に記念品を贈呈する程度でしたが、この事業（ふれあい交流会）に取り組む事で、福祉部を設立、「高齢者」「一人住まい者」の安否確認等。積極的に取り組む事が出来るようになりました。

また、対象者の方々は、毎回楽しみにしている状況であります。当自治会としても、地域福祉推進が図られ、「明るく豊かな地域づくり」の重要な部分の一つとして、今後も継続実施致したいと考えています。

◆課題

年々、高齢化が進み対象者が増加する可能性があり、集う場所として、当地区には公共の集会場が近くにないため、問題となる。

◎問い合わせ先 担当者◎

事務局長

長井 悦子 様

☎384-1237



自治会の紹介

グレートヒル野幌Ⅱ自治会は、平成19年4月の野幌東町自治会から分離独立した、新しい自治会です。
世帯数は75世帯で小さな自治会ですが、高層マンションの自治会として発足しました。
当自治会の目的は、会員相互の親睦を基に、ふれあいを重点に事業を計画し、推進を行なっております。

活動事業名 **朝のふれあいラジオ体操**

- ◆時期 平成23年7月23日（土）から8月12日（金）までの21日間
- ◆対象者 高齢者・親子・児童・幼児 延べ643名
- ◆担当 福祉安全担当
- ◆総事業費 35,200円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 20,200円
- ◆目的

当自治会は高層マンションの自治会ですので、あまり顔が見えない生活ですので、75世帯のふれあいを目的に実施をしています。

◆内容

各世帯にチラシを配布し、各玄関になるべく大きなポスターを貼り、入居者に対して広報を実施した。

◆成果

朝のふれあいラジオ体操の実施により、各個人のコミュニケーションが多く取られ、各家庭に訪問が頻繁に見られるようになったことや、子供の参加により、他の家庭の子どもの学校や幼稚園の行事に参加が見られるようになった。

◆課題

朝のふれあいラジオ体操の実施により、仕事で出られない家庭や高齢者、特に、車椅子の生活者に対する行事が必要と考えられる。

生活習慣で朝の時間（午前6時30分）が忙しい家庭もあるので、今後はどのような方法で実施するか、検討が必要と思われる。

屋外で実施していますので、雨天は中止になります。今回は、雨の日がありませんでしたので、中止はありませんでした。

質問

雨天の時は中止になることから、他の自治会では、どのような場所（会場）でラジオ体操を実施していますか？

例) 学校などの運動場を借用している等

◎問い合わせ先 担当者◎

総務担当

早川 清次 様

☎383-4948



グレートヒル野幌Ⅱ自治会 自治会便り

グレートヒル野幌Ⅱ自治会便り

H23. 9. 5 NO. 2

夏真っ盛り、自治会会員の皆様には元気におすごしですか？
7月23日（土）から開催していました、朝のラジオ体操も8月12日（金）で終わり計21日間、皆様の盛かのご協力をもちまして無事終わらせる事ができましたこと心から感謝とお礼を申し上げます。
この度のラジオ体操には多くの参加がありました。参加者の年齢は下は3歳から上は〇歳（多分、3桁にはなっていませんが）の方々まで、また参加人数は1日平均30名、21日間の延べ参加数は643名となり、成功裏に終了しました。
今年は21日間一度も雨が降らなくて、中止はありませんでした。これも、皆様の日頃の精進が良かったからだと思います。来年も企画し実施したいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

		7 月									
日		23	24	25	26	27	28	29	30	31	
参加人数		30	29	29	35	35	34	33	30	34	



		8 月												計
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	21日
参加人数		33	33	32	25	26	26	29	27	28	33	30	32	643名

今後の活動予定

防災訓練（避難所運営訓練）を野幌鉄南地区センターで行います。

日時：9月30日（金）午後3時～
10月1日（土）午前10時まで

主催：江別市と野幌鉄南地区自治会連合会

◆ 皆様のご協力をよろしくお願いします。



〒047-0801 江別市野幌 野幌鉄南地区自治会連合会

自治会の紹介

会員総数259戸、道営住宅18棟、厚生労働省公宅1棟、個人宅9軒で構成。

【役員構成】会長1名、副会長2名、事務局長1名、三役

【各部】福祉部、青少年育成部、婦人部、道路交通部、全ての班長が各部の部員に位置づけ年に数回の自治会便りを配布。

活動事業名 **ラジオ体操**

- ◆時期 平成23年7月25日から8月12日
- ◆対象者 大人・子供 32名
- ◆担当 青少年育成部
- ◆総事業費 50,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 35,000円
- ◆目的 世代交流・健康の維持
- ◆内容 スタンプカードを配布、最終日に記念品授与。

活動事業名 **地域交流の集い 日帰り温泉**

- ◆時期 平成23年9月4日
- ◆対象者 高齢者等自治会員 36名
- ◆担当 福祉部・婦人部
- ◆総事業費 200,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 15,000円
自治会 150,000円 参加者 45,000円
- ◆目的 地域交流と親睦
- ◆成果 日常で挨拶が出来るようになり、地域の交流が出来るようになった。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **敬老の日・記念品プレゼント**

- ◆時期 平成23年9月18日
- ◆対象者 高齢者75歳以上 51名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 25,500円 【内訳】自治会 25,500円
- ◆目的

○少額の商品券ですが、毎年皆さんが楽しみにしている。 ○役員が訪問し、皆さんの状況が見えてくる。

悩み

余りにも個人情報規制が邪魔して、自治会としては皆さんに色々と世話したくても出来ない事が多い。

◎問い合わせ先 担当者◎

会長
千葉 久男 様
☎386-3288



自治会だより

第4号

9月になり朝、夕、風に寒さを感じる季節となりましたが自治会会員のみなさまいかがお過ごしですか、自治会だより第4号をお届けします。

※、8、9月の自治会活動のお知らせです。

- ☆、8月6日、自治会七夕祭りが行われました。
- ☆、8月8日、団地内朝刈が行われ12日に無事に終わりました。
- ☆、12日、夏休みラジオ体操が終了しました。
- ☆、28日、役員会の開催、日帰り温泉等の予算の打ち合わせ。
- ☆、9月4日、自治会日帰り温泉を当町中公園温泉に行ってきました。

36名の多くの方が参加してくださいました。
18日、敬老の日、プレゼントをお届け。(75歳以上対象 51名)
日々、健康管理に気を付けていつまでも元気でいられます様、祈念しています。

☆、青少年育成会からの報告です。

- ①、7月23日から8月12日まで夏休みラジオ体操が行われました。今年は天候に恵まれ1日も休むことなく最終日を迎えることが出来ました。子供たちが毎日、早くから目をこすりながら参加してくれました。
- ②、8月6日の七夕祭りは午後6時より提灯行列を始め団地内を1周してから柳の木に短冊に思いを書き割り付けをしました。中には「夢人になりたいとか、「宝くじが当たります様に」とか、「美味しいケーキを沢山食べたい」等の楽しい思いを書いてくれました。その後には花火の打ち上げがあり、お母さんと楽しくおやつを食べながら遊びました。線香花火の前はお母さんから静かに揺らさないようにする様にと数えられ火玉から柏葉が「バチバチ」とすると「ヤッター」と歓声を上げていたのを思い出します。子供たちも夏休みの一つの思い出が残ったのではないのでしょうか。各級の皆様、ななかまどの会員の皆様のご協力に感謝します。

※、理事会についてのお断り。

11月は理事会を予定していますが、理事会は各棟役員の方が自治会理事となります。各棟、会長、会計、女性部の方はできる限り出席をお願いします。

※、自治会費回収についてのお断り。

宮町自治会の費回収は毎月、第三水曜日です。
第三水曜日にゴミステーションの前に出してください。

回収する物は、新聞、段ボール、ビン類、等です。

※、宮町集会所管理からのお知らせ。

集会所のジコウタンを新しくしました。飲み物を溢さない様に利用してください。

大 麻 宮 町 自 治 会

大麻宮町自治会 自治会だより

地震発生! そのときどうする?

平成23年9月23日、大麻体育館に於いて大麻第一住区自主防災訓練がなされ宮町自治会も千楽会長他10名で参加してきました。午前10時にM6.9の直下型地震発生。想定のもと、集会所に集合し、宮町地域の避難所であります大麻小学校グラウンドに一時避難し、大麻体育館において8グループに分かれ消化器体験、応急担架の作りか、応急手当の方法、煙ハウスの体験、避難所で使用するダンボールハウスの体験等を学びました。震災発生時には学んだ事を確実に実行するのは難しく感じてきました。普段から震災時の行動パターンを記憶しておくのはいいかでしょう。

地震発生時の行動パターン



自治会の紹介

昭和39年、大麻団地誕生に伴って当商店街が出来、それが基盤となった自治会です。

本会会則は、昭和44年に整備されて今日に至っております。既に往時の盛況だった時代はさり、空店舗等も見られる街景観となりましたが、現在、大麻全域が少子高齢化の真ただ中である以上、衰退の状況も致し方なくおもっております。しかし、現在営業中の各事業主会員はこの街が大好きでもあり、人情味豊かで周囲の顧客に愛され、いつの日にか必ず、街が再活性化するとの信念の基、業務に励んでおります。

会員の構成は、街の変化と共に、戸建て及び民間の賃貸住宅の住人も増えて、会員数の減少はございませんが、個人情報保護法の施行も足枷になり、自治会活動の阻害要因になっていると感じます。当自治会の将来を展望するのは難しい処ですが、国や道の住宅政策、道や市の高齢者福祉政策の変化に合わせて、当自治会のあり方も変遷を辿るのであろうと考えます。平成23年度交流の集いは、現在、担当役員で案を練っている所でございます。

活動事業名 **第1回 自治会親睦の集い**

- ◆時期 平成20年8月23日
- ◆対象者 愛ふれ活動対象者・高齢者・障がい者・自治会役員・自治会会員 19名
- ◆担当 副会長・会計部長・女性部長
- ◆総事業費 29,192円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 4,692円
参加者 9,500円

◆目的

平成20年4月の本会定期総会に於いて新執行部が誕生した。これを機に平成20年度事業計画が見直され、会員相互の融和を図る必要の基、新規に地域交流の集いを実施することが、役員会に於いて決定された。

◆内容

第1回自治会親睦の集い（ジングスカンを囲んで昼食会）の開催に向けて、副会長、会計部長、女性部長が主導的に準備をし、実施にこぎつける事が出来た。会場として、町内に位置する「なかもち公園」を利用したのも、功を奏したものだと思う。事前に本会の広報紙「大麻中町商店街自治会だより」を会員全世帯に配布をする（80部）。

◆成果

初めて実施した行事でしたが、参加者からは地域の親睦のためにも大変良いと好評でした。

◆課題

ジングスカンを囲みながら、普段話を交わさない会員同士が知り合えた効果は大だったと思います。

しかしながら、町内には高齢者世帯、1人暮らし世帯の高齢者もいらっしゃるのですが、これら会員の参加を増やす事が課題です。

活動事業名 **第2回 自治会親睦の集い**

- ◆時期 平成21年11月1日
- ◆対象者 愛ふれ対象者・自治会役員・自治会会員 17名
- ◆担当 副会長・総務部長・福祉厚生部長
- ◆総事業費 88,583円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 56,583円
参加者 17,000円

◆目的

地域交流と会員相互の親睦をはかるため。

◆内容

【日帰り温泉と昼食会】

11月1日、そば降る肌寒い日にあたりましたが、会員、女性会員、事業所従業員合わせて17名が、定山溪ホテルの送迎バスに乗って現地に向かいました。ホテル到着後、休憩室にて参加者各自、思い思いに懇談に温泉にと時間を過ごしました。会員の高齢化を反映してか、懇談の内容は、ご自身の体調について話す人が多かったように見受けました。幹事を務めた副会長、福祉厚生部長さんがこまめに参加者のお世話をして下さいました。昼食も美味しくいただき、和気あいあいの内に午後3時、送迎バスにて帰宅の途につきました。

◆成果

当自治会では、初めて実施した日帰り温泉の事業でしたが、ゆっくりと昼食をとりながら懇談、交流することが出来ましたので、地域の親睦を深める意味でもたいへん良かったです。参加者の方にも好評でした。

◆課題

「自治会の事業として会員相互の親睦を図る（自治会会則第5条）」とあるように、会員の交流事業は自治会の基本でもあります。今後も財政の許す範囲内で、この種の行事を続けるべきと考えます。

何故ならば、現在、町内から事業所数、会員数が減る傾向にあります。自治会が町内に関わるあらゆる問題に対応出来る姿勢を維持する為にも、このような行事を通して培われた会員同士の相互理解と連帯力が、力を発揮するものとするのであります。

活動事業名 **第3回 自治会親睦の集い**

- ◆時期 平成22年7月11日
- ◆対象者 愛ふれ対象者・自治会役員・自治会会員 15名
- ◆担当 副会長・総務部長・福祉厚生部長
- ◆総事業費 95,000円

【内訳】社協助成金	15,000円
自治会	50,000円
参加者	30,000円

◆目的

地域交流と会員相互の親睦をはかるため

◆内容

お座敷列車で行く仁木さくらんぼ狩りツアー

◆成果

過去2回の愛のふれあい地域交流事業を振り返り、賃貸住宅居住者会員、会員家族の児童参加を容易にするファミリー参加型交流事業を考慮した。

また、当該企画は当自治会会員（事業所会員）である、JR大麻駅を利用することも重要な要素になった。


◆課題

平成23年度、第4回自治会親睦の集いの企画を現在、副会長、総務部長、福祉厚生部長のもとで検討中。

◎問い合わせ先 担当者◎

副会長
阿部 悦子 様

☎387-0461 (日中)
386-4324 (夜間)



大麻中町商店街 自治会だより 第2号
発行日 平成22年 0月 14日

会員各位

大麻中町商店街自治会
副会長 阿部悦子
総務部長 久保弘規
福祉厚生部長 河野年子

第3回社協助成事業 愛のふれあい交流事業

お座敷列車で行く 仁木さくらんぼ狩りツアーのご案内

初夏の候、会員皆様のご協力により感謝申し上げます。
尚一層の地域交流と会員相互の親睦をはかるため、下記の日程にて「お座敷列車で行く仁木さくらんぼ狩りツアー」を企画いたしました。
皆さんと一緒に楽しみませんか、お隣に声を掛け合って御参加下さいませよう御案内申し上げます。(JRゲージをご参照下さい)

記

日時 7月11日(日) 午前9時23分頃大麻駅出発
午後5時頃大麻駅到着後解散

集合場所・時間 大麻駅北口 午前9時(時間厳守)

参加料 一人 2,000円

参加を希望される方は、6月21日(月)迄に参加料を添えて各班長さんまでに申し込みください。

お座敷列車で行く 添乗員同行 昼食付

仁木さくらんぼ狩りツアー

◆出発日 **7月 11日(日)**

◆募集人員 60名

◆旅行代金 <江別駅～森林公園駅発着>
おとな **5,500円**
(こども) **3,800円**

●車別乗車料(大人) **100円**付
●札幌駅発着(大人) **800円**付

お座敷列車 全席と車内メニュー

※昼食は、ジャンクカンとおにぎり1個、おにぎり(5個)、子供用ジュース
※車内の飲み物は、各自でご持参ください。
※ご参加いただくもの、健康保険証・行程表・乗降券・乗具

行程 江別駅 11:00 登別駅 11:30 大麻駅 12:00 森林公園駅 12:30 江別駅 13:00

団体臨時列車/お座敷列車

仁木さくらんぼ園 井内景樹園 さくらんぼ狩り

自治会の紹介

生活環境に恵まれている。大麻団地造成、初期入居地区で戸建て。高齢化が進んでいる。

180戸に270余の高齢者を抱えているが、世代交代もはじまっている。

しっかりした生活意識を持ち、生活されている。

自治会役員・班長は1年交代の持ちまわり。

活動事業名 **非常時に備えよう 講演と試食会**

◆時期 平成23年6月30日

◆対象者 高齢者・成年 35名

◆総事業費 25,500円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 10,500円

◆目的

東日本大震災の惨状からの学びを発展させ、個々が取り組める非常時への備え、いかに行動すれば良いかを考え、地域の連帯感を強める。

◆内容

○消防署大麻出張所に講師を依頼。地震に備えるノウハウを柱にビデオ視聴、実際の防災グッズの解説をもらった。

○5年保存可の水や食料を試食しながら、各々の家庭での備えを紹介しあいヒントをもらった。

◆成果

家具の配置替え、転倒防止具の導入、水や食料を備えた非常持ち出し袋を再点検した等、行動をとったとの話が多く聞かれた。当日参加出来なかった高齢の方へ、ラジオ体操時他、折々に当日の資料をお渡しし喜ばれた。

活動事業名 **ラジオ体操**

◆時期 平成23年7月25日から8月12日

◆対象者 高齢者・成年・幼児・児童 50名

◆担当 ラジオ体操担当

◆総事業費 20,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 5,000円

◆目的

夏の朝のさわやかなさの中、体操を楽しみ体調を整えながら親睦を深める。夏休み中の児童らとの交流を楽しむ。

児童らには、地区内でのタテのつながり、地域を知るキッカケづくり。

◆内容

【会場】住区内のなかよし公園

【時間】6:30から6:40 NHKラジオによる第一・第二体操

参加の子供達には「住んでいる地区をより知ってもらおう」との目的で、なかよし公園の木や草のクイズも入れ学んだ(5分から10分)。指導は、当自治会住人の専門家。

◆成果

路上での挨拶がかわされている。

活動事業名 七夕まつり

- ◆時期 平成23年8月7日
- ◆対象者 高齢者・幼児・児童・父母・祖父母・自治会班長・ボランティア 85名
- ◆担当 七夕担当
- ◆総事業費 35,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 20,000円

◆目的

- 高齢者と子供が抵抗なくふれ合える場としてふさわしい
- 子供の見守りと育成

◆内容

地区内の公園に3メートル程の高さの柳を用意。折り紙・蛍光紙等で七夕飾りをつくる。公民館の一室で1時間程。指導は、班長・親・祖母等、今回集まったのは、20余名の子供と大人。

午後3時に公園に設置されている柳に飾り付ける。前もって渡してある短冊も。

午後6時、参加者集合。七夕提灯をもらい、点火し町内を20分程巡った。見守った大人、高齢者も加わり、手持ち花火を楽しみ、打ち上げの大きな花火を見せてもらい、子供達はお菓子のおみやげをもらい終了。

◆成果

- 七夕まつりに参加し、見知った大人が下校時の子供に声をかけやすくなり、子供の方にも見知った顔の安心感からか、返事が返ってくるようになった。
- 会員の孫の参加歓迎ということで、旧交をあたためる光景がみられた。

◆課題

- 大人が誘った時、遠慮するご老人達も、子供が直接お誘いすると受け取ってくれる(例：5～6年の児童が花火を「どうぞ」と差し出すと笑顔で受け取ってもらえる)。その嬉しく楽しかった思いは次につながる。この輪(和)を大きくしていきたい。

◎問い合わせ先 担当者◎

会長

須田 和子 様

☎386-6180



社協インフォメーション Vol.12

「地域交流の集い活動」へご協力いただける ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介③

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

※各団体の連絡先は、社協へご連絡下さい。ホームページでも確認できます。

※費用等がかかる場合があります。

【歌謡サークルひまわり】

- ◆歌謡曲の披露と歌唱指導。チャリティー歌謡祭やファミリーコンサート等を開催し、福祉活動へ寄付をしながら活動をしています。

【江別市家庭問題研究会】

- ◆長年にわたる相談活動の経験(子育て相談・ヤングテレホン・生活相談・にこにこ相談)から、家庭間の人間関係・子育て・青少年・高齢者の諸問題についてカウンセリング・対話・講話を行なう。

北のまちから
あったかハート

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん



自治会の紹介

団地住民が高齢の人が増えてきています。自治会の役員を務めるのも、だんだん重荷になってきている人達も増えてきている状況で、お互いに助け合いながら、1人暮らしの生活状態がある程度わかる、気軽に行き来できる自治会にしたいと思います。

活動事業名 **昔懐かしの映画会**

◆時期 平成23年1月

◆対象者 高齢者・地域住民 41名

◆担当 厚生部

◆総事業費 16,250円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 1,250円

◆目的

1人暮らしの高齢者が増え、地域の人達との交流が減っている中、少しでもお互いの事が知り合えるきっかけ作りとなればよいなと思いました。

◆内容

高齢者の方にとっては、懐かしい映画を見る事により、話のきっかけ、若い人達・地域の方々との話題作りとなる様に、映画を見た後おにぎりを食べながら、お話しをしていただきました。

◆成果

団地の中で、他の棟の方との交流はなかなか難しいのですが、少しずつ顔を覚え、名前が分かり、挨拶位はする方が増えてきた様に思います。

◆課題

まだまだ、お尋ねしても玄関を開けてくれない、お会いできても行事には参加してもらえない、という人がたくさんいます。地域の方の参加も少ないです。もっとたくさんの人達が参加してもらえる様にしたいです。

◎問い合わせ先 担当者◎

厚生部

二階堂 京子 様

(平成24年3月まで)

☎386-5039



自治会の紹介

自治会の役員さん達は、居住して長い方もおられ、ご高齢ながら自治会の新しい試みに背中をポンと押してくださる方々ばかり。団地の中に会館があるので、低料金でいつでも利用できるのが助かる。

数年前までは、240世帯の中に70歳以上の方が120人近くおられたが、最近、若く赤ちゃんがいるご家族や、中国、サハリン、エジプトからの外国のご家族もおられる。

活動事業名 綾小路きみまろさんのビデオで初笑いしませんか？

◆時期 平成22年1月

◆対象者 愛のふれあい対象者・地域住民・自治会・ボランティア 56名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 60,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 福祉厚生部 45,000円

◆目的

雪の季節になると、とても出足がにぶる。ご高齢の皆さんが大好きな、きみまろさんの話術を楽しみに、又、ご自分で作った漬物を持ち寄っていただくことで、食事に花も咲き、交流に繋がるのでは・・・と予想。

◆内容

綾小路きみまろさんを楽しみに、女性どころか男性も多く来て下さり、会場は満員御礼（プロジェクター等は情報図書館から借用）。昼食は手作りの豚汁・おにぎり、持ち寄りの漬物！！思惑どおり、机には様々な漬物が並び、楽しい昼食会となった。

お帰りの際には、対象者の方に、ミニバラ鉢かシクラメン鉢をプレゼント！！来られなかった方々にも、花鉢をお届けする。

お知らせを、団地掲示板に貼り、全戸に配布。対象者さんには、メッセージカードを添え、一戸ずつお声かけ。

◆成果

雪かきの時や道路でお会いしたときにも、「きみまろ、またやってね！」「お漬物美味しかったです！」「貰ったお花、咲いてるよ」などと、挨拶より一歩進んだ会話。一声かけたり、かけられたり、体調もお聞きしやすくなった。

◆今後の課題

冬の寒さや雪道でも集会場に足を運んで下さることがわかった。事業内容の工夫や来ていただきたい気持ちをお伝え続けることが大切ということがわかった。地域交流は、全戸へPRをして、1人でも多くの方々に来てもらえるようにしたい。

活動事業名 千歳防災センターへ体験学習

◆時期 平成23年5月

◆対象者 愛のふれあい対象者・自治会・ボランティア 39名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 90,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
福祉厚生部 45,000円

◆目的

平成23年3月11日東日本大震災を忘れず、自力避難を速やかにする為の体験学習をする。

◆内容

スタッフ一同、煙の中や震災と同様の揺れ方震度6を体験。ビルの2階からも救命具をつけ飛び降り体験をする。

また、対象者の方々にも避難体験をしてもらいその後近くのレストランでお食事、ドライブで初夏の新緑を楽しんだ。

◆成果

震災への思いが皆さんを奮い立たせ、体験学習型の愛ふれでは、参加人数が多かった。

地震の揺れ、煙体験はほぼ全員参加、高層ビル・高い階からの救命具をつけての飛び降り避難練習は、高齢者の方々の立候補もあり、他の方々の勇気づけにもなり、ありがたかった。

◆課題

災害時は、要支援の方やそれに準ずる方々を助ける側の体制の在り方など、課題は山積みである。

まずは、自力避難がスムーズに出来るよう、訓練の繰り返しをしていきたい。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **世代交流おたのしみ会**

◆時期 平成23年5月

◆対象者 高齢者・親子・小中学生

◆担当 福祉厚生部 他自治会役員全員

◆総事業費 46,000円 【内訳】福祉厚生部 36,000円 育成部 10,000円

◆目的

愛のふれあい交流会は、学習、講演、介護予防体操等で、バス旅行にも行けない、長時間の参加は苦手という方も多々。そこで、当団地には中国、サハリン、エジプトと外国の家族の方も多々の中、垣根をなくし、楽しめる機会を持つ会を残りの予算で行った。

◆内容

◎各コーナーで遊んで得点ポイントで景品がもらえるお楽しみ会。1人5枚の無料チケットを受付でもらう。チケットがなくなり次第、締め切り。

- ・パットゴルフコーナー…初めての方が多く、指導もまた親睦をはかることが出来た。
- ・玉入れコーナー（ザルにお手玉を入れる）…日用品（カレンダー、手帳、石鹸等）がもらえる。
- ・輪投げコーナー…お菓子がもらえる。
- ・釣りコーナー…ブルーシートの釣り堀に、箱ティッシュ、洗剤、缶詰、菓子里に輪をつけ、1人一点釣り上げる。
- ・宝引き【大人用】…日用品、マスク、手袋、サランラップ、ジッパー付き袋、洗剤

【こども用】…お菓子、学用品

◎工夫点

各コーナーの担当者が呼び込みやゲームの達成感を盛り上げるので、声かけを留意。

◆成果

今までお会いしたこともない、ご家族連れの参加が嬉しかった。各コーナーのスタッフとお客さんとの語らいが楽しめた。

また、お金がかからない。突然参加しても、途中での出入り自由、難しい説明はなくても良い。短時間で楽しめる。

◆課題

- ・当日のスタッフ集め ～ 自治会役員・ボランティアさんへの声かけ
- ・歩行が難しい独居の方をお呼びする時のお迎え ～ 階段や段差のあるところをお連れしなくてはならないのだが、転倒など、もしもの時がとても不安。会場スタッフに人出がとられると、お連れするスタッフがいない。人材問題。

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉厚生部

高村 敦子 様

☎386-9407



自治会の紹介

1. 生い立ちから現状

当自治会は、「新住宅市街地開発法」の適応全国第一号として、北海道が開発した夢のニュータウンに、昭和41年から42年かけて入居した92世帯（区画）の住民によって結成された自治会です。

結成当時は、通勤手段の確保、公設小売市場の勧誘等、課題は多かったが、先達役員のご苦勞などによって解決され、現状では大麻団地特有の雪の排雪問題を除くと、インフラも整った緑多い街並みなど、住環境に恵まれた自治会かと思われます。

2. 重点目標 …ご近所交流事業の積極的実施…

互助の福祉、自主防犯・自主防災活動などの原動力は、「新興団地特有の疎遠化しているご近所さん付き合いの活性化」と考え、愛ふれ交流事業の充実を核とした“ご近所交流事業の積極的実施”に取り組んでいます。

活動事業名 **三世代交流「札幌市防災センターと白い恋人パークバスツアー」**

◆時期	平成23年8月7日
◆対象者	一世代（65歳以上高齢者）・子世代（65歳未満の親）・孫世代（中学～幼児） 37名
◆担当	福祉部
◆総事業費	72,200円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円 自治会 4,200円

◆目的

1. この地域の三世代間の交流を通じて愛ふれ事業の一層の充実を図る。

- ①現代の孫世代と交流し、この町子どもたちを理解し、知識吸収力の強さ等を学ぶ（孫から学ぶ）
- ②この町の子世代の子育てを理解し、孫たちの健全な成長に少しでも寄与する（生きがいづくり）

2. 愛ふれ事業を通じて、自主防災意識の向上を図る。

子ども世代、孫世代と一緒に研修し理解を深めて、防災時要援護者等の支援と、助け合い避難の仕組みづくりに寄与する。

◆内容

1. 事業内容

①札幌市防災センターの見学

三世代が一緒になって、「震度4～7の地震体験」「火災消火体験」「煙充満部屋からの避難体験」等を学び、知り合う。

②白い恋人パークでの遊園交流

展望レストランでの全員集合食事会、各グループ別に分かれての園内遊園と工場等見学。

2. 工夫点

子供からお年寄りまでが楽しく遊び、知り合い、学び合える場所の選定。

◆成果

1. 防災センター見学体験から一ヶ月後に、災害時の非常持ち出し品は何々かのグループ討論、及び、助け合い避難経路等の図上訓練などの「地震災害図上訓練（DIG）」を実施したが、その円滑な進行に防災センターの見学が反映されていたように見受けられた。
2. 地域で会うと、孫世代が祖父母世代に「あいさつ」をするばかりでなく、「何やってるの」「どこに行くの」などと話しかけてくるようになった。

◆課題

1. 参加人員の拡大

地道な活動を通じて参加人員を一人でも増やし、ご近所交流の輪を広げる。

2. 魅力ある事業の企画

アンテナを高く張り、情報を集め、知恵を出し、会員が出たくなる魅力ある企画を立案する。

3. 運営スタッフの確保

如何に立派な企画でも、手伝ってくれるスタッフがいなければ実現困難。継続的に事業運営が可能なスタッフを確保する。

お知らせ・ご案内

愛のふれあい交流事業実施の場として「ふれあい交流施設 NPO法人あじさい亭」を有効活用しています。

聞きたいことがあれば、どうぞご連絡下さい。

(船戸：386-2788)

◎問い合わせ先 担当者◎

会長

船戸 實 様

☎386-2788



大麻園町第一自治会 札幌市防災センターにて



大麻園町第一自治会 札幌市防災センター地震体験



大麻園町第一自治会 白い恋人パーク
展望レストランでの昼食



大麻園町第一自治会 白い恋人パークにて



自治会の紹介

大麻団地が出来たところからの自治会ですので、高齢化が進んでおります。

独居の方が5名、二世帯同居が3世帯、その他で若い人が少なく、役員も今年は女性7名、男性2名（85歳、89歳）という構成で、町内会発足以来はじめての女性会長ということになりました。

皆さん顔が合えば挨拶、立話等しますが、お互いに干渉しないというのが暗黙の約束事というところでしょうか。老老介護という現実が、確実に会員全員に迫ってきているというのが現状です。

活動事業名 **ふれあい昼食交流会**

◆時期 平成23年7月10日

◆対象者 愛ふれ対象者・高齢者・自治会役員・ボランティア 25名

◆総事業費 20,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 5,000円

◆目的

昼食をとりながら、ふれあいと交流の増進を図る。

◆内容

○昼食交流会 ○ゲーム

◆成果

美味しい食事と楽しい会話で参加者同士の交流を図る事ができ、みなさんに好評でした。ゲームも楽しみ、景品も喜んでもらいました。対象者の方々とも現在の状況等話をする事ができ、これからの活動に役立てたいと思います。

他にもこのような事業を行っています

活動事業名 **札幌円山動物園の見学**

◆時期 平成21年5月31日

◆対象者 ふれあい対象者・夫婦・親子（小学生・幼稚園児） 41名

◆担当 自治会全体（役員）

◆総事業費 150,000円 【内訳】自治会 150,000円

◆目的

会員の親睦。

◆内容

リニューアルした円山動物園を見学しようということから行ないました。

バスを貸し切りにしたため、5万円程かかり、お弁当をセブンイレブンのワンコイン弁当にしました。又、町村農場では予約しておいた手作りドーナツをバスに積み込み、あつあつの味を堪能し、お子様には円山動物園のホッキョクグマのバッジが好評でした。

◆成果

道路で会ったり、ゴミステーションで顔を合わせた時等、「楽しかったよ」「美味しかったよ」等と会話が弾みました。

◆課題

参加する人が、毎年決まっている。また、高齢化が進んでいるので、とにかく出かけるのがおっくう。

行事の当日になっても忘れている人もいるため、前日に電話しておいて、当日は迎えに行くようにしました。

自治会の紹介

当自治会は、大麻東小学校、大麻東公園を西側に接した101世帯450余名。よくまとまった自治会である。一方、高齢独居者や空き家の増加もあり、隣近所への気配りが日常的に必要なようになってきている。災害時の対応に準じた活動を考えなければと思っている。

450余名の当自治会は、7班体制。各班より役員、班長が毎年選出され、防災委員、防犯委員が留任した活動体制にあります。

安心・安全を目的とした自治会活動の基本として、①班の活動を重視する。②各班の交流を促進する。③活動サークルを支援する。以上を心掛けています。

一年任期の役員では、なかなか事業運営が困難ですが、当自治会では昨年末、諸サークルがリーダーのもとに活動を開始し、自治会の活性化が進んできたように思われます。たとえば、①ラジオ体操の実施 ②野幌森林公園を歩こう会（年4～5回） ③公園清掃ボランティアの立ち上げ（約30人）顔を合わせる機会が増え、交流が進んできたように思います。

活動事業名 **ゲーム大会（第5回愛のふれあい交流会）**

◆時期 平成23年2月19日

◆対象者 高齢者・大人 21名

◆担当 厚生部

◆総事業費 22,200円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 7,200円

◆目的

冬は家に閉じこもりがちなので、簡単な体操をして体を動かし、ゲーム大会で楽しみ交流につなげようと思い開催しました。

◆内容

道が滑りやすい冬場は、出来るだけ会場を近場にして参加しやすくしようと考え、「デイサービスセンターみのりの丘」を使わせて頂きました。

最初にストレッチ体操をして、次に的当ゲームなど3つのゲームをして点数で競い合いました。最後には景品付きのビンゴゲームで盛り上がりました。又、運営進行を施設側にしていただき大変助けられました。

◆成果

近隣の開催であったので、愛ふれ交流会に初めて出席された高齢者も居ました。又、施設側にとっても、施設のPRになり良かったと思います。ゲーム大会にしばり景品をたくさん用意したことで、参加者到大変喜ばれました。

◆課題

今回は初めての企画だったので、進行運営を施設側にしていただきましたが、次回からは役員で進行運営が出来ればと思いました。

活動事業名 **絵手紙を描いて交流を深めよう**

◆時期 平成23年5月26日

◆対象者 高齢者・大人 17名

◆担当 厚生部

◆総事業費 15,562円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 562円

◆目的

地域の高齢者が集まって絵手紙を描く事で、交流を深め、さらに描いた絵手紙を1人暮らしの高齢者に届けて、安否確認をして見守るため。

◆内容

最初は、誰も絵手紙を描いた事がなく、昨年の12月に講師（なんと89歳！！）の方を招いて第一回目の講習会を開きました。今回は2回目という事もあり、自分達だけで絵手紙の練習をしました。また、参加者を増やす為に、声かけもしました。

◆成果

半数近くの方が、今回初めての参加者で、中には「絵手紙を一度書いてみたかった」という高齢者や「私に描けるかなあ…」と心配そうな人がいましたが、絵手紙を描いていくうちに会話が弾み、交流が深まりました。

◆課題

今は絵手紙を描いて交流する事をメインにしていますが、今後は1人暮らしの高齢者に絵手紙を届ける事にも力を入れていきたい。

活動事業名 **かしこい消費者になる為の講座と懇談会**

◆時期 平成23年9月13日

◆対象者 高齢者・大人 17名

◆担当 厚生部

◆総事業費 15,215円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 215円

◆目的

この頃、「リサイクルショップを始めましたので、古着でもなんでも買います」という電話が多く、実際は貴金属を二束三文で買い取る為の口実で、特に貴金属をもっている高齢者が狙われているので、対処の方法について知ってもらう為、開催しました。

◆内容

消費者協会から講師を招いて、かしこい消費者になる為のお話をさせていただきました。

特に、身近（江別の）での被害や、新しい被害についての事例を話していただき、貴金属の買い取りにもふれ、古着等は持って行かないと説明がありました。

その後の懇談では、健康食品の話になり、テレビのCMに健康食品が多く、CM料は高額なので、それが商品の価格に反映して高額になっているなど、いろいろな話が出ました。

◆成果

身近での被害や、古着の買い取りの時など、出来るだけ1人では対応しないようにする事。

健康食品については、CMで流れている商品よりも、同じ様な成分で安価な商品があるので、薬剤師に相談することなど、少しかしこくなりました。

◆課題

常に新しい被害にあう事が考えられるので、2、3年に一度ずつ開催したいと思います。



大麻東町第三自治会 絵手紙講習会

第5回 愛のふれあい交流会

2011.02.19 於ける デーサービスセンター みのりの丘



田谷さん



藤木さん



斉藤さん



パークゴルフの上手な仲間たち



ビンゴの抽籤機 : 山田・武市さん



高屋さんのフリースロー

好天に恵まれたこの日、近所に来たデイサービスセンター「みのりの丘」で初めてゲーム指導者付きで施設を利用させていただいた。ゲームは心を和ませ、競い合わせ、ちょっと緊張感もありストレス解消の効果は絶大だ。たくさんのお景品も用意され参加者一同大満足のひと時でした。準備された幹事さんにお礼申し上げます。9:50頃発生した町内での落雷も無事に処理され自治会役員もほっとした一日でした。



大麻東町第三自治会
かしこい消費者になる為の講座と懇親会



自治会の紹介

ひとりの不幸も見逃さない、住みよいまちづくりを目標とし、地域のつながりを深めて行きたい。

活動事業名 **親睦会**

◆時期 平成23年9月8日

◆対象者 高齢者・親子 21名

◆担当 福祉部

◆総事業費 57,561円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 42,561円

◆目的

地域の人達の交流を図り、外出の機会が増え、仲間と会話することによって、心身のリフレッシュにつながる事を目的とする。

◆内容

出席しやすいように、昼の時間に食事を取りながらゲームなどを行なった。

苦勞したところは、参加者を増やすために班長などが個々に参加を打診してもらった。

場所も近くにしていたため、歩行に不自由な方も参加してくれた。

◆成果

なかなか逢うことのなかった人達が、お互いの安否を確認でき、また逢いたいと、久しぶりの交流が出来ていた（高齢者の方たち同士）。

◆課題

高齢者の方々が 많이 地域ですので、もう少し多くの参加者が出てきてくれる為にどうすればよいかを考えていきたい。

大麻高町第一自治会 懇親会



自治会の紹介

高齢者が多く、独居老人も、かなりを占めています。小・中学生は少なく、日中は静かです。班によって交流にばらつきがあります。高齢社会を先取りしている状態で、どのように隣近所が寄り添って暮らしていけるのか不安です。

活動事業名 **健康講話・昼食交流会**

- ◆時期 平成23年7月
- ◆対象者 高齢者 26名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 24,904円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 9,904円
- ◆目的

近年、糖尿病患者、特に「かくれ糖尿病」が増加していることを知り、専門の医師に講演をしていただくことにしました。また、糖尿病食を体験するというので、500キロカロリーの弁当を用意し、改めて食生活を考えてみようという企画しました。

◆内容

講師による「糖尿病とは何か」というお話をいただきました。また、糖尿病食とはどんなものなのかを体験してもらうために、病人食を扱っている業者に、500キロカロリーの弁当を依頼しました。

夏場だったので、暑さ対策や食品に対することにも気がつかれました。

回覧用の用紙は、見やすいように大きな文字にしました。

◆成果

500キロカロリーの食事を体験し、改めて家庭での食生活について考えてみた方が多かったようです。自身の食事の量と比較して、納得していた方もいたようです。

◆課題

やはり、参加者が少ないのが実情です。いかに、会場に足を運んでいただける内容を考えるかが、課題です。


糖尿病とはどんな病気？


専門の先生から、予防の仕方・どんな治療法があるのか、じっくり聞いてみませんか？

糖尿病患者の1回の食事の摂取量が500キロカロリーとすることを伺ったので、お話を聞いた後は、なんと！それに見合ったカロリーのお弁当を用意しました。

それを食べながら、先生に質問をどんどんしてみてください。

皆さんの参加を心よりお待ちしております！





詳しい内容は右記の案内を見て下さいね。

西平 順先生

大麻高町第二自治会 健康講話・昼食交流会のお知らせ

平成23年6月28日
 高町第二自治会
 会長 廣田 寛三

健康講演会・昼食交流会のお知らせ

日頃から自治会活動にご協力いただきありがとうございます。この度、本年度の『愛ふれ、地域交流の集い活動』の一環として健康講演会・昼食交流会を計画しました。お忙しい日々と思いますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時 7月20日(水) 10:00～ (2時間30分程度)

場所 東地区センター2階和室
(和室ですが椅子席での実施となります。)

講師 北海道情報大学教授 西平 順氏

演題 『糖尿病の治療と予防』

講師プロフィール

1953年生まれ

1979年 北海道大学医学部卒業


2006年～ 北海道情報大学経営情報学部医歯情報科学科教授
(札幌市立病院健康指導専門外来勤務)

◎問い合わせ先 担当者◎

福祉部

瀬川 律子 様

☎387-7374



自治会の紹介

当自治会は、今現在188世帯（約480名）、15班から成り立っています。

調べたわけではないのですが、大麻団地ができた頃から住んでいる方、またその子どもさんたちが多いのではないかと思います。そのため、比較的高齢の方が多いような気がしています。長年住んでいるため、自然と顔見知りの方が多くなります。

役員は、各班から順に選ばれた人から構成されます。つまり、毎年メンバーが異なります。自治会活動は皆が力を合わせないと出来ない仕事が多く、自然と親しくなっていきます。

親しい方が増えていき、「どこで会っても声を掛けあえるような町」が当自治会の目指しているところと言えます。

活動事業名 **愛のふれあい交流事業（3事業）・七夕提灯行列・新年交礼会**

◆時期 8月～1月

◆対象者 高齢者 25名

◆担当 厚生部

◆総事業費 184,000円 【内訳】社協助成金 75,000円（15,000×5事業）

自治会 79,000円 参加者 30,000円

◆目的

地域交流の集い活動の目的は、閉じこもりを防止し、出かけて行って、仲間と楽しい時間を過ごし、心身をリフレッシュすることです。世帯を中心とし、自治会主催の事業であることが、集い活動の対象となっています。

◆内容

当自治会では「実施マニュアル」に従って、健康、介護、防犯等に関する講話を実施しています。また、オカリナのコンサートのときには、多くの方が集まりました。他に七夕提灯行列（交通部担当）、新年交礼会（総務部担当）を行っています。

七夕提灯行列は、対象者の子や孫たちが当日集まってくるので、楽しい時を過ごすことができ、好評と思います。

以上の他の集いとしては、民生委員の方が年8回くらい実施している、おしゃべりサロン「いらっしゃ〜い」や沢町16丁目長生クラブ（会員66名）が実施している各種行事があります。

◆成果

1人暮らしに必要な講話を聞けるということは、大変有意義なことと思います。

ただ、残念なことです。必ず欠席者がいます。理由は2つほど考えられます。一つ目は、テーマが魅力的とは思わない、自主的に参加したいとは思わないこと。二つ目は、持病があって外出が困難、足腰が不自由で外出できないのでついおっくうになる、ということがあると思います。

◆課題

一つ目の課題に対しては、長生クラブが実施している行事が鍵ではないかと思っています。見学会、健康づくり、奉仕活動、レクリエーションなど多彩なプログラムが組まれています。自治会活動とうまく融合・調和がとれるのではないかと考えています。

◎問い合わせ先 担当者◎

総務部長

赤坂 徹志 様

☎386-8087



※今年度(H24. 3. 31)で
任期終了となります。
新年度につきましては、
新会長(未定)にお問い合わせ
ください。

聞きたい！！

他の自治会様にお聞きしたいのは、上記課題の2つ目です。持病があって外出が困難な方、足腰が不自由で外出出来ない方に対し、どのように対処されているのでしょうか。誰かが迎えに行く、タクシーを使うなど考えられますが、具体的に教えて下さい。経費などはどうしているのでしょうか。

自治会の紹介

月末発行の当自治会広報「西町だより」の毎号最後は「思いやり・助け合いで明るい西町を作りましょう」の言葉で締めくくられます。この言葉が、当自治会のスローガンだからです。高齢化が進むのは仕方がなくとも、「思いやり」と「助け合い」で援助し合えば高齢化に伴う孤立化、孤独化は防ぐことができ、「みんなで支えあう西町」「住んで良かった西町」を作ることができるとの思いが込められたスローガンです。

スローガンは飾り物ではなく実践の目標ですから、私たちは様々な活動に取り組んでいます。その中心の一つに捉えているのは、市の優れた事業「愛のふれあい交流事業」です。この事業を拡充し発展させることが、多くの課題解決につながると考えています。歩みは遅々としていますが、会員の皆さんの理解と協力に依拠し「明るく 楽しく 元気よく」を合言葉に頑張っていきたいと考えております。

当自治会の財産の1つに、昨年都市景観賞をいただいた「ラベンダーロード」があります。400本近いラベンダーの大株が、一斉に咲き誇る様は大変見事です、見事な様は優れた管理がなくては生まれません。今年ラベンダーの管理作業には、春も秋も70名以上の会員の方々が参加して下さいました。スローガンがスローガンではなくなりつつあることを実感し、大変嬉しく思ったものでした。

活動事業名 **日帰りバスツアー**

◆時期 春または秋

◆対象者 愛ふれ対象者・サポーター 25名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 81,168円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 39,168円
参加者 27,000円

◆目的

閉じこもりがちな高齢独居の方等の心身のリフレッシュを図るため。

◆内容

今年は去年の「バス乗車時間が長く、足腰への負担が多かった」のご意見から、目的地を由仁ガーデン・ユニの湯として実施しました。馴染みの方々との交流、たくさんの花、バイキング形式の昼食、温泉入浴と企画の多くは好評を得ました。

出発前の豪雨が、雨天対策の一層の充実が課題であることを考えさせてくれました。

◆成果

終了後、皆さんが「楽しかった、また来年も」とおっしゃって下さり、皆さんの表情からも心身のリフレッシュが図られたと思われました。年2回実施の要望も多く、検討しなければならないと考えています。

◆課題

○愛ふれ対象者の参加をもっともっと多くしたい（愛ふれ登録者を増やすことから始めなければならない）。

○男性参加者を多くしたい。

○雨天でも楽しめるよう企画内容を充実させたい。

○近場でも身体的理由で参加出来ないの方々が多くおられます。どんな企画でこのような方々の心身のリフレッシュを図っていけば良いのかが一番の課題と思っています。

活動事業名 **ひなまつりのつどい（園児との交流会）**

◆時期 3月上旬

◆対象者 愛ふれ対象者・サポーター・幼稚園児等 50～60名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 40,720円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 18,720円
参加者 7,000円

◆目的

閉じこもりがちな高齢独居の方等の心身のリフレッシュを図るため。

◆内容

幼稚園児の歌・踊り等の発表見学、ゲームでの幼稚園児との交流、おやつと飲みものをとりながらの幼稚園児との交流等を行なっています。自治会内に園舎がある幼稚園の全面的なご協力で実施しています。

◆成果

住居近くの地区センターで実施されることもあり、参加者の多い事業です。

いたいけな園児との交流は、皆さんの気持ちを和らげます。どなたの表情も柔和で優しい表情に変わります。

終了近くには「もう終わりですか」「昼食もいっしょに食べられるといいのに」との声もありました。

◆課題

自治会内に園舎のある、幼稚園の深いご理解と全面的なご協力に感謝しております。

「もっと愛ふれ対象者の参加を多くしたい。そのためには、愛ふれ登録者を増やすことから始めなければならない。男性参加者を増やしたい。好評を得ている事業ではあるが、一層良い内容とするため検討して改善していきたい。」等を考えております。やはり、一番の課題は身体的理由等で参加できない方々への対応です。どんなことが必要か知恵を集めて検討していきます。

活動事業名 **体を動かしましょう（体操・軽スポーツを楽しむつどい）**

◆時期 春または秋

◆対象者 愛ふれ対象者・サポーター 約30名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 17,539円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 39円
参加者 2,500円

◆目的

閉じこもりがちな高齢独居の方等の心身のリフレッシュを図るため。

◆内容

体育指導員の方において願い、軽スポーツの出前指導等の内容で実施しております。専門的な知識と技術をお持ちの方のご指導はとても素晴らしく、自治会役員、担当者は安心しておまかせし、参加者に楽しんでもらっています。

毎年、昼食・懇談をセットして実施しておりますが、これもたいへん好評です。

◆成果

指導される方（体育指導員等）のご尽力で毎年盛り上がり、皆さんたいへん楽しく参加されております。無理なく体を動かすことの大切さをどなたも実感されるようです。

終了後の昼食会懇談会がもうひとつの参加者の楽しみで、毎年時間不足とのご意見が出されます。

◆課題

愛ふれ対象者の参加をもっともっと増やしたい。そのためには、愛ふれ登録者を増やすことから始めなければならない。男性参加者が少ない。男性の愛ふれ登録者が少ないことがその原因なので、まず、男性登録者を増やさなければならない。好評な事業ではあっても検討と改善を忘れないようにしたい。

この事業にも身体的理由が主で参加できない方々にどう対応していったら良いかを考えねばならない。課題はたくさんあります。

◎問い合わせ先 担当者◎

会長

佐藤 佑一 様

☎387-2087



自治会の紹介

泉町自治会は、交通の便が良い点や地価が高くないことから、近年特に、30代の幼い子を抱える世代が家を新築されて転入してくる場合が増え、高齢化一方を押さえ、何とかバランスの取れた自治会になりつつあります。鉄道沿いのやや閑静な場所で、5つの公園が適所に配置され、約450世帯ほどが生活しております。

役員は、役員選考委員会で選出された執行部7名と、各区・各班から選出された部長・副部長・区長・輪番性の班長から構成され、ほぼ月一回の役員会で諸問題の解決処理に当たっております。昨年「年間を見通し、皆が楽しく仲良く作り上げる自治会活動」を目指した運営方針を掲げ、39名で知恵を出し合いながら、効率的で仲良く規約に沿いつつ頑張っているところです。市への自治会活動状況報告書に「27事業を実施している」という点からみても、まだその活性を失っていない本会を誇りにしています。

活動事業名 **愛のふれあい福祉旅行**

- ◆時期 6月
- ◆対象者 愛のふれあい対象者・ボランティア・民生委員・役員・高齢者等 34名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 165,000円 【内訳】 社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 120,000円

◆目的

対象者・ボランティアの関係だけではなく、地域の多くの方々との交流を深めもらいたいとの思いから。

◆内容

- 日帰りのバス旅行。
- 参加者を1人にしない。楽しんでもらう。
- 今年度はバス一台という事で、皆さんに声をかける事が出来良かった。
- 昼食時はまわりの人達とお話しが出来るように、又、笑って食べられる様に気をつけた。

◆成果

参加者も年々高齢の方が増え、また、ご夫婦での参加も増えてきています。以前と変わってきた所は、あいさつが気軽に出来るようになってきた所です。行事に参加する事で、顔見知りが増えた様です。

◆課題

同居はしているが、日中1人で家にいる高齢の方が増えています。福祉部が担当する行事には、愛ふれ対象者と同じ様に参加しやすい様に、これからも取り組んでいきたい。

活動事業名 **秋の講習会**

- ◆時期 平成22年10月末
- ◆対象者 愛ふれ対象者・ボランティア・役員・高齢者 25名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 20,000円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 5,000円

◆目的

緊急時に落ち着いて対処出来るようにと。

◆内容

「家事、災害時の基本的対応について」

工夫：参加者全体に体験してもらえる様。1人暮らしの方が積極的に消火訓練に取り組んでくれた。

苦勞：参加者が思うように集まらなかったこと。

◆成果

見学での参加、実際に消火器、AEDに触れる機会をもらい良かった。また、1人で何とかしようとせず、声を出して協力してもらった大切さも実感出来た。

◆課題

多くの方に、災害時（家事・地震）に落ち着いた行動を取れる様、興味を持って参加してほしい。また、あせらずに前向きに一步一步取り組みたいと思います。

活動事業名 **愛のふれあい食事会**

◆時期 平成22年11月

◆対象者 愛ふれ対象者・ボランティア・高齢者・役員・民生委員 35名

◆担当 福祉部

◆総事業費 61,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 30,000円
参加者 16,000円

◆目的

町内交流活動。昼食を通して、交流を深める。

◆内容

昼食会。保健師さんの講話を毎回入れる。地域の高齢者の方も参加してくれた。また、会場まで足のない方への配慮に気がつけた。笑い声が出る様な会にする様にした。

◆成果

講話で知識を得、大勢でテーブルを囲み、会話をしながら昼食、また、ゲームで大笑いをする。思い切り話す、笑う。皆さん良い笑顔になります。

◆課題

自治会、担当役員が毎年変わるために、なかなか新しい事にチャレンジ出来ないでいます。ボランティアに登録されている方々に、もう少し協力して、行事が進められる様に改善していきたい。

社協インフォメーション Vol.13

「地域交流の集い活動」へご協力いただける
ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介④

※平成23年度実施マニュアルより抜粋

※各団体の連絡先は、社協へご連絡下さい。ホームページでも確認できます。

※費用等がかかる場合があります。

【江別家庭生活カウンセラーグループ】

◆家庭内や仕事等悩みがある方、生きづらさを感じている事等を共に考えます。

【札幌斎藤支部門人会大麻千鳥会】

◆芸能活動全般（民謡・尺八・三味線・舞踊の披露、指導）



自治会の紹介

大麻新町自治会

- ・4区35班で編成 総世帯数432戸
- ・高齢者（70歳以上）数 183名
- ・執行体制=会長・副会長・監査ほか4部1委員会で構成
- ・【福祉関係】

福祉委員会=委員長（民生委員）

副委員長（民生委員）

委員（パートナー代表2名）

事務局長（総務部副部長）

活動事業名 「ひまわり会」の開催

◆時期 平成23年6月12日

◆対象者 独居高齢者・パートナー等 38名

◆担当 福祉委員会

◆総事業費 50,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 35,000円

◆目的

前提となる「愛のふれあい交流事業」の推進による対象者とパートナーのグループ編成をより有効な活動にするため。

◆内容

「ひまわり会」の開催

・自己紹介 ・軽体操 ・ゲーム（簡易ボーリングなど） ・昼食会（談話会） ・合唱

◆成果

対象者の感謝の気持ちの表現の場となり、また、パートナーさんの自覚が高まり、それぞれの気持ちの相互認識が図られる。

◆課題

- 第二回「ひまわり会」の開催（平成23年10月16日）
- 茶話会の開催（新規：平成23年11月20日）
- 独居高齢者となった人への入会への働きかけ。

◎問い合わせ先 担当者◎

総務部副部長

福本 一様

☎386-4276



自治会の紹介

当自治会では愛のふれあい交流事業の趣旨に順じ、昼食会を行なっております。

活動事業名 **昼食交流会**

- ◆時期 10月頃
- ◆対象者 愛ふれ対象者等 10名
- ◆担当 福祉部
- ◆総事業費 25,000円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 10,000円
- ◆目的 毎年の恒例。
- ◆内容 近隣の食事処（すし屋等）での高齢者とボランティアの集い。

社協インフォメーション Vol.14

「地域交流の集い活動」へご協力いただける
ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介⑤

※平成23年度実施マニュアルより抜粋
※各団体の連絡先は、社協へご連絡下さい。ホームページでも確認できます。
※費用等がかかる場合があります。

【社交ダンスボランティア「フレンチア」の派遣】

◆社交ダンスを楽しみたいけど「仲間が集まらない」「パートナーがいない」などお困りではありませんか？高齢者や身体の不自由な方々にも気軽に社交ダンスをお楽しみいただけます。

【社の台コーラス】 ◆コーラス活動



自治会の紹介

私たちの自治会は、札幌市厚別区との境界で国道12号線の東側に位置しております。この地域は、緩やかな丘陵地帯で背後には雄大な野幌原始林があり、眼下には豊かな石狩平野が広がっており、近くには100年記念塔や開拓記念館等の文化施設が多く、また、大学のキャンパスも多々あり、絶好の住環境を有して居ります。

創立は昭和57年4月にそれまでの自治会から分離独立し、今年で30周年を迎えました。現在、268世帯を有し、春の家族レクリエーション・早朝ラジオ体操（夏休み期間）・七夕祭り・子供花火大会・盆踊り大会・敬老の集い・愛のふれあい交流事業・新年交礼会・日帰り旅行・料理教室等々の行事や「ふれあいの小径」維持管理・バス停の清掃・夏季防犯パトロール等、会長始め7部門の役員が先頭になり、会員の皆様及び大学等とも協力し「明るく住みよい街づくり」に励んでおります。

活動事業名 **花散りて 実り夢みる 春の風**

◆時期 5月下旬

◆対象者 独居高齢者 6名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 25,132円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 10,132円

◆目的

孤独になりがちな日常生活から気晴らしに外へ出て、季節の風・香り・色彩を楽しみ食事をしよう！

◆内容

車内の広さや万一のことを考え、レンタカーを使用。平岡梅園は初めての人もいて、美しい風景に心が癒されました。

【工夫】出来るだけ歩く距離が短い所で、景色が良く見えて、椅子に座り飲み物や食べ物をのせるテーブルがある場所を確保。更に、トイレに遠くない場所であること。

◆成果

参加者の表情が明るく、笑顔がいっぱい。道で出会った時、「ありがとう。楽しかったよ。」と声を掛けてくれる。

◆課題

参加者が増えるように工夫を考える。

活動事業名 **湯上がりの 喉は潤い 睡魔来る**

◆時期 6月中旬

◆対象者 独居高齢者 8名

◆担当 福祉厚生部

◆総事業費 165,260円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 1,526円

◆目的

普段閉じこもりがちな生活から、一歩外へ出て温泉に浸かり、おしゃべりをしながら食事を楽しむ。

◆内容

自宅と温泉の往復に相乗りでタクシーを利用。お部屋を借り、湯上がりに冷たいものを飲んで、リラックス。美味しい食事をとりながら、おしゃべりを楽しむ。ゲームやギターに合わせて歌う。あっという間に時が過ぎる。

【工夫】歌詞はA3用紙に大きい字で印刷。選曲が良いと涙が出てくる。

◆成果

入浴と食事を楽しんだ顔は、みんなとても優しい。

◆課題

入浴中の事故やけがを防ぐため、浴場内ではそれぞれの居場所を確認しながら湯に浸かる。昨年、参加者から役員の参加人数が多すぎるという声があり、今年からは担当の2名にしている。

文京台第一自治会 平岡梅園にて



社会インフォメーション Vol.15

「地域交流の集い活動」へご協力いただける
ボランティア団体・福祉団体・NPO・個人ボランティアの紹介⑥

※平成23年度実施マニュアルより抜粋
※各団体の連絡先は、社協へご連絡下さい。ホームページでも確認できます。
※費用等がかかる場合があります。

【大正琴サークル花つづり会えべつきーハーブアンサンブル】

◆大正琴の演奏

【ふれあいバンド】

◆バンド演奏による施設慰問活動

【芸能ボランティア・サークル「ツインクル」】

◆楽器（アコーディオン、マンドリン、フルート、オカリナなど）の伴奏と一緒に歌うほか、各種芸能（マジック、皿回し、スコップ三味線、扮装カラオケ、フラダンス、日本舞踊など）を観て・聴いて楽しんでいただく組合せ方式で施設慰問活動を行なっています。

【ふれあい交流施設 NPO法人 あじさい亭】

住所：大麻東町15-16（東町商店街内）

◆お年寄りの交流施設の運営を通じて互助の福祉のサポートをする。

北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター



自治会の紹介

緑豊かで利便性の高い立地条件。約400戸のうち、高齢者が3分の1を占め（143）、100世帯の独居。小学生が16名。役員の高齢化も課題。
夏祭り、もちつきなど、多くの行事を通し「住んで良かったと思える自治会」を目指しています。

活動事業名 **敬老の月交流会**

- ◆時期 9月
- ◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 37名
- ◆担当 愛ふれ事業部
- ◆総事業費 55,398円 【内訳】社協助成金 15,000円 自治会 40,398円
- ◆目的 愛ふれ対象者との交流を深め、1日を楽しく過ごす。
- ◆内容 大麻公民館を借りて、盛大に行った。民謡、落語、津軽三味線、中学生のマンドリン、合唱など、ボランティア団体を招いて成功した。
- ◆成果 交流が深まった。
- ◆課題 役員の負担が大きく、今年度はまた団地集会所で対象者が参加できる会を目指す。

活動事業名 **日帰り温泉旅行**

- ◆時期 10月
- ◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 24名
- ◆担当 愛ふれ事業部
- ◆総事業費 70,940円 【内訳】社協助成金 15,000円 バス助成金 30,000円
自治会 13,940円 参加者 12,000円
- ◆目的 入浴、会食、カラオケ、パークゴルフ等を通じ、交流を図る。
- ◆内容 新篠津「たっぷの湯」にて会食、カラオケ、パークゴルフ。
比較的自由に楽しく交流を図れた。年ごとに参加者も増えている。
- ◆成果 新しいつながりが増えた。
- ◆課題 好評につき、行なうことにした。

活動事業名 **新年交流会**

- ◆時期 1月
- ◆対象者 高齢者・役員・ボランティア 23名
- ◆担当 愛ふれ事業部
- ◆総事業費 43,476円 【内訳】 社協助成金 15,000円 自治会 21,676円
参加者 6,800円

◆目的

年初めの交流。

◆内容

民謡、フラダンス等、今までと異なる演目で喜ばれた。

◆成果

交流が深まった。

◆課題

他の行事が立て込んでおり、負担が重い。愛ふれ対象者が単なる「お客さん」ではなく、主体的に関われる行事を考えていく。

質問

若者の非正規労働38パーセント、女性58パーセントの現状、社協としてコミュニティをどう守ろうとしていますか？

◎問い合わせ先 担当者◎

愛のふれあい事業部

佐藤 恵一様

☎386-1060



回答 ～コミュニティの維持・再生に向けて～

ご質問ありがとうございました。

ご指摘にありますとおり若者や女性を中心に増加した非正規労働（雇用）等、長期化する経済不況を反映した雇用情勢による失業・離職や低所得は、生活格差の拡大や貧困等の大きな問題を生み出しています。

老若男女を問わず、個々人が地域に目を向け、福祉・文化・教育等の様々な社会活動に参加し、相互の交流を拓いていくことが、コミュニティの維持・再生に向けて大切なことです。そのためには、生活の経済的安定が、地域との関係を結んでいく契機となることは確かです。

社協は、これまで高齢者や障がい者の方々等に対するボランティア活動への参加・促進を通じてつながりや絆を深め、共に支え合う福祉コミュニティを目指してまいりました。この方針は今後も変更はありませんが、これに加えて、具体的な経済対策として、国のセーフティネット対策の一貫である「生活福祉資金」、一時的に生活費が必要になった場合の「福祉金庫（江別市社協独自事業）」等生活困窮世帯の自立や立て直しを図るための資金の貸し付けや必要な相談・支援にも力を入れて取り組んでいるところです。

様々な団体がその特性を生かして、コミュニティを維持・再生の役割を担っており、こうした社協の活動もその一旦に過ぎないのかもしれませんが、市民皆様のご協力とご支援をいただきながら努力してまいりたいと考えています。

ご質問の意図に沿う回答とは言えないかもしれませんが、ご理解の程お願い申し上げます。

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会
愛のふれあい交流事業実施要綱

(目的)

第1条 この事業は、江別市社会福祉協議会（以下「社協」という）が、高齢・障がい・疾病等の世帯に対し、身近な地域住民による助け合いの心を基調とした活動とそのための組織づくり及びふれあいと交流を目的とした活動を支援し、地域福祉の向上を図ることを目的とする。

(活動推進主体)

第2条 単位自治会とする。

(対象世帯)

第3条 当該年度に単位自治会区域内に居住し、次の条件のいずれかを満たす世帯を対象とする。

- (1) 満65歳以上のひとり暮らし世帯
- (2) 江別市緊急通報システム及び社協福祉ベル設置世帯
- (3) 障がい者・傷病者・高齢者のみで構成されている世帯
- (4) 単位自治会長が、愛のふれあい活動が必要と認めた世帯

(愛のふれあい活動)

第4条 前条に規定する対象世帯に対し、在宅で支援する活動とそのための組織づくりを「愛のふれあい活動」と呼び、次の活動を中心に推進する。

(1) 活動グループの編成

対象1世帯につき、1～3名程度の活動グループを編成するものとする。

(2) 具体的な活動内容

対象世帯を定期的に訪問し、次の活動を行うものとする。

- ①挨拶・声かけ
- ②安否確認
- ③必要に応じて話し相手・相談相手
- ④その他、対象世帯の状況に応じた生活支援活動

(3) 対象世帯変調時等の対応

活動中、対象世帯の身体状況が変調した時・心配ごと等の相談を受けた時は、必要に応じて緊急連絡先もしくは民生委員・社協等へ連絡するものとする。

2 この事業の関係者は、対象者に関する秘密を他に漏らさないものとする。

(地域交流の集い活動)

第5条 対象世帯及び地域の高齢者・障がい者のために助け合い活動の一環として、閉じこもりを防止し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施する身近な地域住民による交流事業を「地域交流の集い活動」と呼び、概ね次の行事・イベント・交流会等の総称を言う。

- (1) 昼食交流会
- (2) 福祉学習会
- (3) ボランティアとの交歓会
- (4) 日帰り温泉等の旅行
- (5) ゲーム・レクリエーション大会
- (6) その他、対象者への福祉活動の一環として行う行事

2 対象世帯を中心としない行事及び自治会主催以外の行事は除くものとする。

(経費助成)

第6条 社協会長は、この事業を実施する自治会へ次の内容の経費を助成する。

- (1) 愛のふれあい活動推進費
- (2) ボランティア保険料
- (3) 地域交流の集い活動経費

2 社協会長は、助成する金額を毎年度予算の範囲内で定める。

3 社協会長は、自治会からの交付申請の内容を審査し、適当と認められる場合に経費を助成する。

4 社協会長は、次のいずれかに該当する場合は、助成金の交付決定を取り消し、または、既に交付した助成金の全部もしくは一部の返還を命じることができる。

- (1) 地域交流の集い活動を実施しなかった場合
- (2) 目的外に使用した場合
- (3) 不正行為があった場合
- (4) その他、社協会長が助成することを不相当と認めた場合

(申請手続き及び決定通知)

第7条 経費助成を希望する自治会は、年度毎に次の書類を社協会長に提出しなければならない。

- (1) 愛のふれあい活動助成金申請書(第1号様式)
- (2) 愛のふれあい活動対象者名簿(第2号様式)
- (3) 愛のふれあい活動ボランティア名簿(第3号様式)
- (4) 地域交流の集い活動助成金申請書(第4号様式)

2 社協会長は、前条第3項に基づき、助成金決定通知書(第5号様式)を自治会長に通知するものとする。

(実績報告)

第8条 地域交流の集い活動経費の助成を受けた自治会は、事業終了後に速やかに次の書類を社協会長に提出しなければならない。

- (1) 地域交流の集い活動助成金精算報告書(第4号様式)
- (2) その他、社協会長が必要と認めた書類

(その他)

第9条 この要綱に定める事項の他、必要な事項は、社協会長が別に定める。

附 則

1. この要綱は、平成16年4月1日から施行する。
2. 社会福祉法人江別市社会福祉協議会愛のふれあい事業実施要綱(平成13年4月1日制定)及び地域交流の集い支援事業実施要綱(平成14年4月1日制定)は、廃止する。



愛のふれあい交流事業

地域交流の集い活動事例集

◆発行日 平成 24 年 2 月

◆発行 社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

〒069-0811 江別市錦町 14 番地 87

TEL (011) 385-1234

FAX (011) 385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>